

第2章 調査結果のまとめ

1. 目黒区への定住性

1-1 居住年数

問2 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

- ・居住年数が20年以上の『長期居住者』が5割近くを占めている。5年未満の『短期居住者』は2割を超え、5～19年の『中期居住者』は3割近くとなっている。
- ・『短期居住者』は男性、女性ともにおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にある。また、『中期居住者』は男性、女性ともに40代で高く、『長期居住者』は男性、女性ともにおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・居住年数が20年以上の『長期居住者』が48.2%である。5年未満の『短期居住者』は22.8%、5～19年の『中期居住者』は28.0%となっている。
- ・『長期居住者・短期居住者』の推移をみると、『短期居住者』が増加している。また、『長期居住者』は平成元年以降5割前後を占めている。

図1-1-1 居住年数(全体)

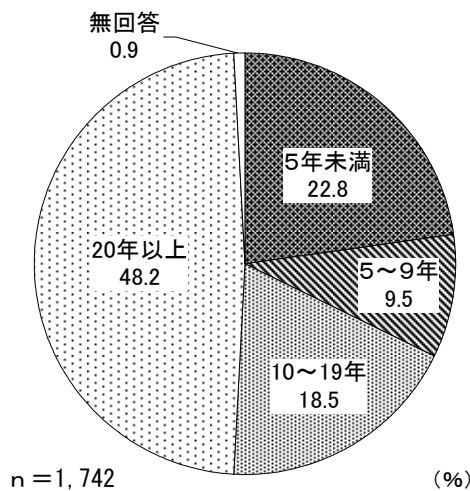
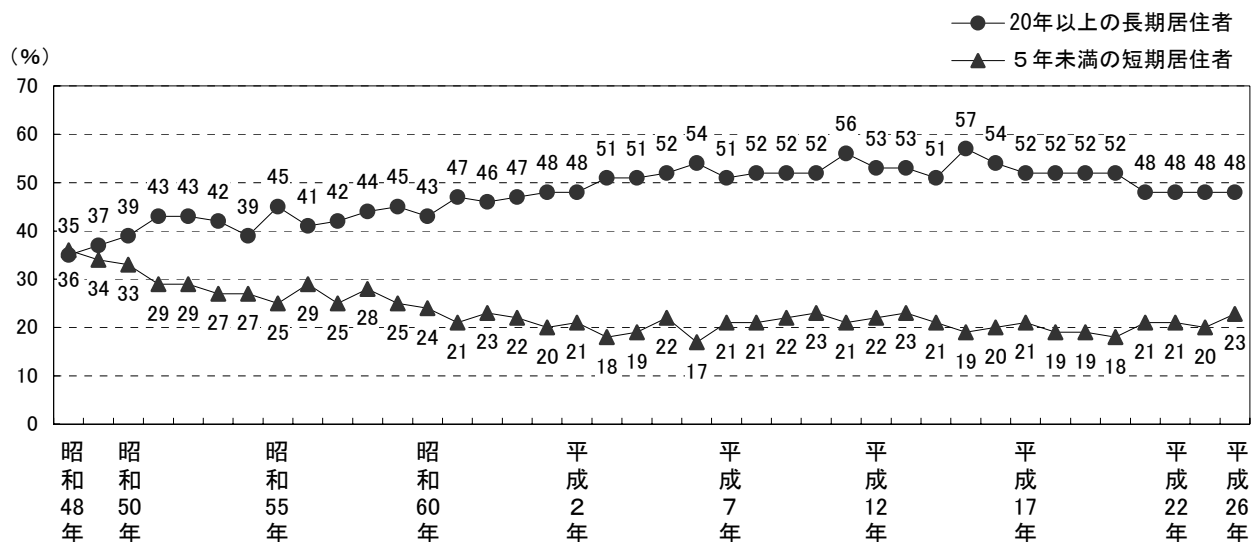


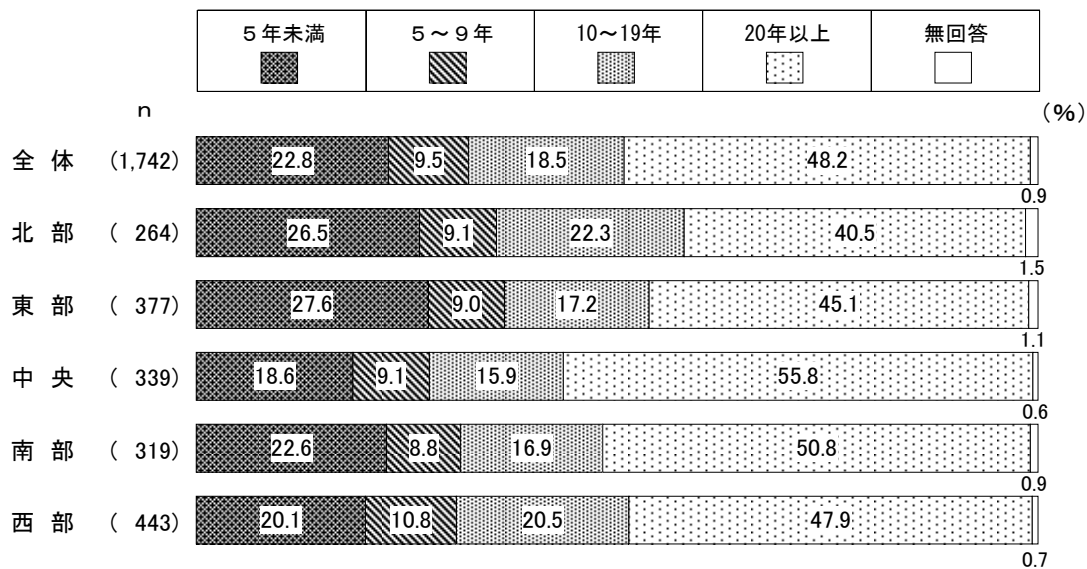
図1-1-2 長期居住者・短期居住者の推移(全体)



(2) 地区別

- ・ 5年未満の『短期居住者』は東部地区（27.6%）と北部地区（26.5%）で高くなっている。
- ・ 5年～19年の『中期居住者』は北部地区（31.4%）と西部地区（31.3%）で高くなっている。
- ・ 20年以上の『長期居住者』は中央地区（55.8%）と南部地区（50.8%）で高くなっている。

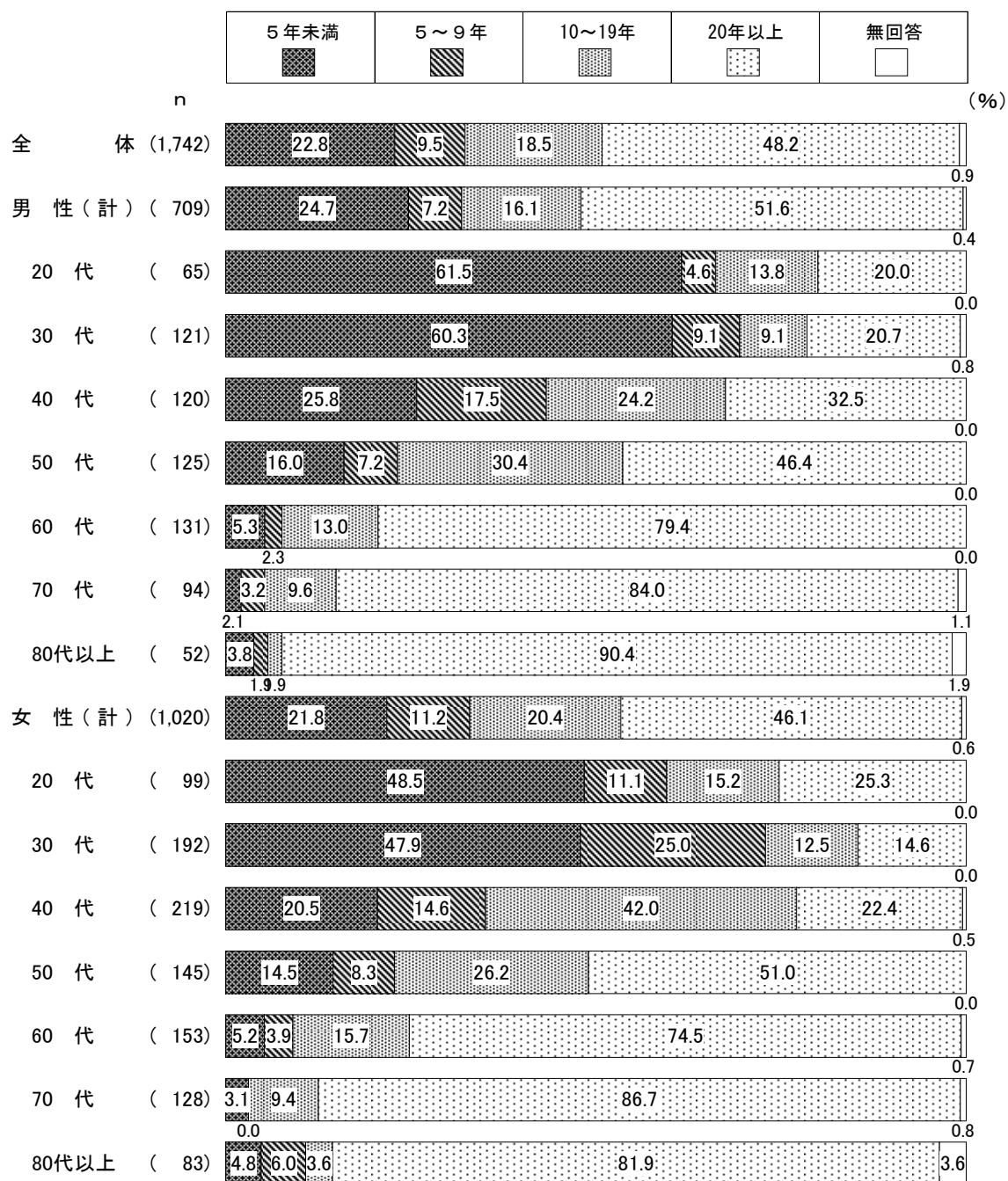
図 1 - 1 - 3 居住年数（地区別）



(3) 性・年代別

- ・ 5年未満の『短期居住者』は男性、女性ともにおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20代（男性61.5%、女性48.5%）と30代（男性60.3%、女性47.9%）で高くなっている。
- ・ 5年～19年の『中期居住者』は男性、女性ともに40代（男性41.7%、女性56.6%）で高くなっている。
- ・ 20年以上の『長期居住者』は男性、女性ともにおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、70代（男性84.0%、女性86.7%）と80代以上（男性90.4%、女性81.9%）で高くなっている。

図1-1-4 居住年数（性・年代別）



1-2 居住理由

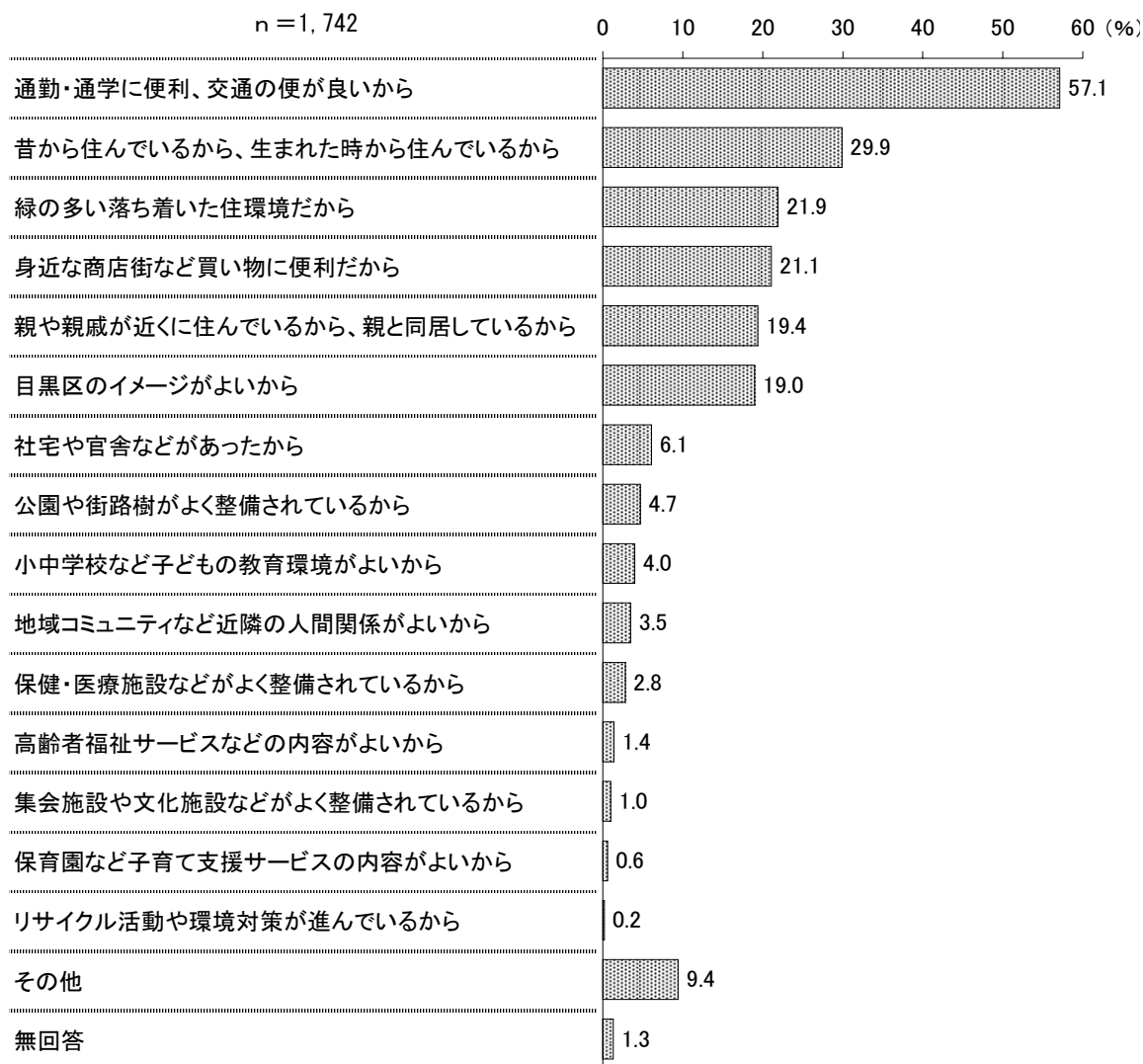
問3 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。(〇は3つまで)

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」が6割近くで最も高く、次いで「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」が3割となっている。
- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」はおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にある。また、『短期居住者』、『中期居住者』の割合が高く、賃貸の鉄筋アパート・マンション、賃貸の木造アパート、分譲マンションで高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は男性が女性より高く、「緑の多い落ち着いた住環境だから」は女性が男性より高くなっている。

(1) 全体

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」が57.1%で最も高く、次いで「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」29.9%、「緑の多い落ち着いた住環境だから」21.9%の順となっている。

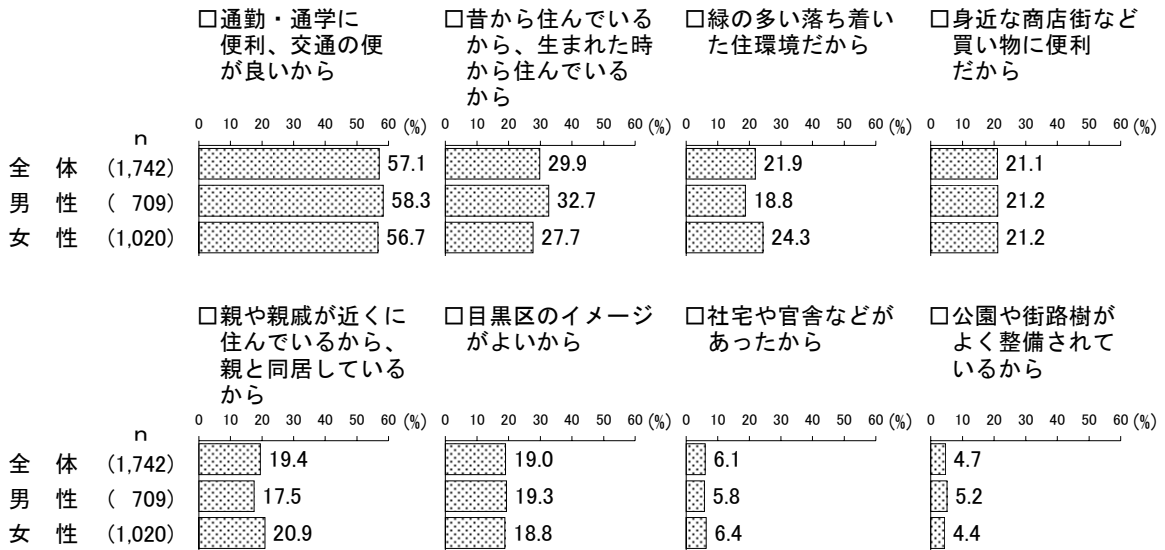
図1-2-1 居住理由(全体)



(2) 男女別

- ・「緑の多い落ち着いた住環境だから」は女性 (24.3%) が男性 (18.8%) より 5.5 ポイント高く、「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は男性 (32.7%) が女性 (27.7%) より 5.0 ポイント高くなっている。

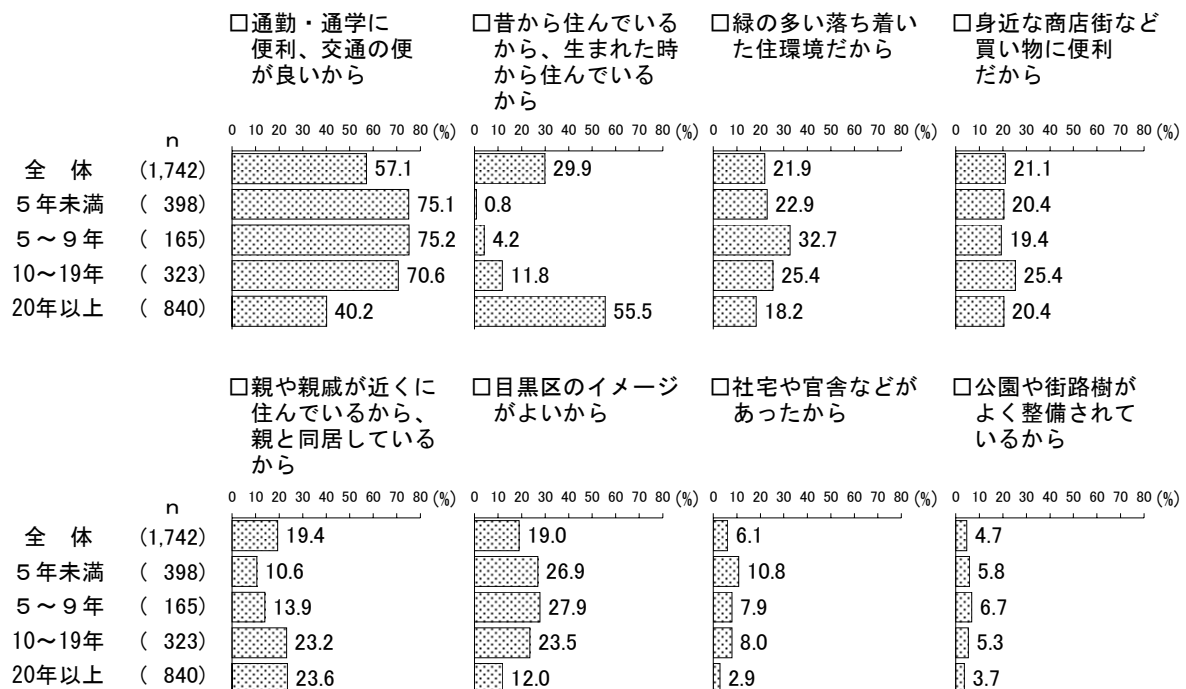
図 1-2-2 居住理由【上位 8 項目】 (男女別)



(3) 居住年数別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は『短期居住者』、『中期居住者』の割合が高く、5年未満 (75.1%)、5～9年 (75.2%)、10～19年 (70.6%) となっている。
- ・「緑の多い落ち着いた住環境だから」は5～9年 (32.7%) で高く、「身近な商店街など買い物に便利だから」は10～19年 (25.4%) で高くなっている。

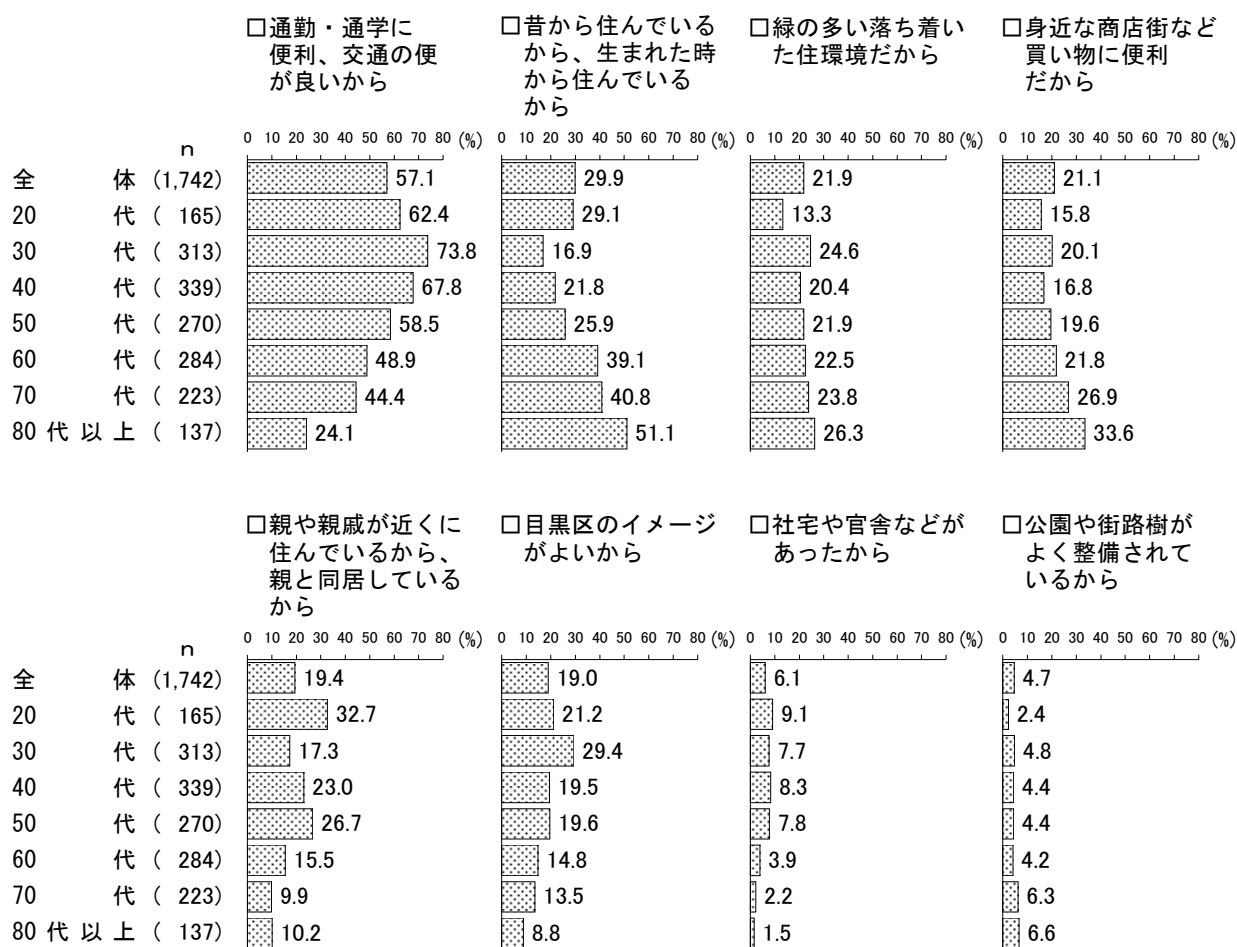
図 1-2-3 居住理由【上位 8 項目】 (居住年数別)



(4) 年代別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」はおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にあり、30代(73.8%)で高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」はおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、80代以上(51.1%)で高くなっている。
- ・「身近な商店街など買い物に便利だから」は80代以上(33.6%)で、「親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから」は20代(32.7%)で高くなっている。

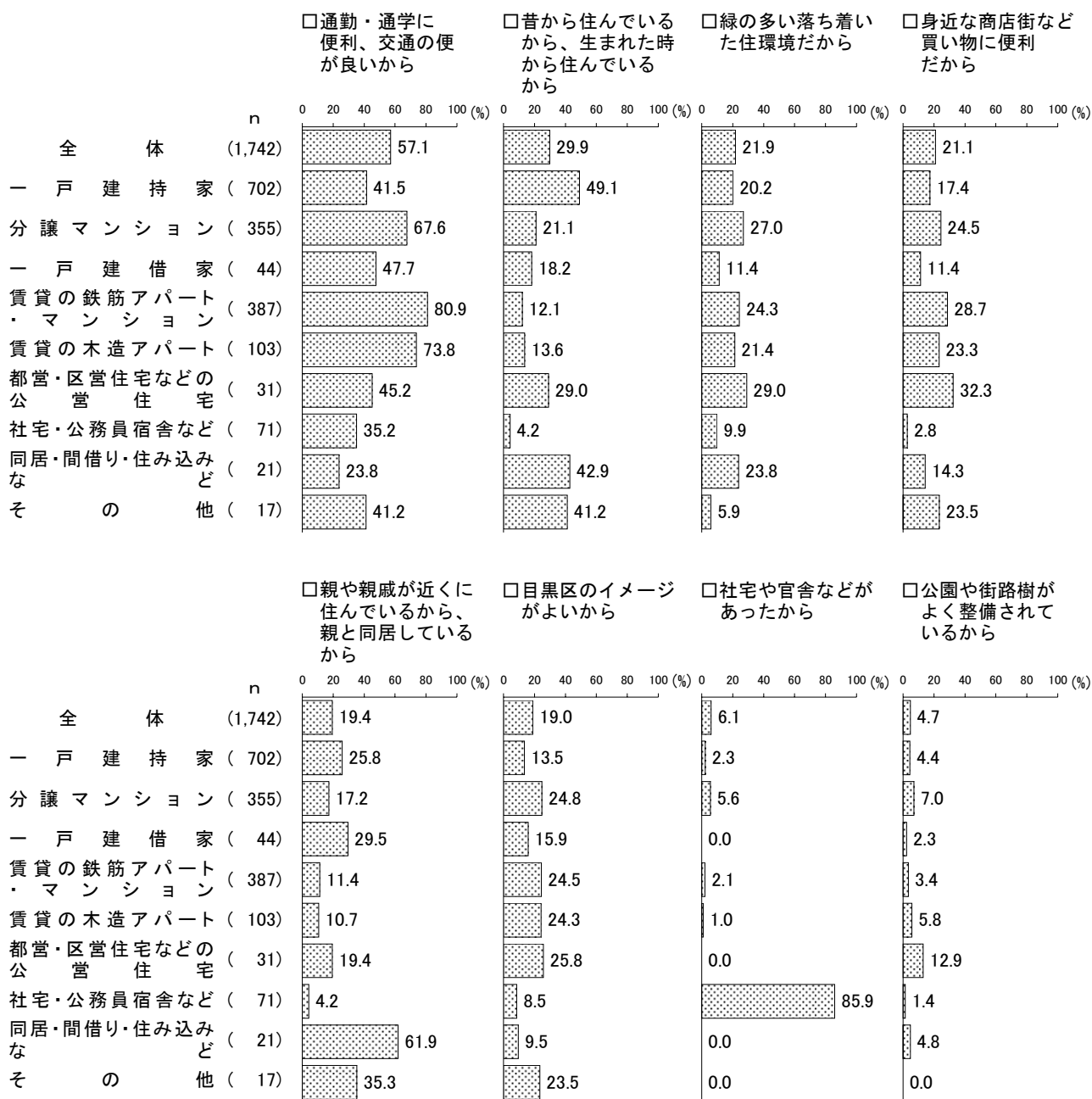
図1-2-4 居住理由【上位8項目】(年代別)



(5) 居住形態別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は賃貸の鉄筋アパート・マンション（80.9%）、賃貸の木造アパート（73.8%）、分譲マンション（67.6%）で高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は一戸建持家（49.1%）と同居・間借り・住み込みなど（42.9%）で高くなっている。

図1-2-5 居住理由【上位8項目】（居住形態別）



1-3 定住・転出意向

問4 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(〇は1つ)

- ・「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』は9割半ばを占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。また、中央地区と西部地区、同居・間借り・住み込みなど、一戸建持家、都営・区営住宅などの公営住宅で高くなっている。

(1) 全体

- ・「ずっと住んでいたい」54.4%と「当分の間は住んでいたい」40.8%を合わせた『定住意向』は95.2%となっている。
- ・『定住意向』の推移をみると、平成9年以降では95%前後となっている。一方、「あまり住んでいたくない」と「できれば引っ越したい」を合わせた『転出意向』の推移では、平成10年以降では5%以下となっている。

図1-3-1 定住・転出意向(全体)

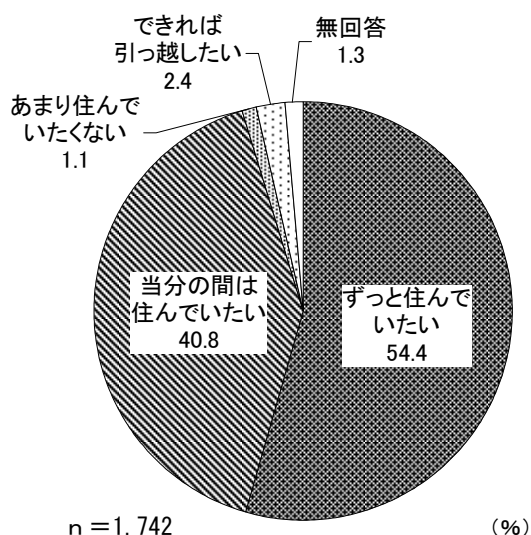
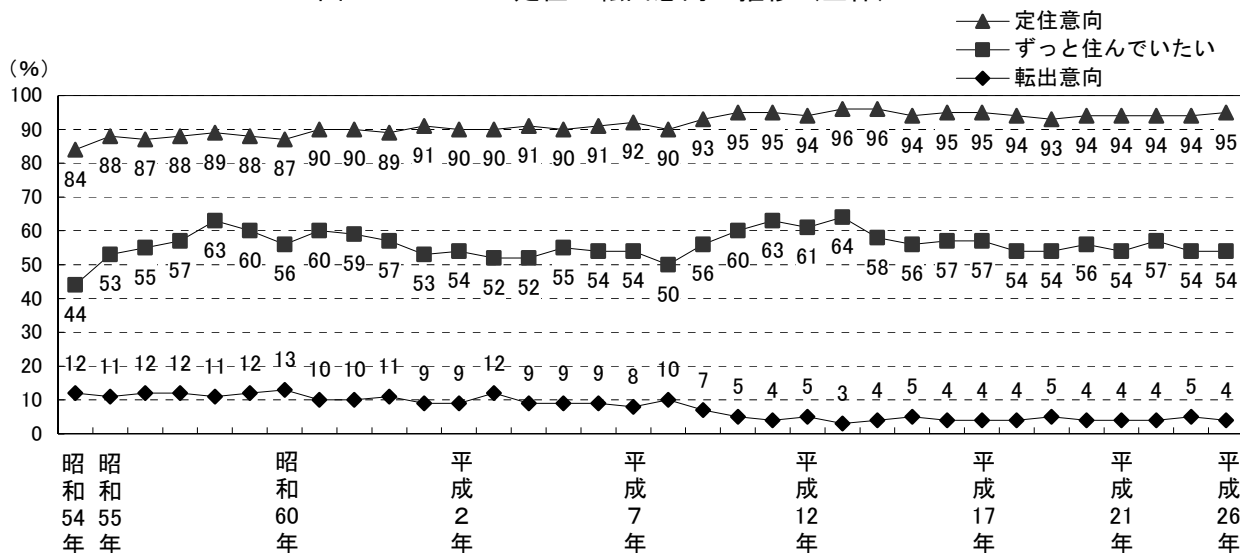


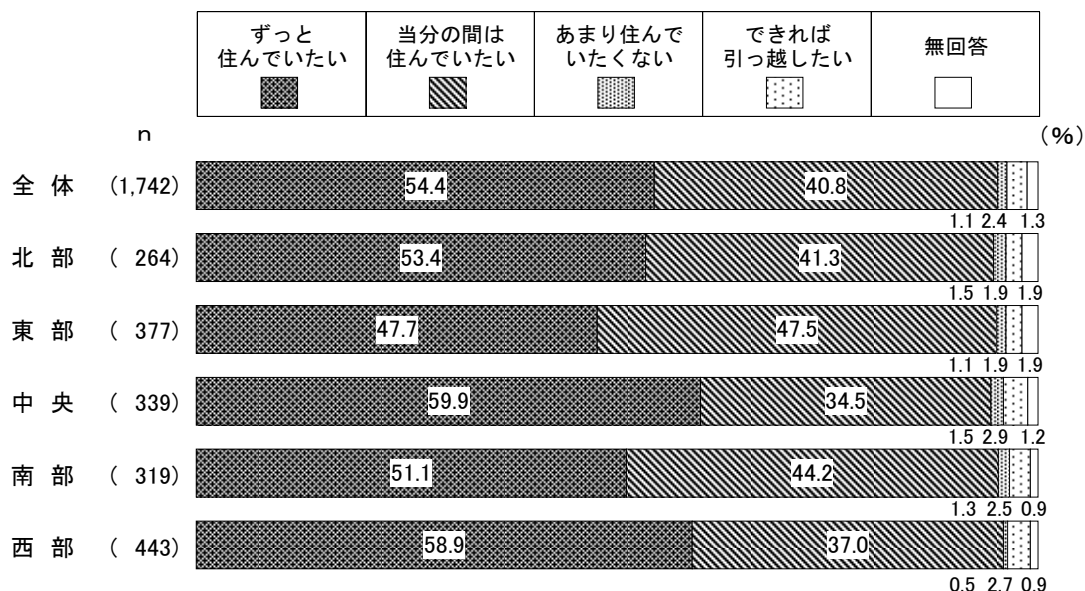
図1-3-2 定住・転出意向の推移(全体)



(2) 地区別

- ・『定住意向』はすべての地区で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は中央地区（59.9%）と西部地区（58.9%）で高くなっている。

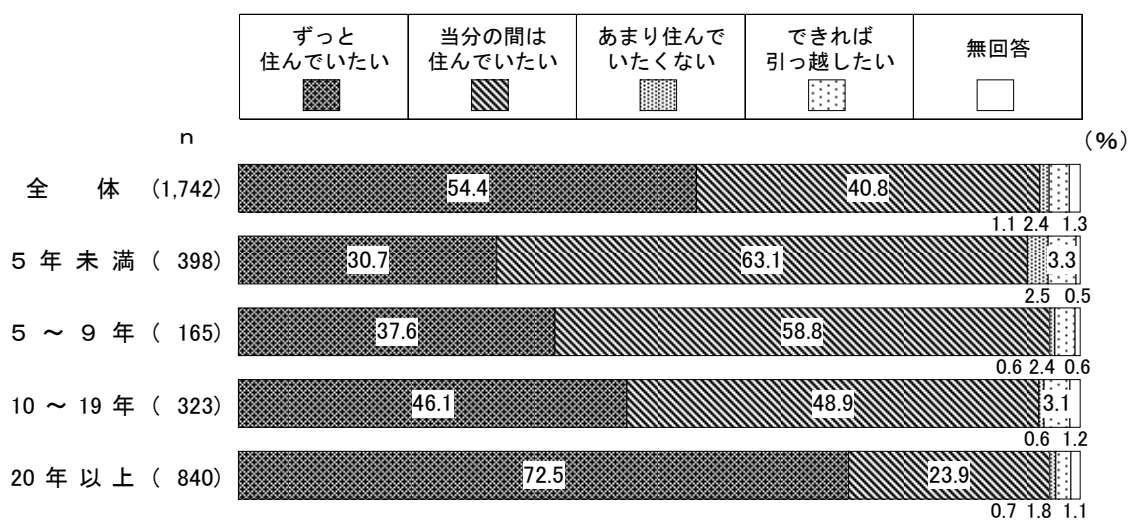
図1-3-3 定住・転出意向（地区別）



(3) 居住年数別

- ・『定住意向』はすべての居住年数で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。

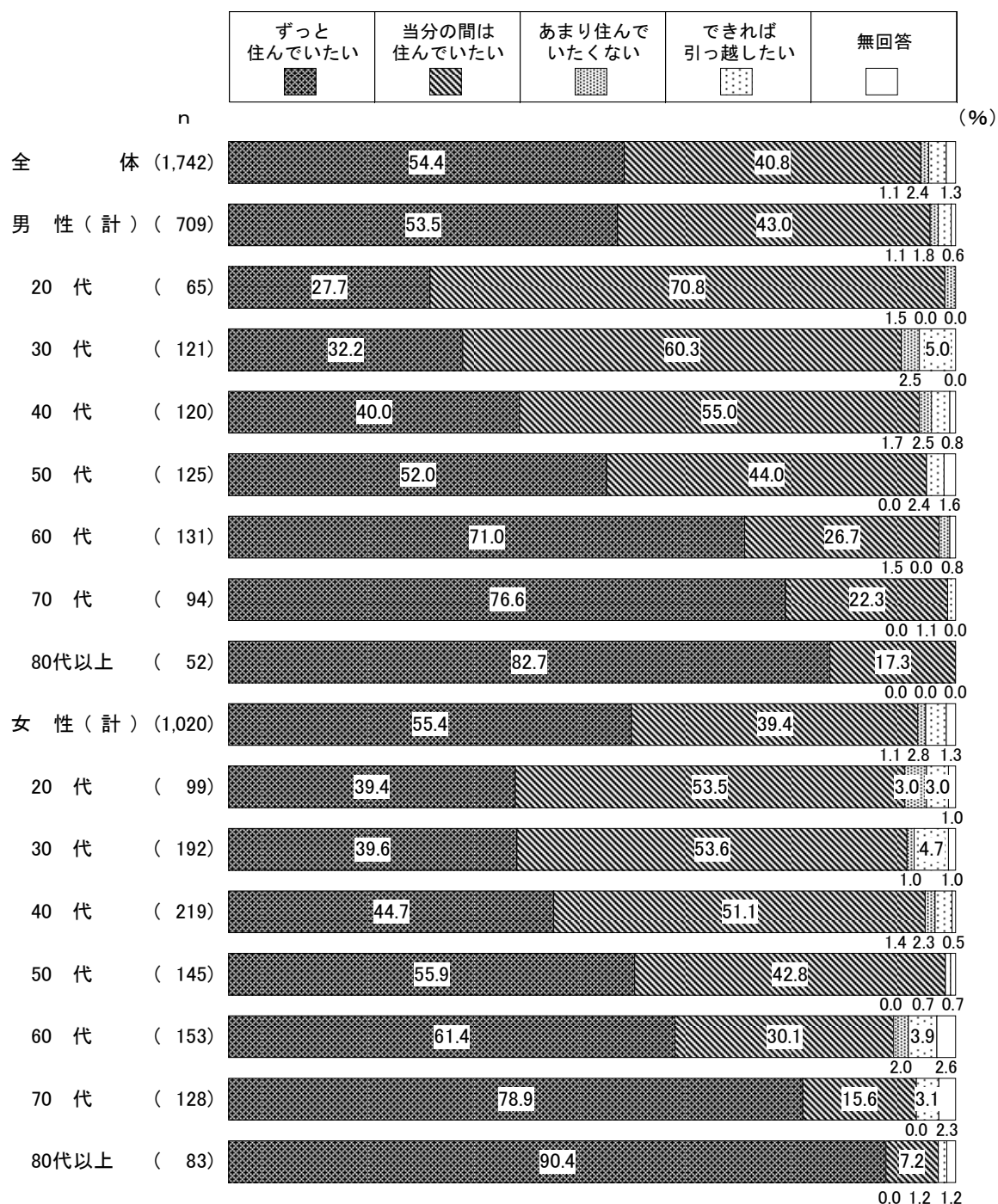
図1-3-4 定住・転出意向（居住年数別）



(4) 性・年代別

- ・『定住意向』はすべての年代で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「当分の間は住んでいたい」は男性20代（70.8%）で高くなっている。

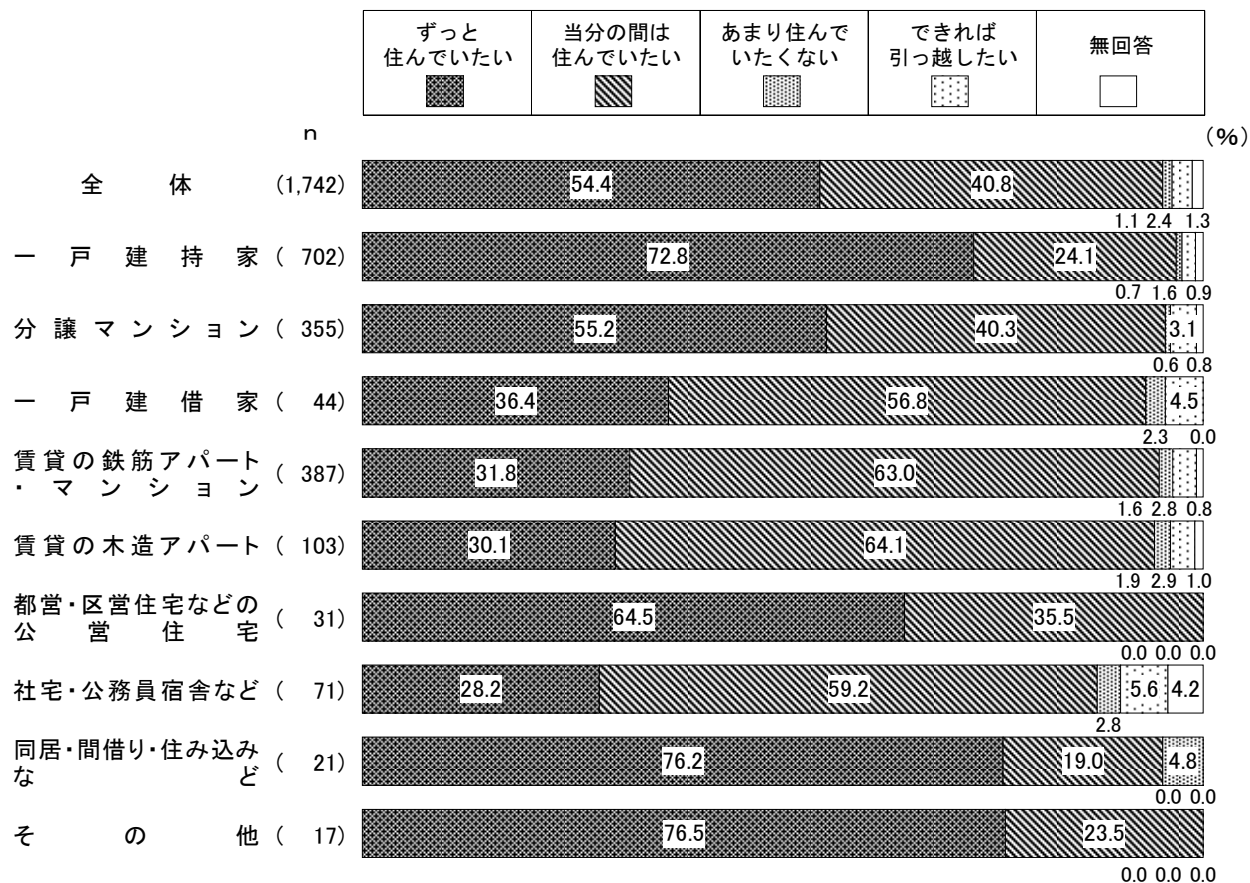
図1-3-5 定住・転出意向（性・年代別）



(5) 居住形態別

- ・「ずっと住んでいたい」は同居・間借り・住み込みなど (76.2%)、一戸建持家 (72.8%)、都営・区営住宅などの公営住宅 (64.5%) で高くなっている。
- ・「当分の間は住んでいたい」は賃貸の木造アパート (64.1%) と賃貸の鉄筋アパート・マンション (63.0%) で高くなっている。

図1-3-6 定住・転出意向 (居住形態別)



1-4 将来の居住地予想

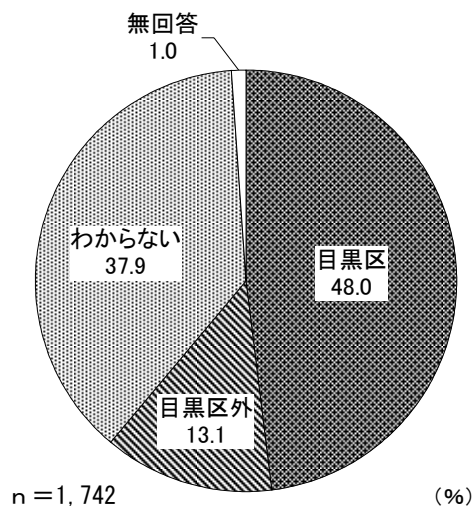
問5 あなたは、仕事の都合や家庭の事情などを考えると、十年後はどこに住んでいると思いますか。

- ・「目黒区」が5割近く、「目黒区外」が1割を超えている。
- ・「目黒区」は男性、女性ともにおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60代、70代、80代以上で高くなっている。また、ずっと住んでいたい人、三世代家族、一戸建持家で高くなっている。

(1) 全体

- ・「目黒区」が48.0%、「目黒区外」が13.1%となっている。

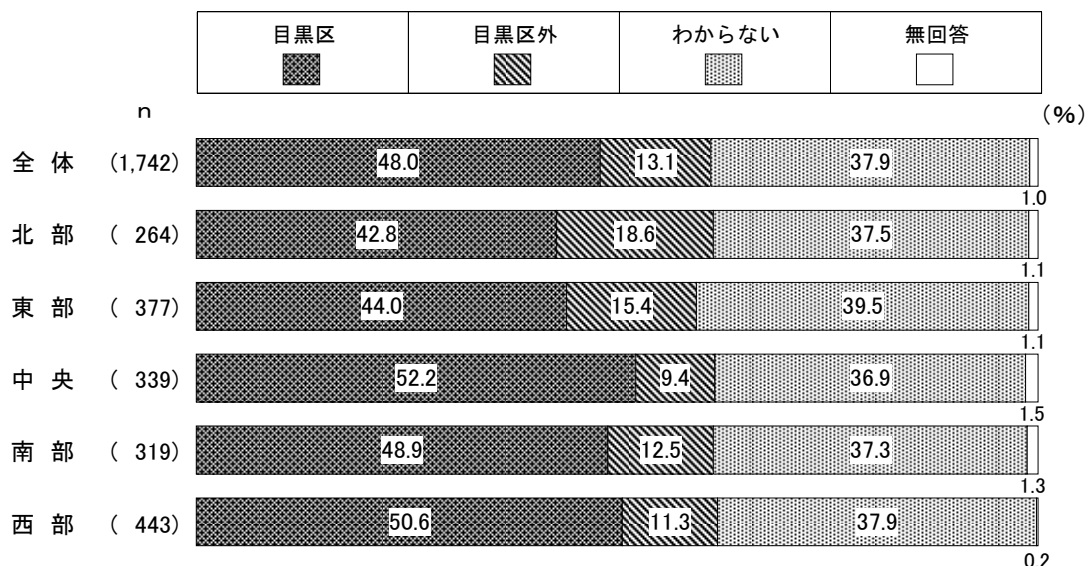
図1-4-1 将来の居住地予想（全体）



(2) 地区別

- ・「目黒区」は中央地区（52.2%）と西部地区（50.6%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」は北部地区（18.6%）と東部地区（15.4%）で高くなっている。

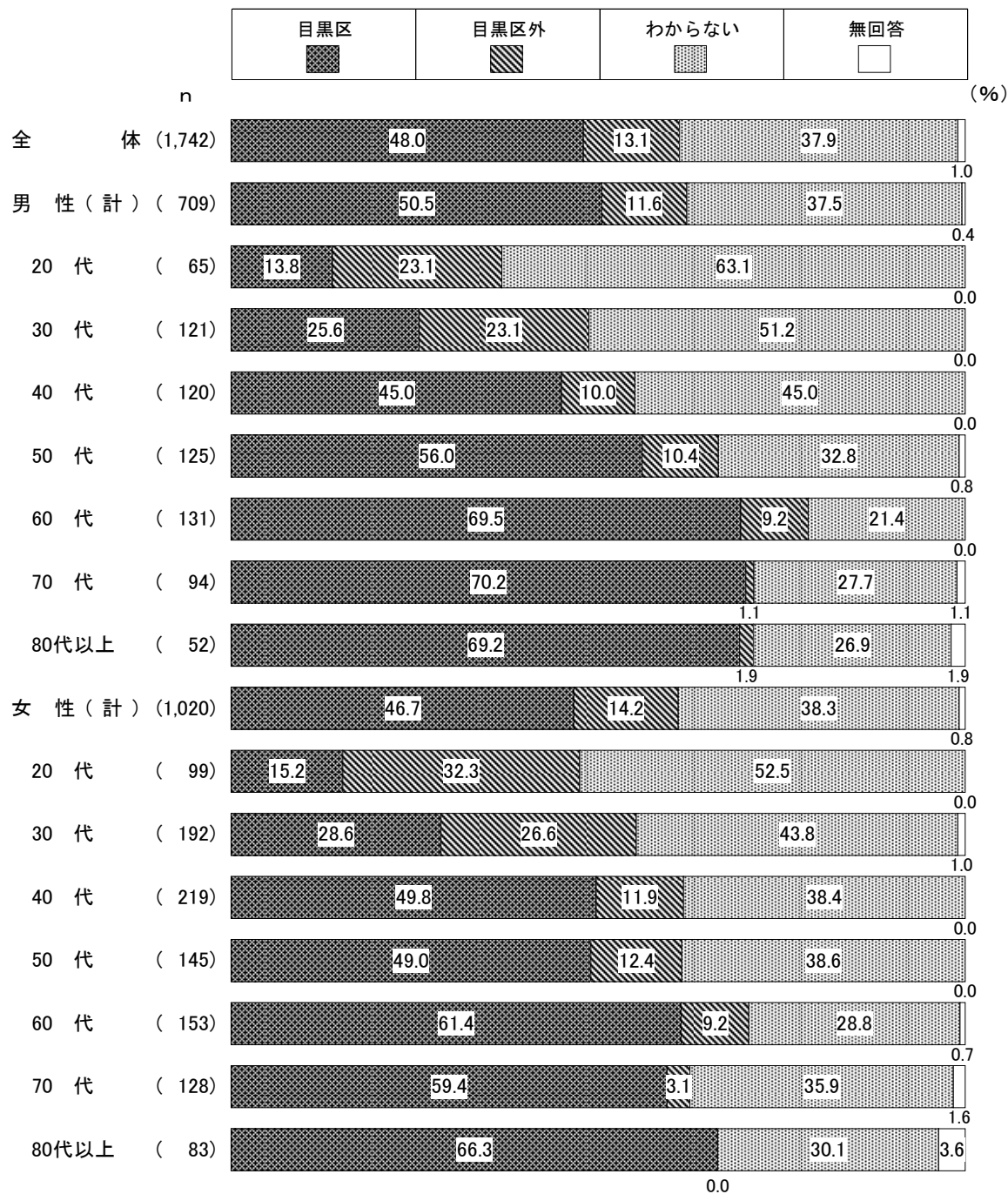
図1-4-2 将来の居住地予想（地区別）



(3) 性・年代別

- ・「目黒区」は男性、女性ともにおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60代（男性69.5%、女性61.4%）、70代（男性70.2%、女性59.4%）、80代以上（男性69.2%、女性66.3%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」は女性20代（32.3%）で高くなっている。

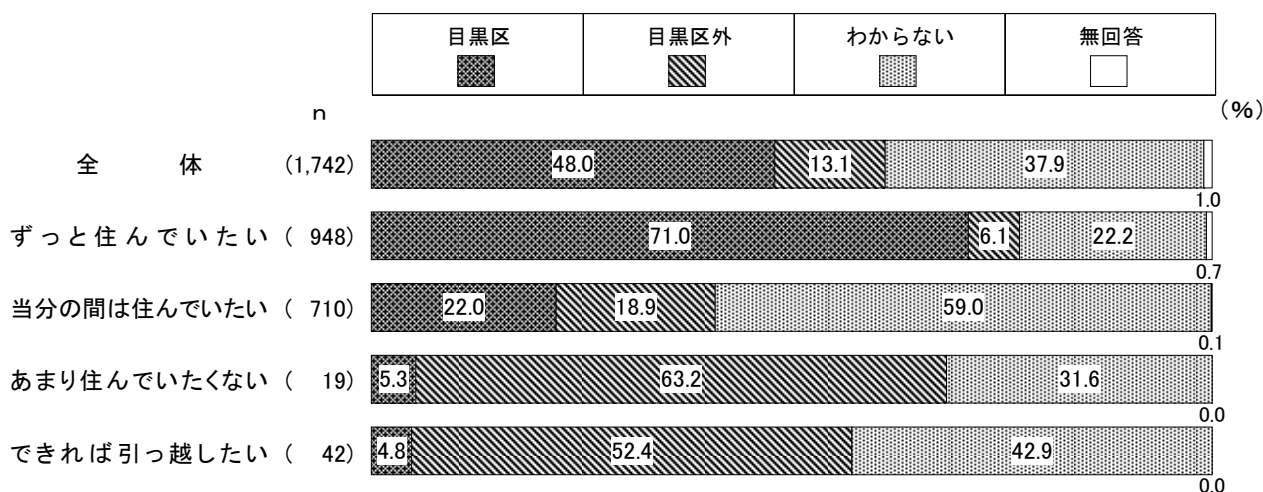
図1-4-3 将来の居住地予想（性・年代別）



(4) 定住意向別

- ・「目黒区」はずっと住んでいたい人（71.0%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」はあまり住んでたくない人（63.2%）とできれば引っ越したい人（52.4%）で高くなっている。
- ・「わからない」は当分の間は住んでいたい人（59.0%）で高くなっている。

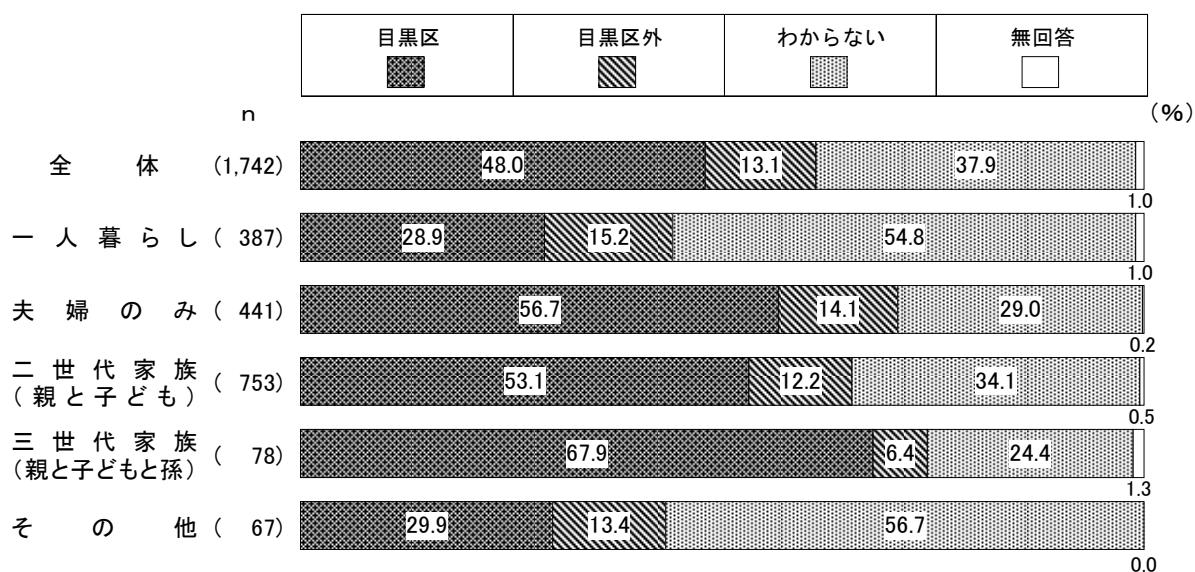
図 1-4-4 将来の居住地予想（定住意向別）



(5) 世帯構成別

- ・「目黒区」は三世代家族（67.9%）、夫婦のみ（56.7%）、二世代家族（53.1%）で高くなっている。
- ・「わからない」は一人暮らし（54.8%）で高くなっている。

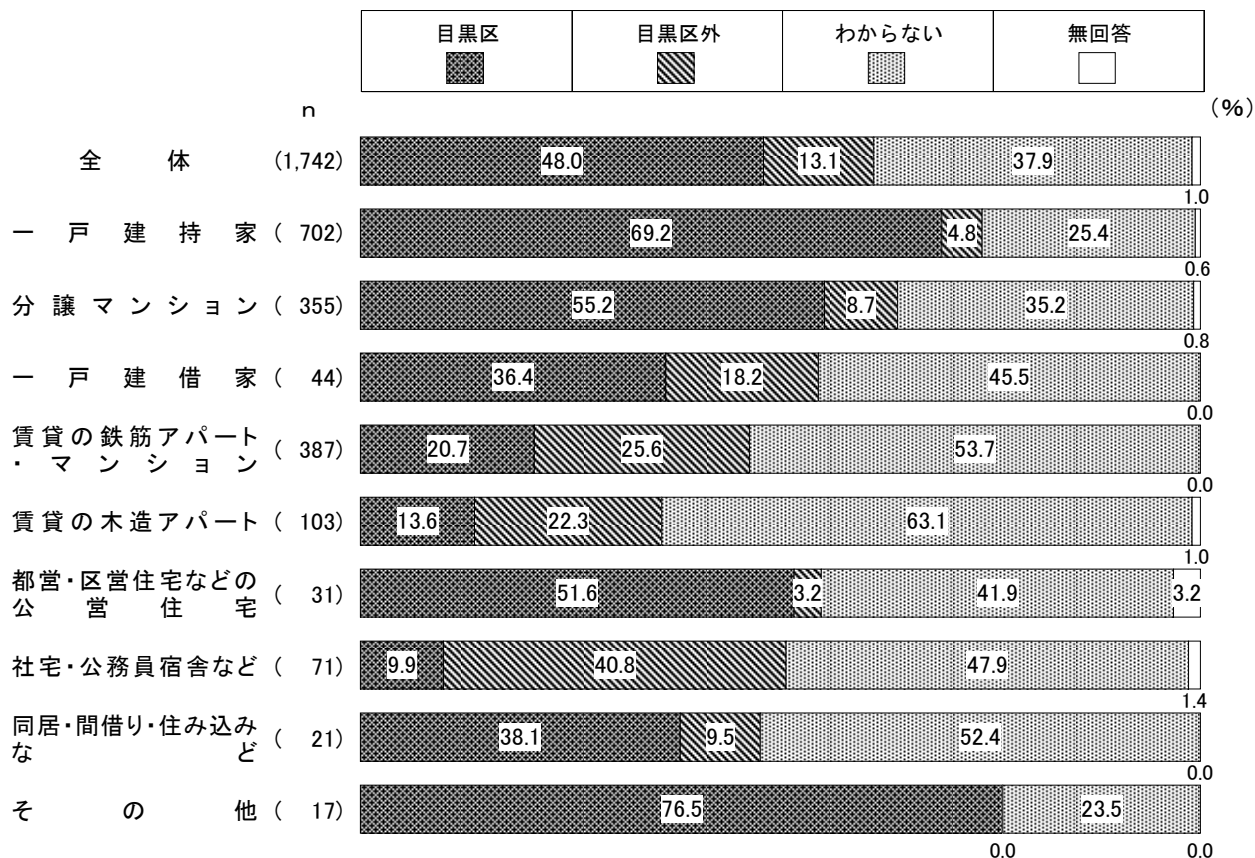
図 1-4-5 将来の居住地予想（世帯構成別）



(6) 居住形態別

- ・「目黒区」は一戸建持家（69.2%）と分譲マンション（55.2%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」は社宅・公務員宿舎など（40.8%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（25.6%）、賃貸の木造アパート（22.3%）で高くなっている。
- ・「わからない」は賃貸の木造アパート（63.1%）で高くなっている。

図 1-4-6 将来の居住地予想（居住形態別）



2. 政治への関心度

2-1 区政・都政・国政への関心度

問6 あなたは、政治や行政に関心がありますか。

- ・「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた『政治に関心がある』人は、区政では6割を超え、都政ではほぼ7割、国政では8割近くとなっている。
- ・『政治に関心がある』人は、区政では女性が男性より高く、都政、国政では男性が女性より高くなっている。

(1) 全体

- ・「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた『政治に関心がある』人は、区政では62.3%、都政では70.8%、国政では78.6%となっている。
- ・政治への関心度の推移をみると、平成10年以降、区政への関心度で6割以上、都政への関心度で7割程度、国政への関心度で8割前後を占めている。

図2-1-1 区政・都政・国政への関心度（全体）

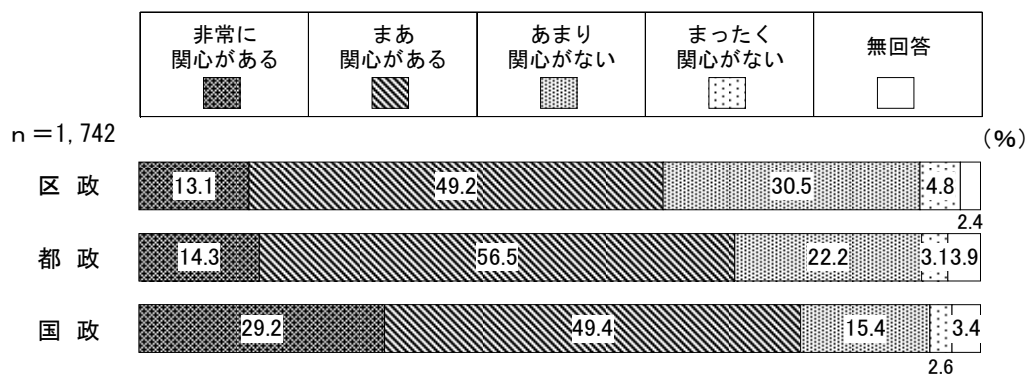


図 2-1-2 区政への関心度の推移（全体）

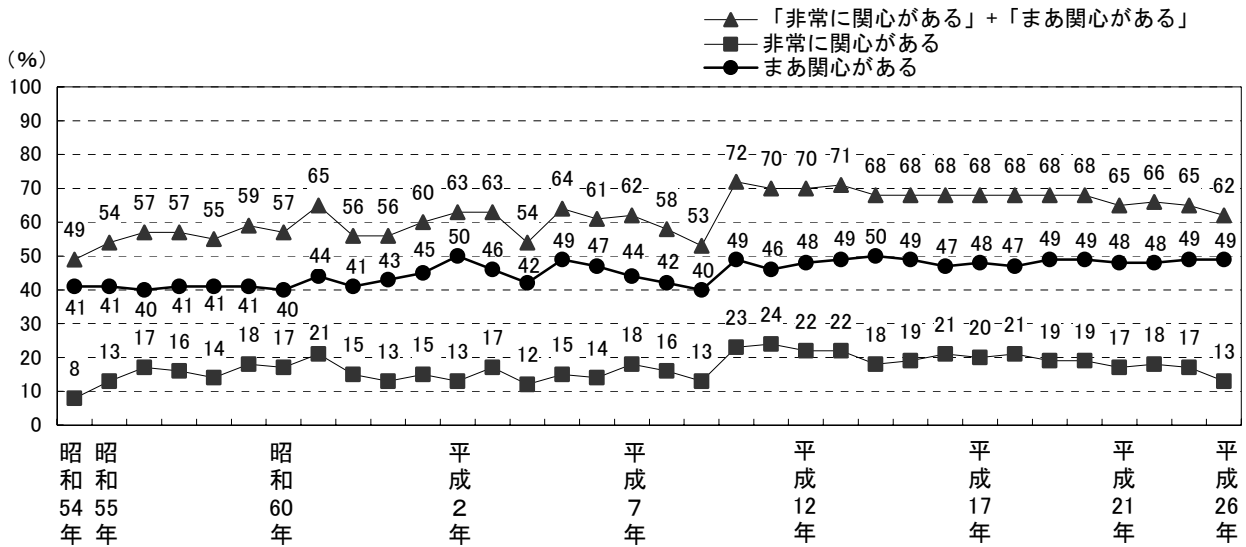


図 2-1-3 都政への関心度の推移（全体）

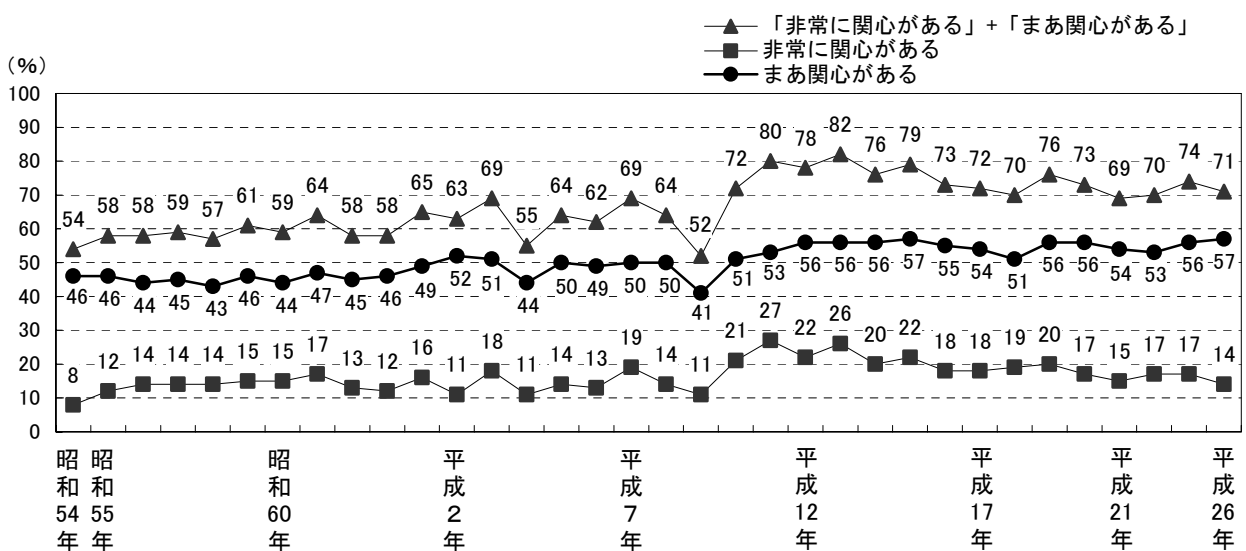
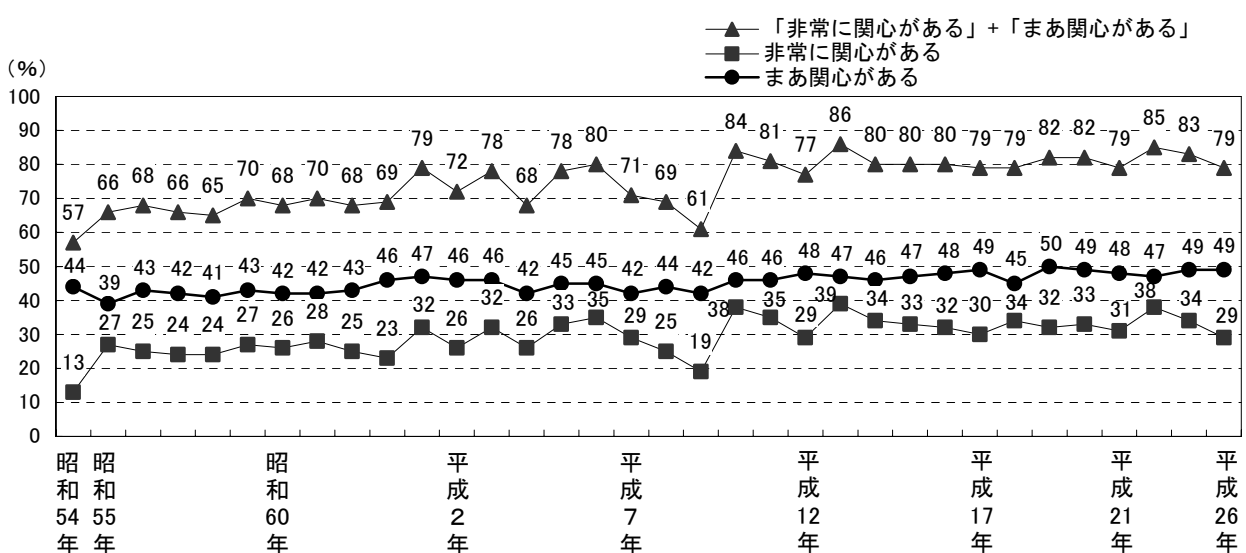


図 2-1-4 国政への関心度の推移（全体）



(2) 男女別

- ・『政治に関心がある』人は、区政では女性（63.2%）が男性（61.6%）より1.6ポイント高くなっている。一方、都政では男性（74.1%）が女性（69.1%）より5.0ポイント高く、国政では男性（83.7%）が女性（75.5%）より8.2ポイント高くなっている。

図2-1-5 区政への関心度（男女別）

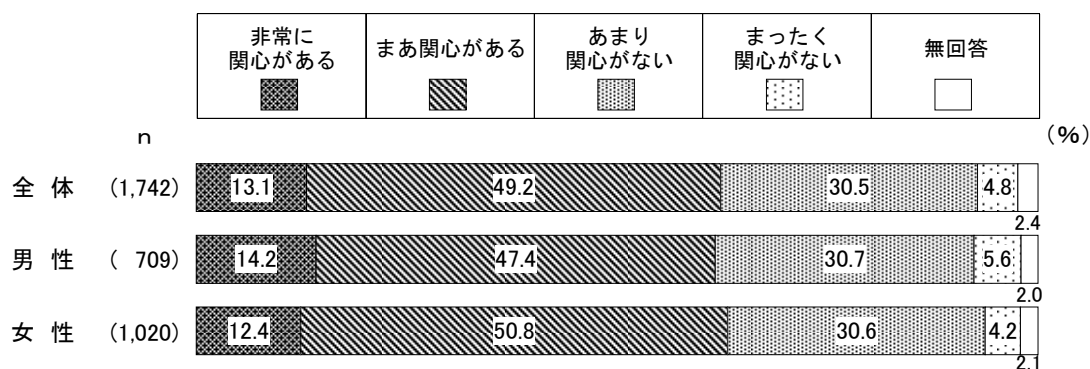


図2-1-6 都政への関心度（男女別）

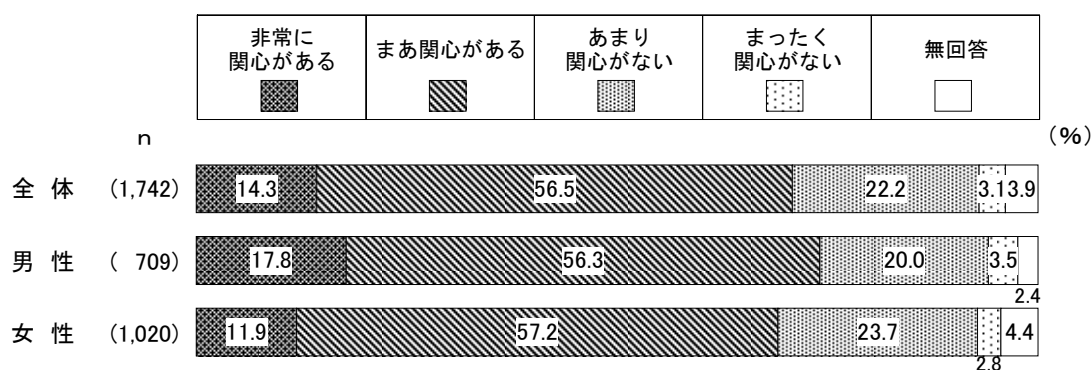
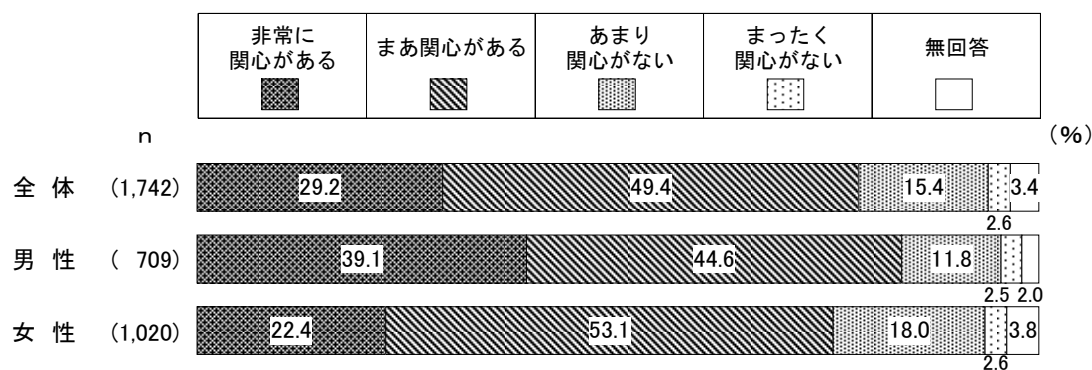


図2-1-7 国政への関心度（男女別）



(3) 年代別

- ・『政治に関心がある』人は、区政では60代(73.2%)と70代(75.3%)で高くなっている。また、都政では40代(76.1%)、50代(75.9%)、60代(75.4%)、70代(76.2%)で高く、国政では40代(80.8%)、50代(84.8%)、60代(84.2%)、70代(82.5%)で高くなっている。

図2-1-8 区政への関心度(年代別)

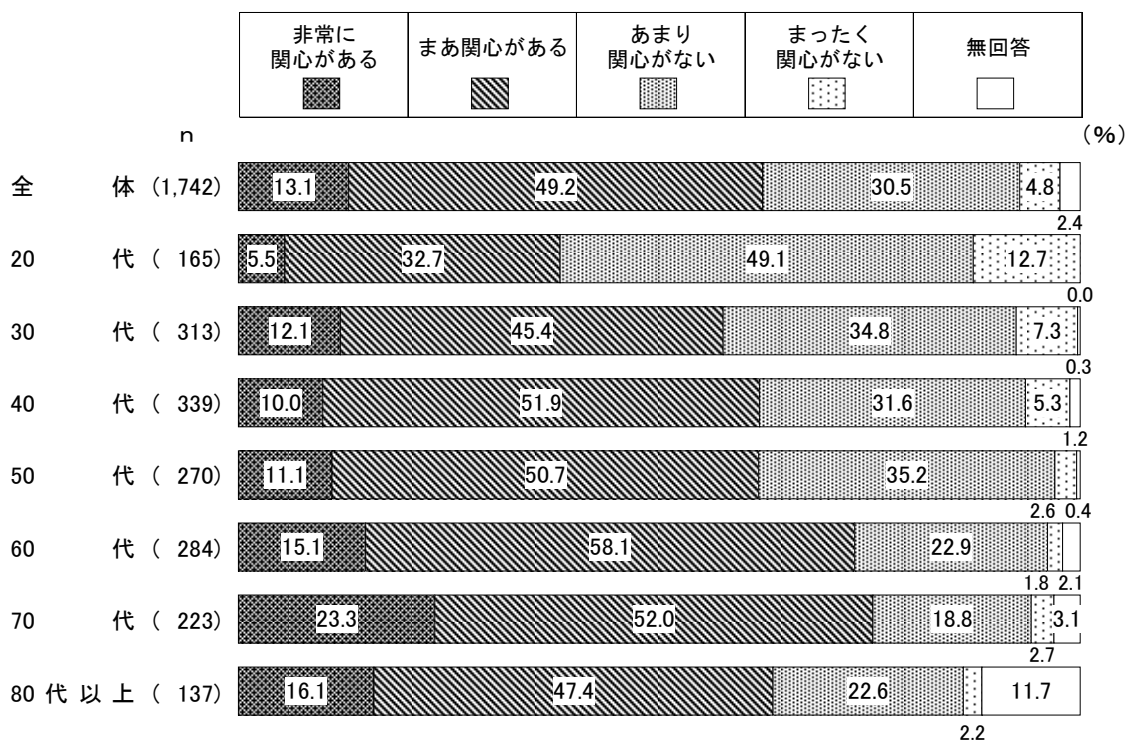


図2-1-9 都政への関心度(年代別)

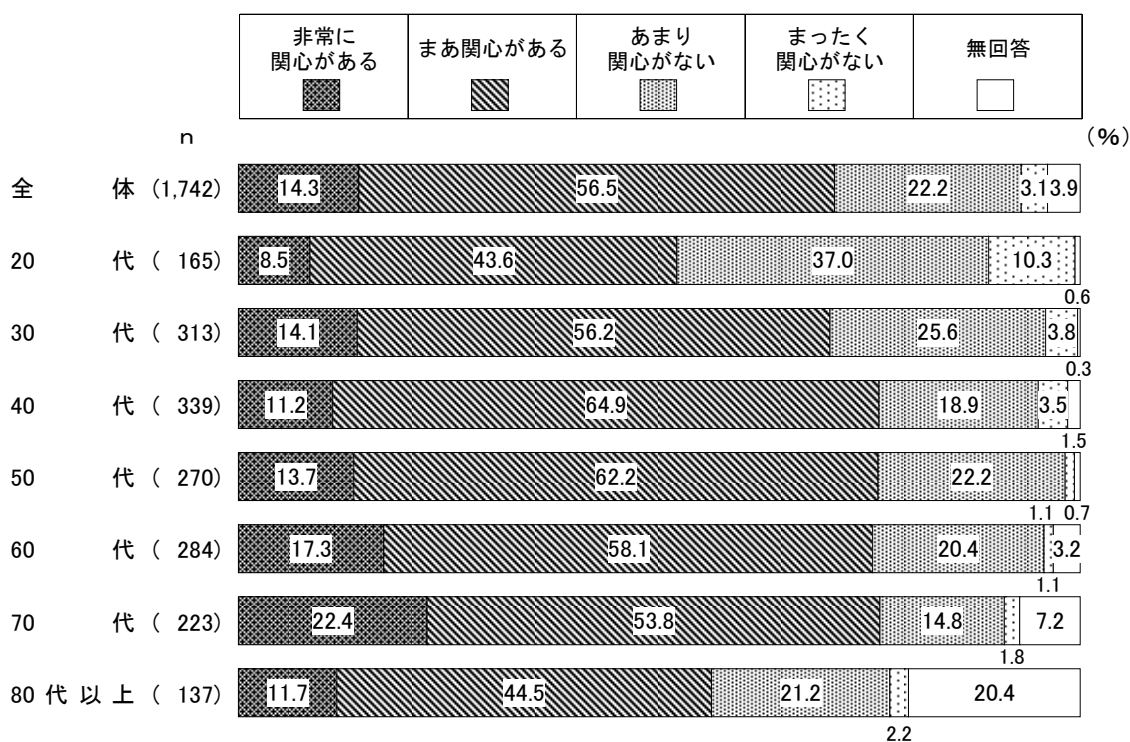
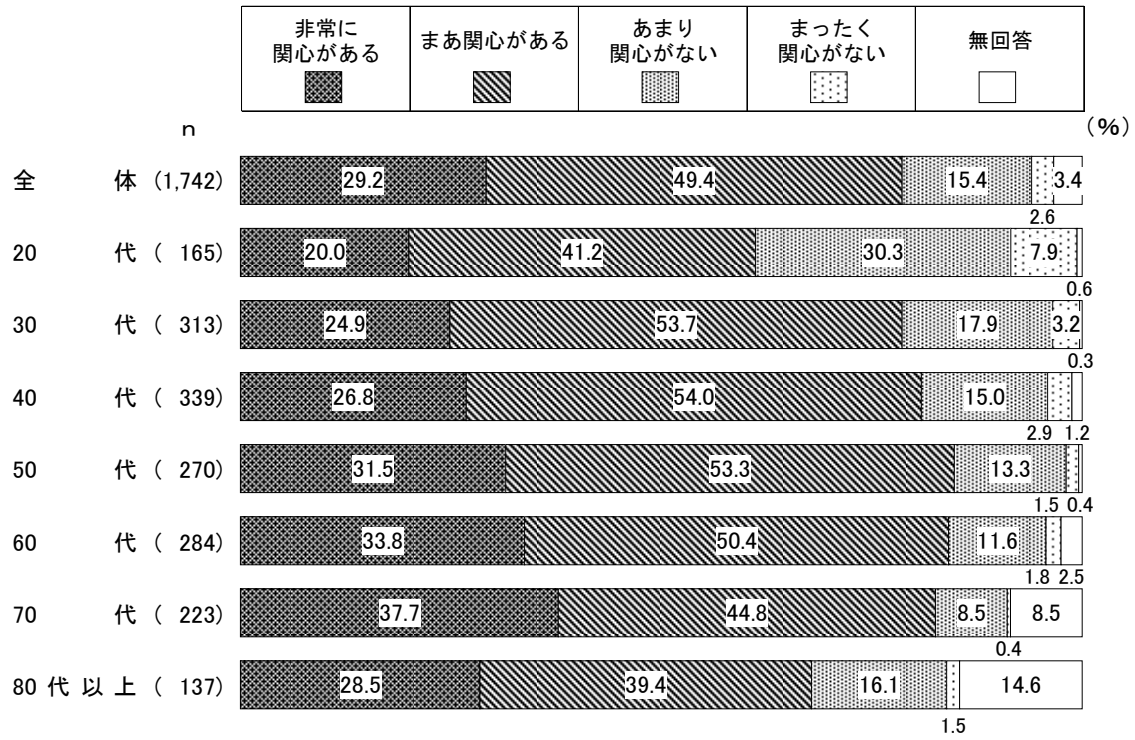


図2-1-10 国政への関心度（年代別）



2-2 区長の名前の認知度

問7 あなたは、現在の目黒区長の名前を知っていますか。(○は1つ)

- ・「知っている」は6割近くを占めている。
- ・「知っている」は女性が男性より高く、おおむね高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・「知っている」が58.5%、「知らない」が40.1%となっている。
- ・「知っている」の推移をみると、平成22年以降ほぼ6割で推移している。

図2-2-1 区長の名前の認知度(全体)

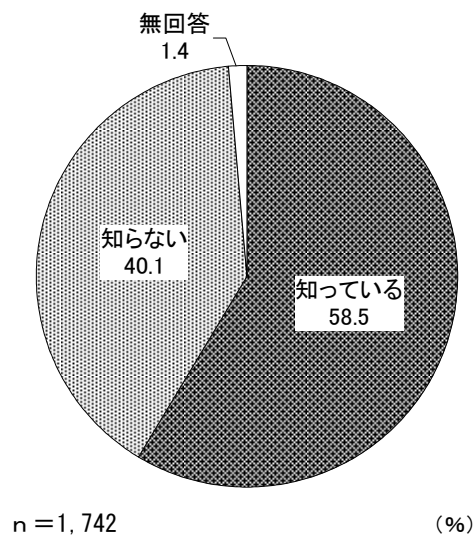
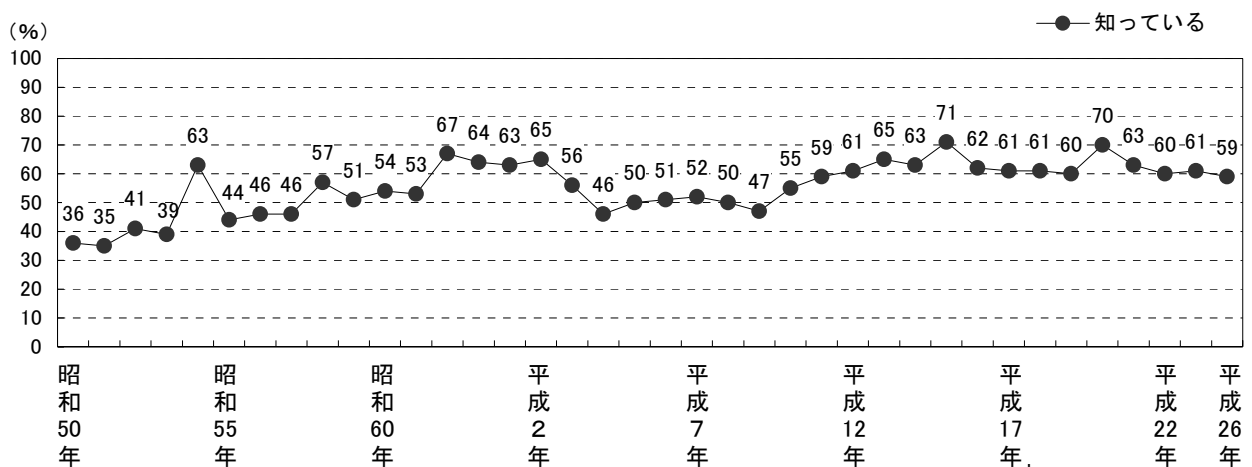


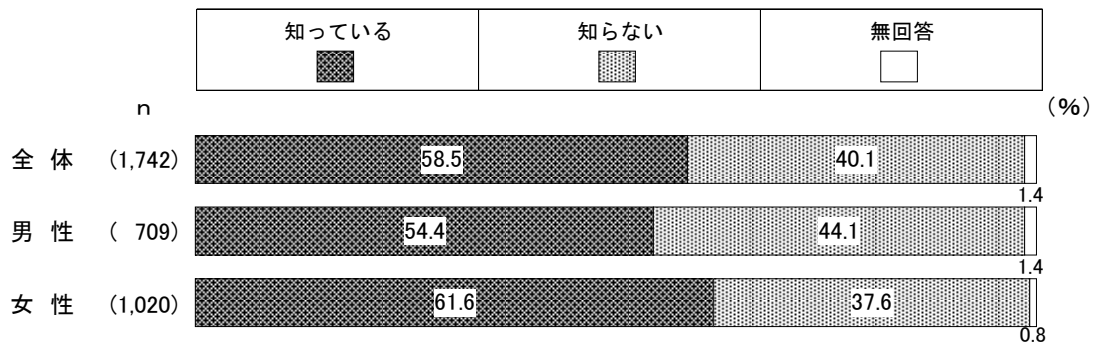
図2-2-2 区長の名前の認知度の推移(「知っている」のみ)(全体)



(2) 男女別

- ・「知っている」は女性（61.6%）が男性（54.4%）より 7.2 ポイント高くなっている。

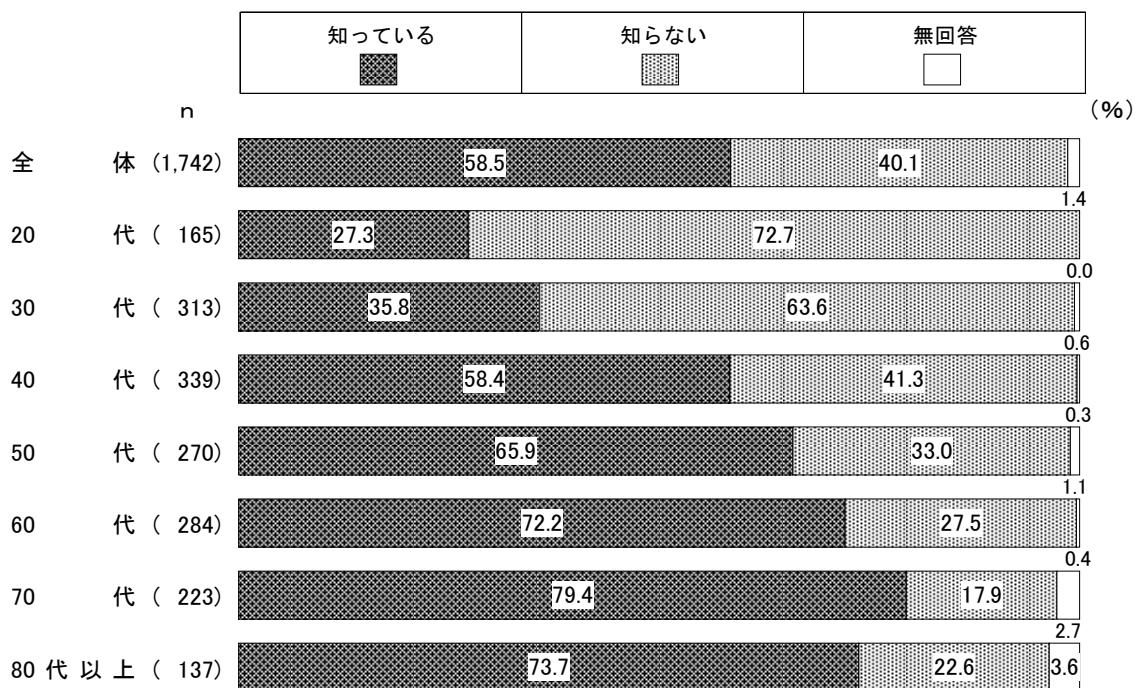
図 2-2-3 区長の名前の認知度（男女別）



(3) 年代別

- ・「知っている」はおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に 70 代（79.4%）で高くなっている。

図 2-2-4 区長の名前の認知度（年代別）



3. 区の施策

3-1 良いと思うところ・悪いと思うところ

問8 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の施策の中からそれぞれ5つまで選び、記入してください。

● 良いと思うところ

- ・第1位は「公園・緑化」、第2位は「清掃・リサイクル」、第3位は「防犯」となっている。
- ・「公園・緑化」は男性20代と女性の20代、30代、50代で高く、北部地区で高くなっている。
- ・「清掃・リサイクル」は女性の60代と70代で高く、中央地区で高くなっている。

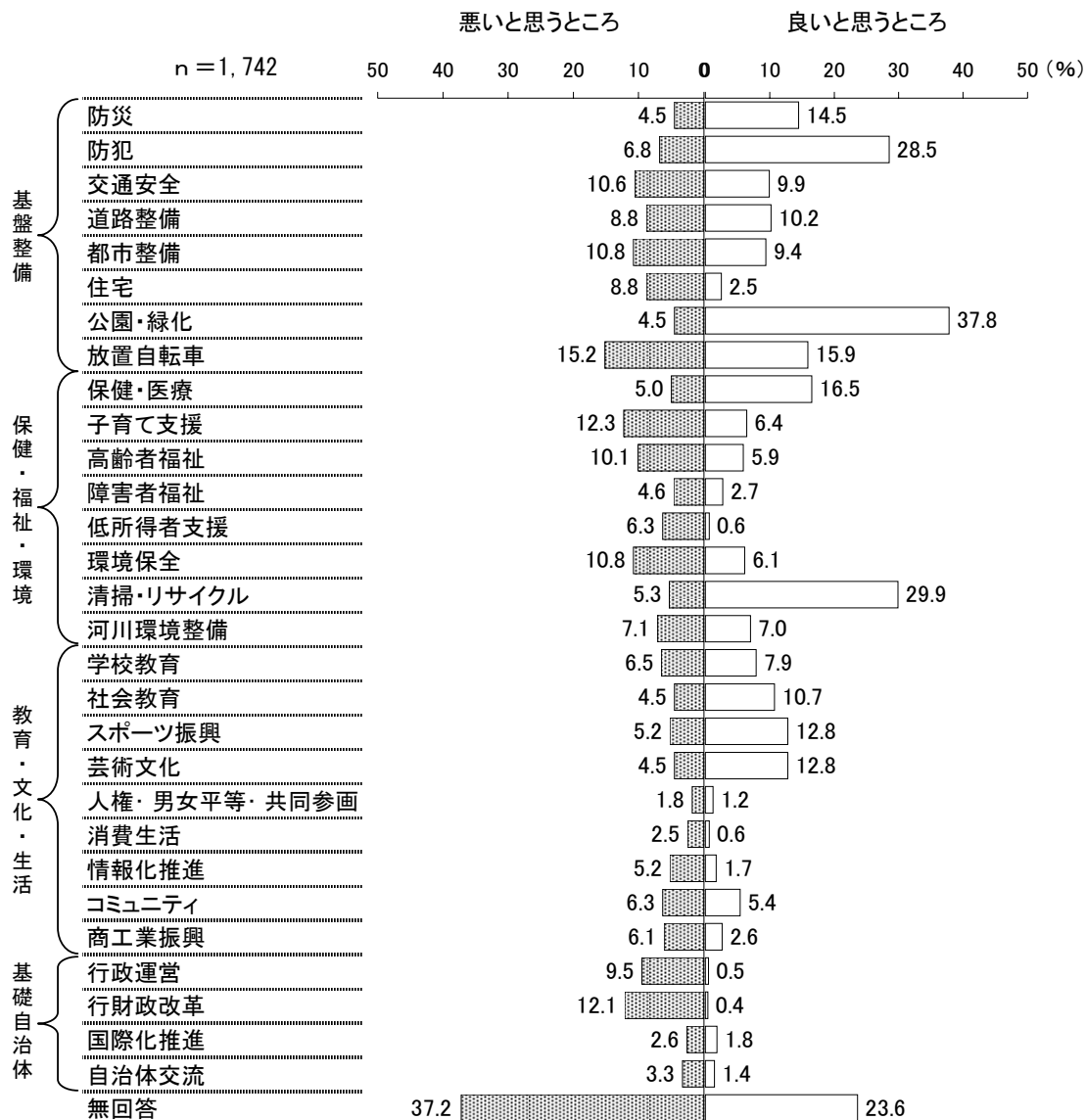
● 悪いと思うところ

- ・第1位は「放置自転車」、第2位は「子育て支援」、第3位は「行財政改革」となっている。
- ・「放置自転車」は男性の60代と80代以上、女性の60代と70代で高く、中央地区で高くなっている。
- ・「子育て支援」は男性、女性ともに30代で高くなっている。

(1) 全体

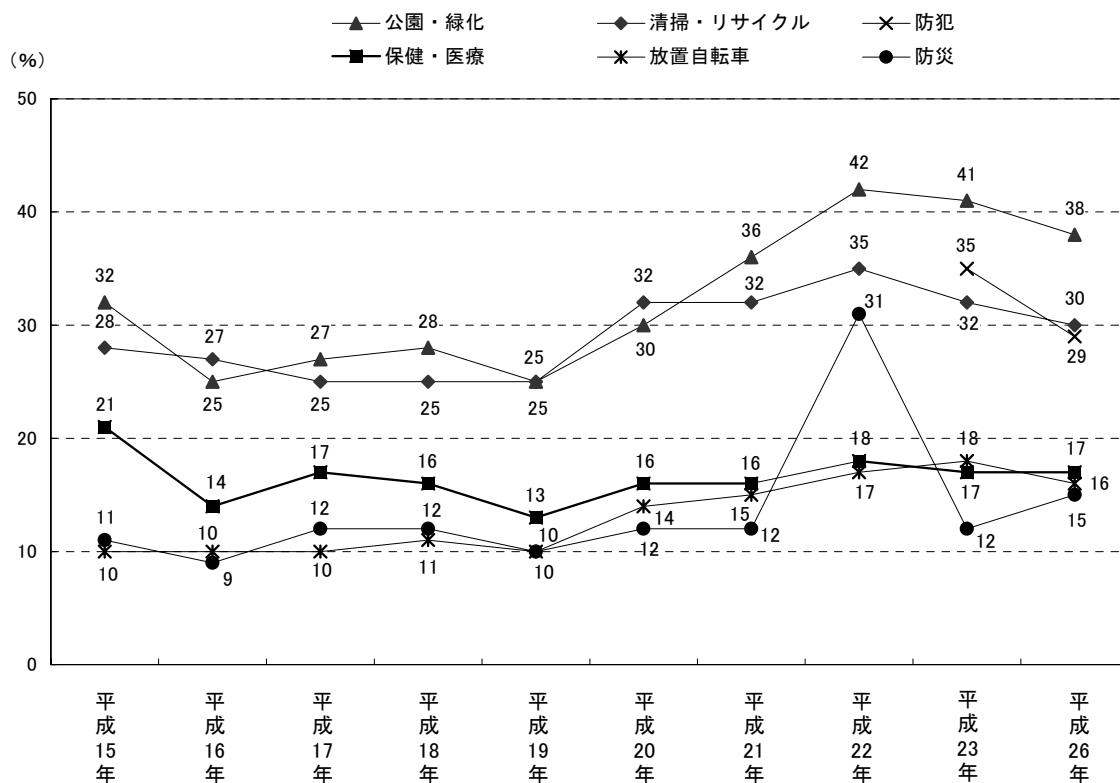
- ・良いと思うところの第1位は「公園・緑化」37.8%、第2位は「清掃・リサイクル」29.9%、第3位は「防犯」28.5%、第4位は「保健・医療」16.5%、第5位は「放置自転車」15.9%となっている。
- ・悪いと思うところの第1位は「放置自転車」15.2%、第2位は「子育て支援」12.3%、第3位は「行財政改革」12.1%、第4位は「都市整備」と「環境保全」とともに10.8%となっている。

図3-1-1 良いと思うところ・悪いと思うところ（全体）



- ・良いと思うところの推移をみると、「公園・緑化」は平成21年以降4割前後で第1位となっている。
- ・悪いと思うところの推移をみると、「放置自転車」は平成15年以降、第1位となっているが、減少傾向を示している。

図3-1-2 良いと思うところの推移【上位6項目】（全体）

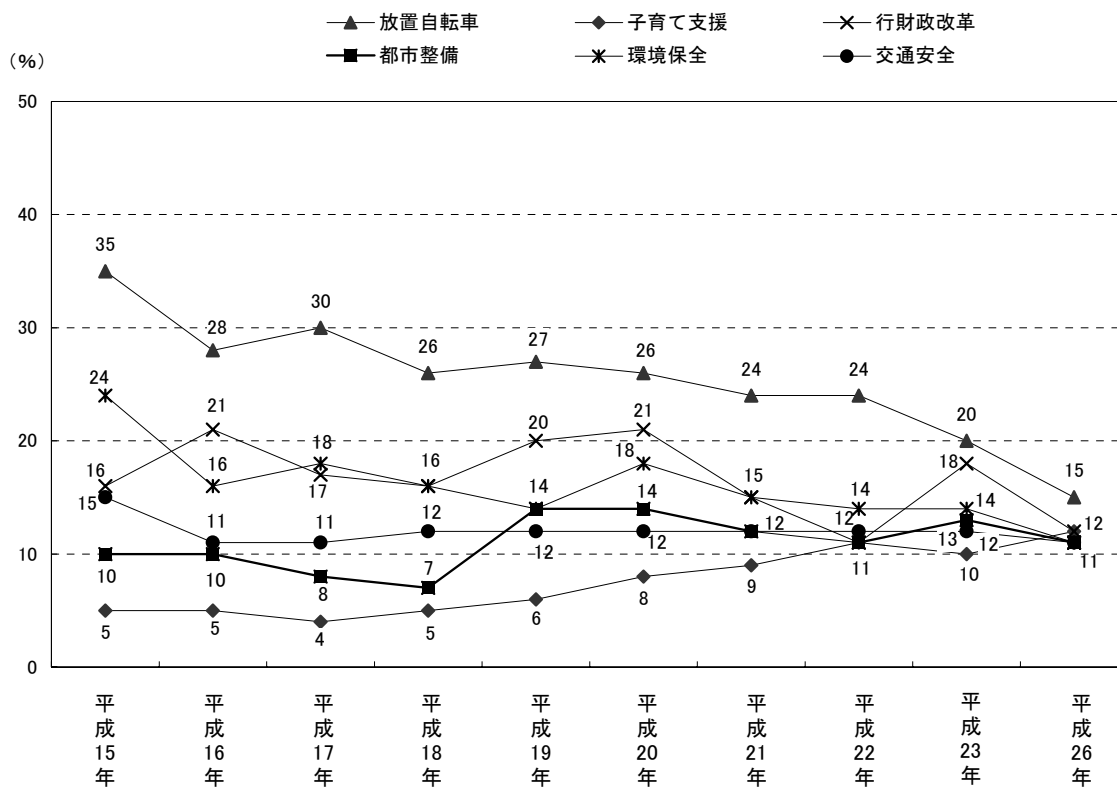


※平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた

※「防犯」は平成23年から新設された選択肢

※このグラフは今回調査における上位6項目の推移である（図3-1-3も同様）

図3-1-3 悪いと思うところの推移【上位6項目】（全体）

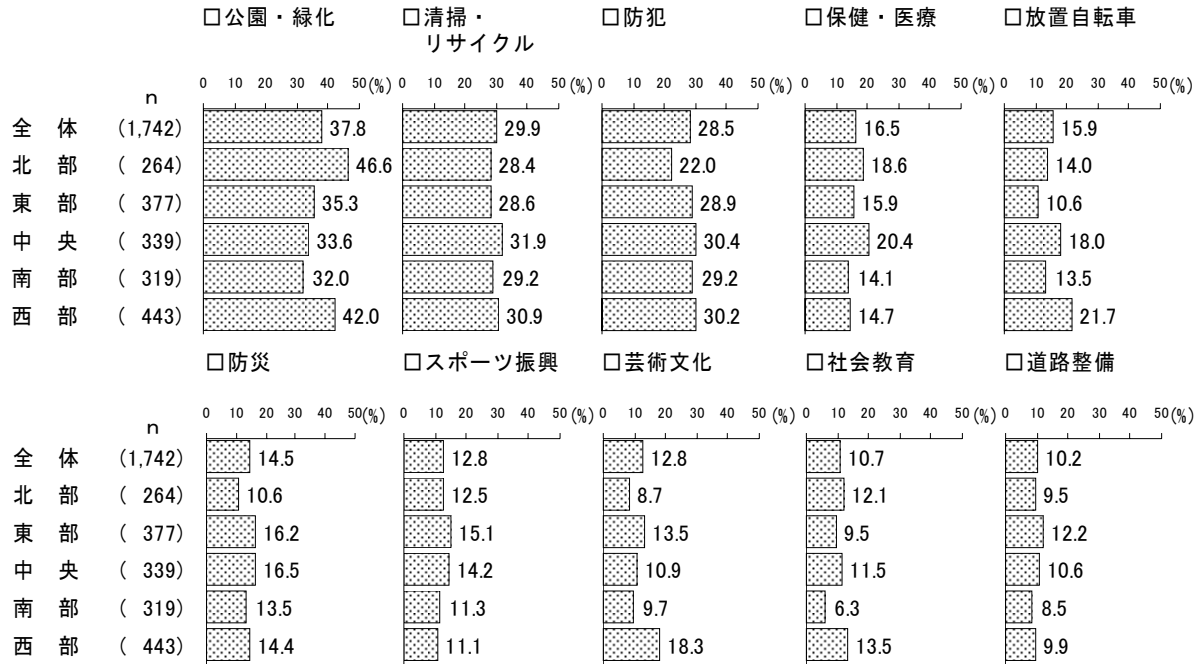


(2) 地区別

①良いと思うところ

- ・「公園・緑化」は北部地区（46.6%）と西部地区（42.0%）で高くなっている。
- ・「清掃・リサイクル」は中央地区（31.9%）で高く、「保健・医療」は中央地区（20.4%）で高く、「放置自転車」は西部地区（21.7%）で高くなっている。

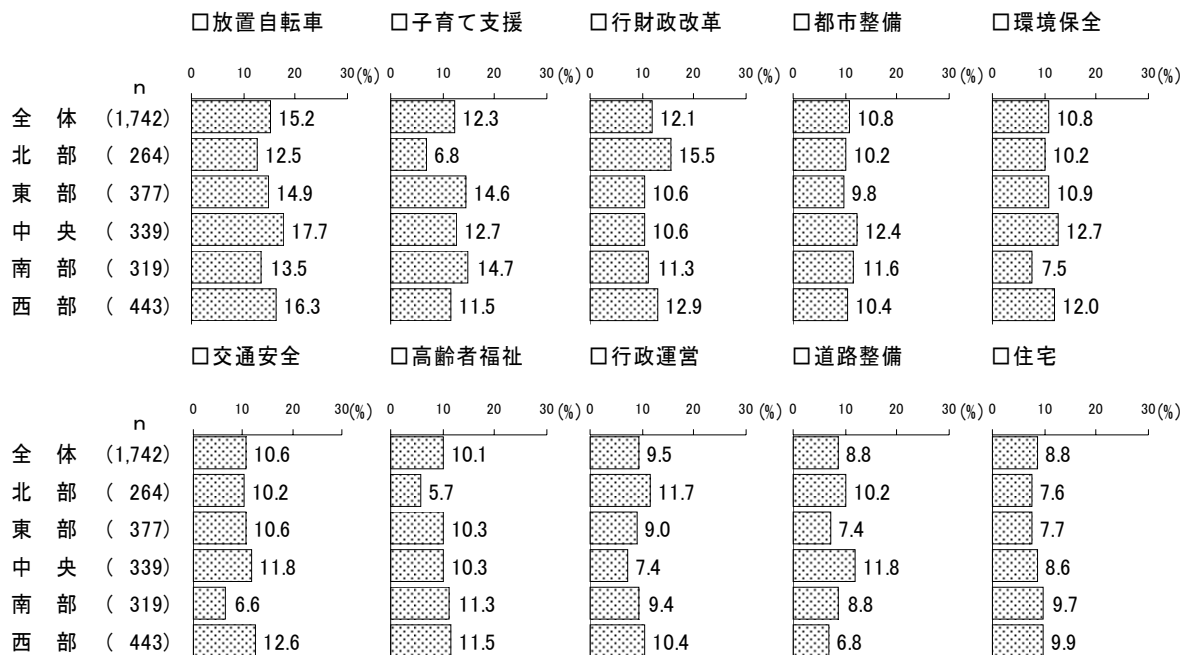
図3-1-4 良いと思うところ【上位10項目】（地区別）



②悪いと思うところ

- ・「放置自転車」は中央地区（17.7%）で高くなっている。
- ・「行財政改革」は北部地区（15.5%）で高くなっている。

図3-1-5 悪いと思うところ【上位10項目】（地区別）

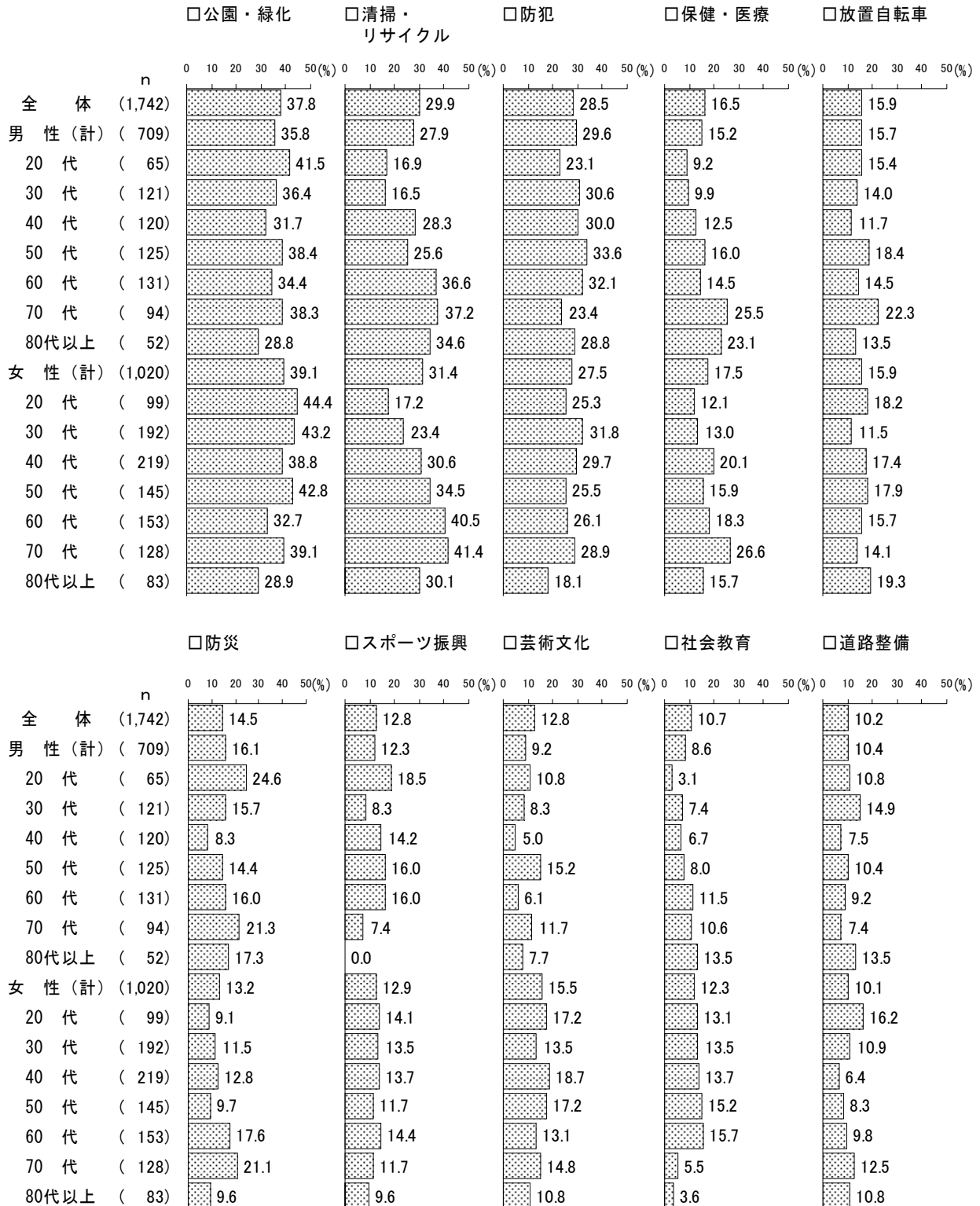


(3) 性・年代別

①良いと思うところ

- ・「芸術文化」は女性（15.5%）が男性（9.2%）より6.3ポイント高くなっている。
- ・「公園・緑化」は男性20代（41.5%）と女性の20代（44.4%）、30代（43.2%）、50代（42.8%）で高くなっている。
- ・「清掃・リサイクル」は女性の60代（40.5%）と70代（41.4%）で高く、「保健・医療」は男性、女性ともに70代（男性25.5%、女性26.6%）で高くなっている。

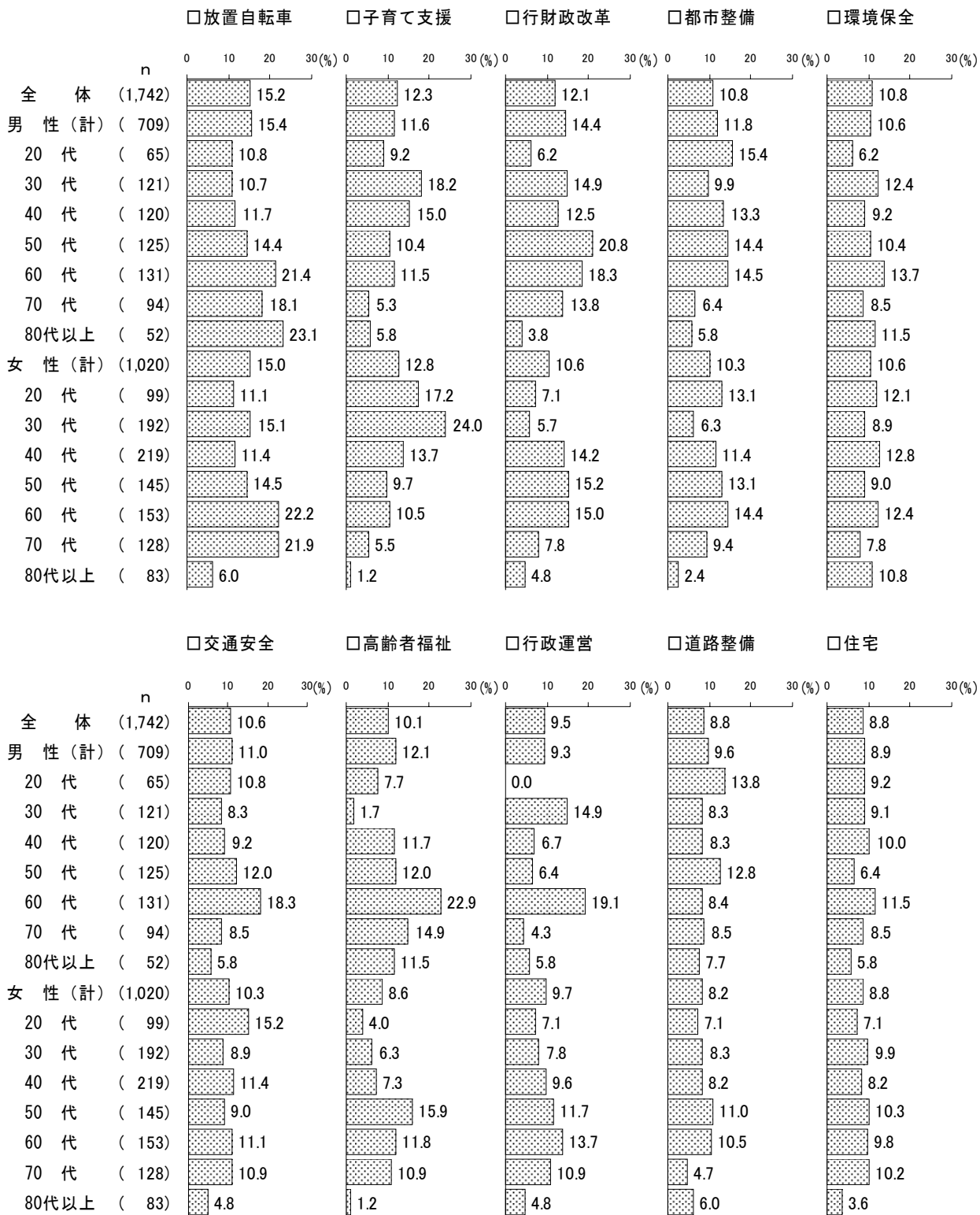
図3-1-6 良いと思うところ【上位10項目】（性・年代別）



②悪いと思うところ

- ・「放置自転車」は男性の60代（21.4%）と80代以上（23.1%）、女性の60代（22.2%）と70代（21.9%）で高くなっている。
- ・「子育て支援」は男性、女性ともに30代（男性18.2%、女性24.0%）で高くなっている。
- ・「行財政改革」は男性50代（20.8%）で高く、「高齢者福祉」は男性60代（22.9%）で高くなっている。

図3-1-7 悪いと思うところ【上位10項目】（性・年代別）



3-2 優先して行ってほしいところ

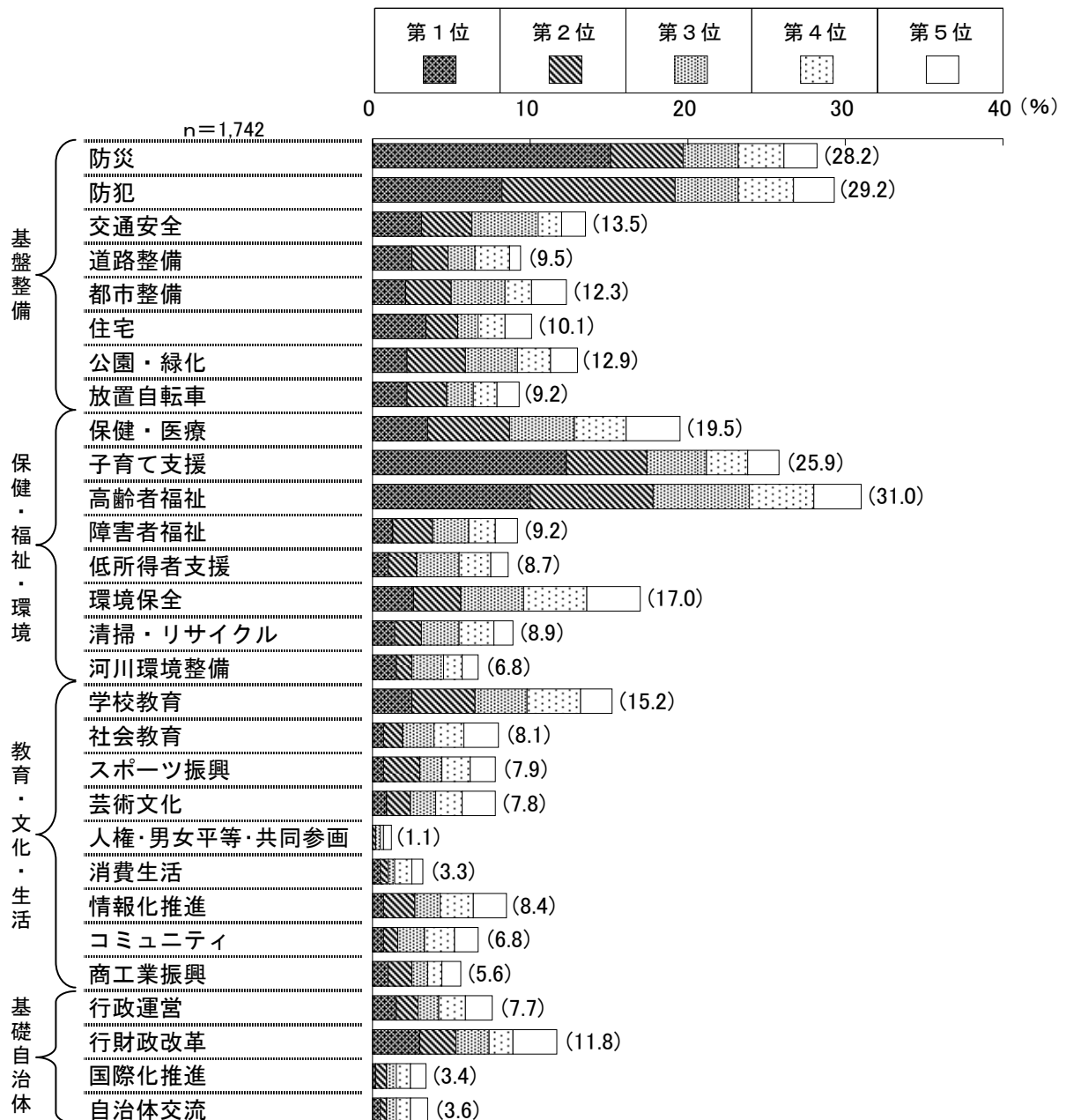
問8 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の施策の中からそれぞれ5つまで選び、記入してください。

- ・優先して行ってほしい施策の総数のうち、第1位は「高齢者福祉」、第2位は「防犯」、第3位は「防災」となっている。
- ・「高齢者福祉」は男性の60代と70代、女性の50代と60代と70代で高く、中央地区で高くなっている。
- ・「防犯」は女性20代で高くなっている。

(1) 全体

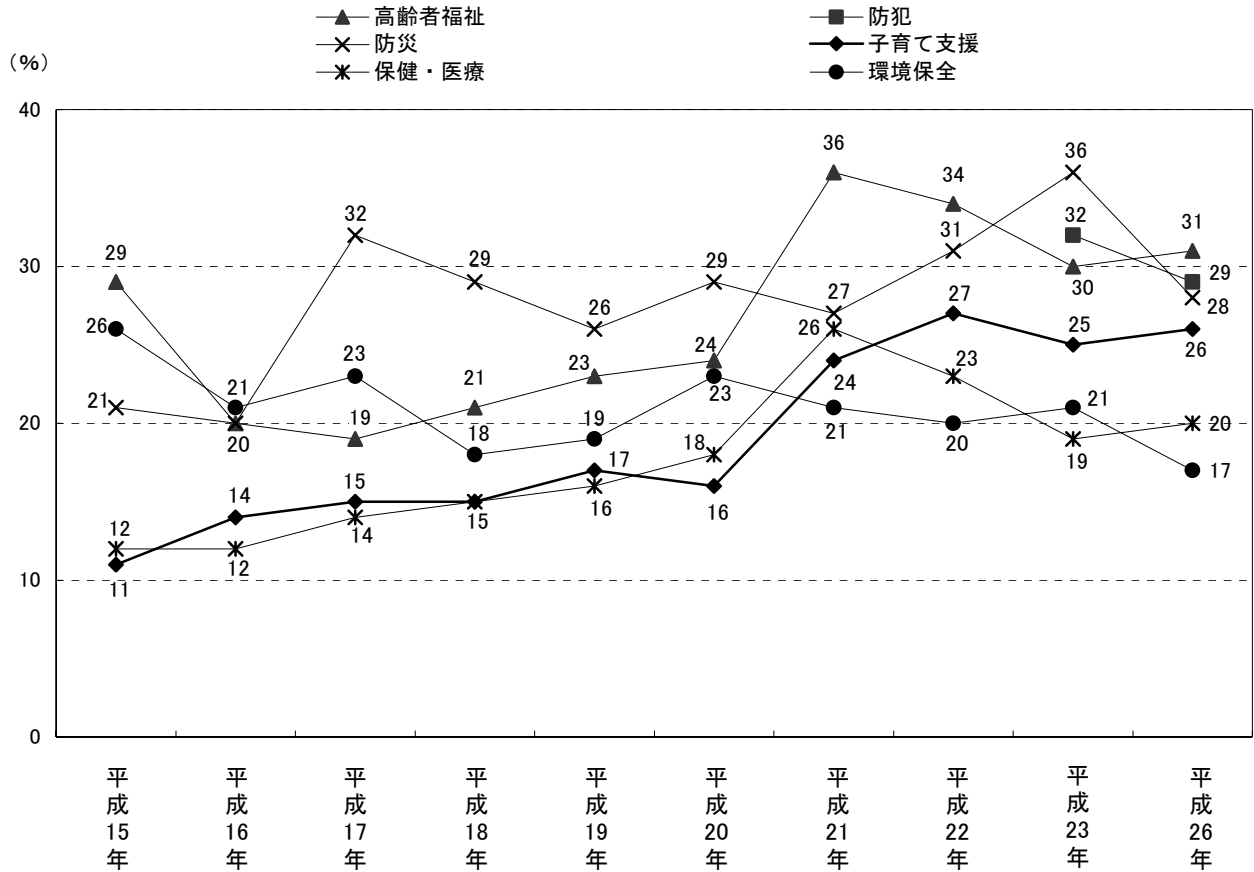
- ・優先して行ってほしい施策の総数のうち、第1位は「高齢者福祉」31.0%、第2位は「防犯」29.2%、第3位は「防災」28.2%、第4位は「子育て支援」25.9%、第5位は「保健・医療」19.5%となっている。

図3-2-1 優先して行ってほしいところ（全体）



- ・優先して行ってほしい施策の総数の推移をみると、上位4位の「高齢者福祉」、「防犯」、「防災」、「子育て支援」は順位に変動はあるものの、平成22年以降3割前後で推移している。
- ・「防災」は前回（平成23年）より大きく減少している。

図3-2-2 優先して行ってほしいところの推移【上位6項目】（全体）

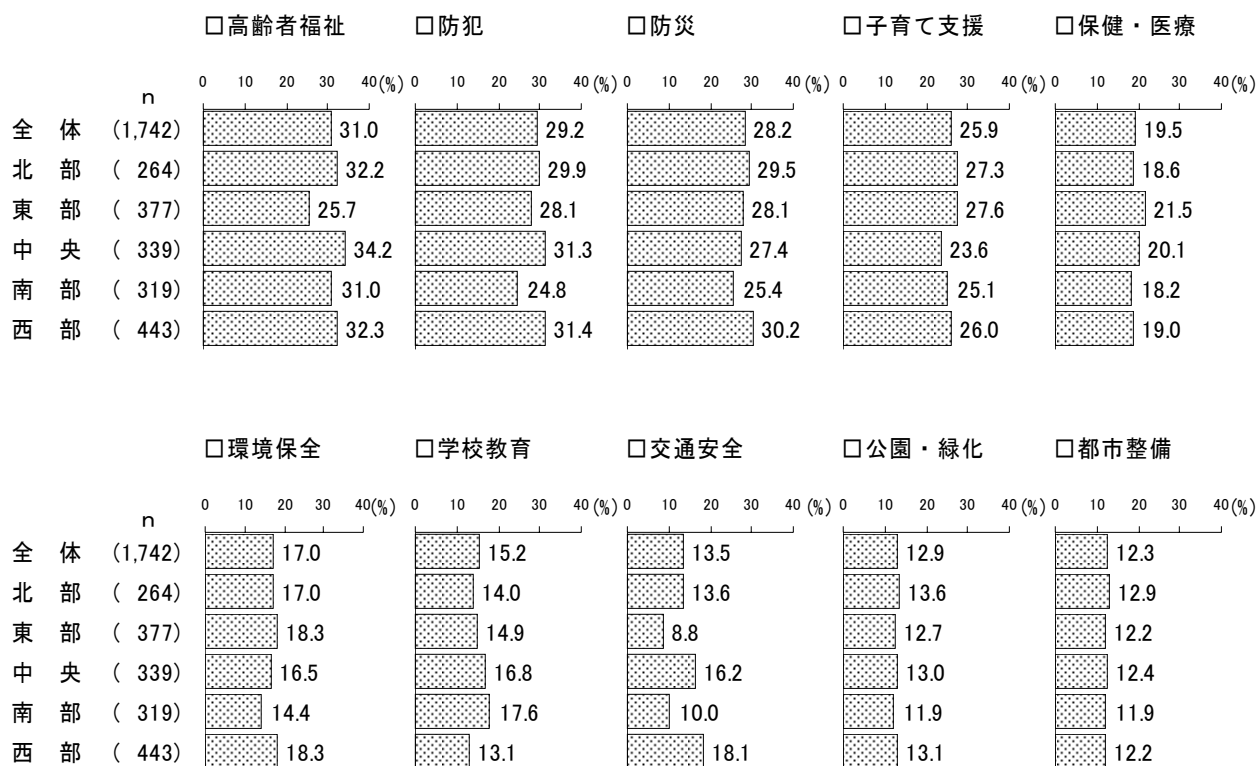


※平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた
 ※「防犯」は平成23年から新設された選択肢
 ※このグラフは今回調査における上位6項目の推移である

(2) 地区別

- ・「高齢者福祉」は中央地区（34.2%）で高くなっている。
- ・「防犯」は西部地区（31.4%）と中央地区（31.3%）で高くなっている。
- ・「防災」は西部地区（30.2%）で高くなっている。

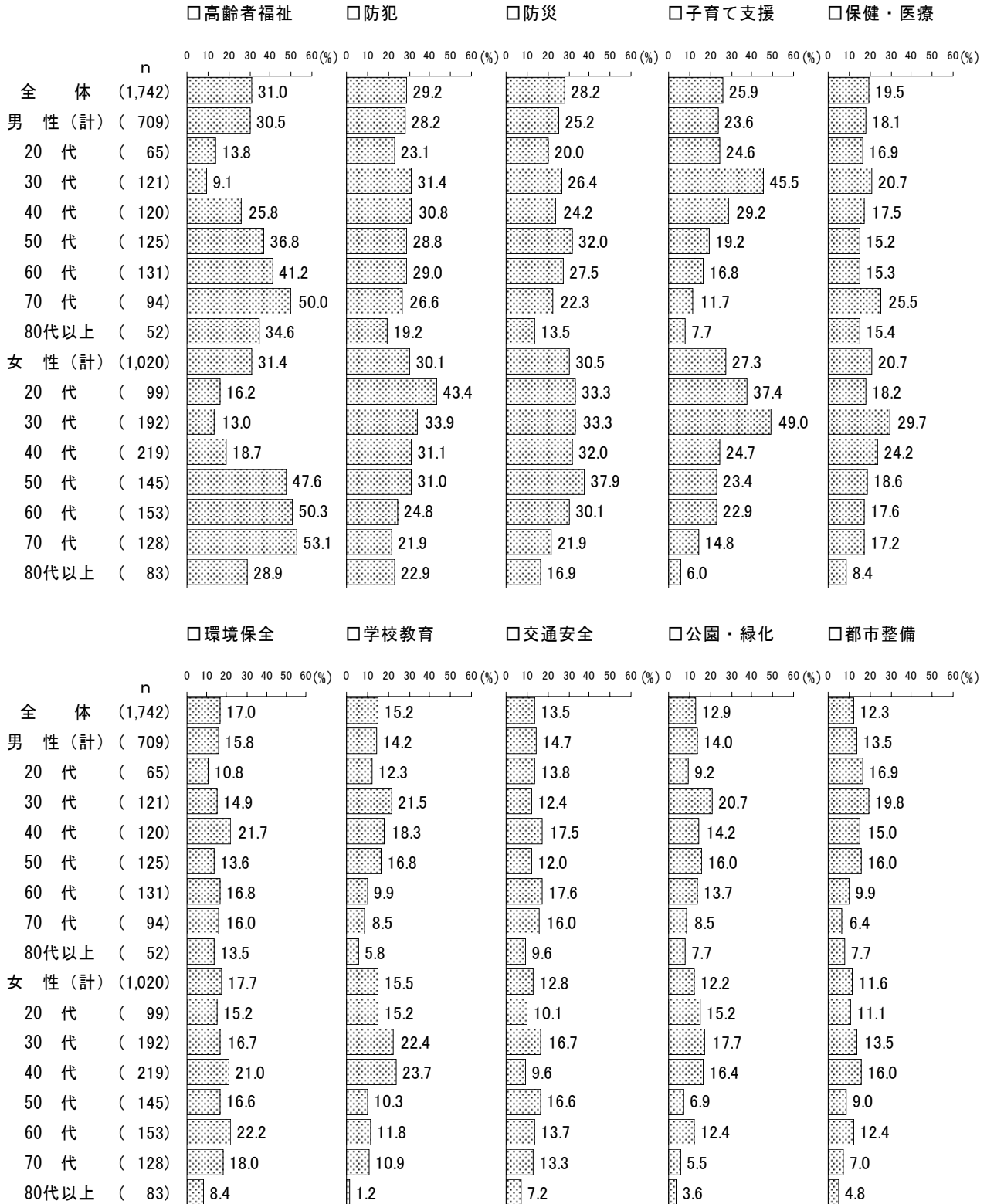
図3-2-3 優先して行ってほしいところ【上位10項目】（地区別）



(3) 性・年代別

- ・「防災」は女性（30.5%）が男性（25.2%）より 5.3 ポイント高くなっている。
- ・「高齢者福祉」は男性の 60 代（41.2%）と 70 代（50.0%）、女性の 50 代（47.6%）、60 代（50.3%）、70 代（53.1%）で高くなっている。
- ・「防犯」は女性 20 代（43.4%）で高く、「防災」は女性 50 代（37.9%）で高くなっている。
- ・「子育て支援」は男性、女性ともに 30 代（男性 45.5%、女性 49.0%）で高くなっている。

図 3-2-4 優先して行ってほしいところ【上位 10 項目】（性・年代別）



(4) 施策の優先順位

・優先して行ってほしいところを地区別、性・年代別、居住年数別に上位5位で表した。属性別にみると、全体で第1位の「高齢者福祉」は東部地区を除くすべての地区、男性、女性ともに50代以上の年代、居住年数が20年以上で第1位となっている。

表3-2-5 優先して行ってほしいところ（地区別、性・年代別、居住年数別）【施策の優先順位】

属性		順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体			1742	高齢者福祉 31.0	防犯 29.2	防災 28.2	子育て支援 25.9	保健・医療 19.5
地区別	北部地区		264	高齢者福祉 32.2	防犯 29.9	防災 29.5	子育て支援 27.3	保健・医療 18.6
	東部地区		377	防犯／防災 28.1		子育て支援 27.6	高齢者福祉 25.7	保健・医療 21.5
	中央地区		339	高齢者福祉 34.2	防犯 31.3	防災 27.4	子育て支援 23.6	保健・医療 20.1
	南部地区		319	高齢者福祉 31.0	防災 25.4	子育て支援 25.1	防犯 24.8	保健・医療 18.2
	西部地区		443	高齢者福祉 32.3	防犯 31.4	防災 30.2	子育て支援 26.0	保健・医療 19.0
性／年代別	男性(計)		709	高齢者福祉 30.5	防犯 28.2	防災 25.2	子育て支援 23.6	保健・医療 18.1
	20代		65	子育て支援 24.6	防犯／道路整備 23.1		防災 20.0	保健・医療/都市整備 16.9
	30代		121	子育て支援 45.5	防犯 31.4	防災 26.4	学校教育 21.5	保健・医療 20.7
	40代		120	防犯 30.8	子育て支援 29.2	高齢者福祉 25.8	防災 24.2	環境保全 21.7
	50代		125	高齢者福祉 36.8	防災 32.0	防犯 28.8	子育て支援 19.2	行財政改革 18.4
	60代		131	高齢者福祉 41.2	防犯 29.0	防災 27.5	行財政改革 26.0	交通安全 17.6
	70代		94	高齢者福祉 50.0	防犯 26.6	保健・医療 25.5	防災 22.3	環境保全/交通安全/ 障害者福祉 16.0
	80代以上		52	高齢者福祉 34.6	放置自転車 21.2	防犯 19.2	保健・医療 15.4	防災/環境保全 13.5
	女性(計)		1020	高齢者福祉 31.4	防災 30.5	防犯 30.1	子育て支援 27.3	保健・医療 20.7
	20代		99	防犯 43.4	子育て支援 37.4	防災 33.3	保健・医療 18.2	スポーツ振興 17.2
	30代		192	子育て支援 49.0	防犯 33.9	防災 33.3	保健・医療 29.7	学校教育 22.4
	40代		219	防災 32.0	防犯 31.1	子育て支援 24.7	保健・医療 24.2	学校教育 23.7
	50代		145	高齢者福祉 47.6	防災 37.9	防犯 31.0	子育て支援 23.4	保健・医療 18.6
60代		153	高齢者福祉 50.3	防災 30.1	防犯 24.8	子育て支援 22.9	環境保全 22.2	
70代		128	高齢者福祉 53.1	防犯／防災 21.9		環境保全／低所得者支援 18.0		
80代以上		83	高齢者福祉 28.9	防犯 22.9	防災 16.9	情報化推進 10.8	保健・医療/環境保全/ コミュニティ 8.4	
居住年数別	5年未満		398	子育て支援 36.4	防犯 31.7	防災 30.2	保健・医療 20.4	環境保全 16.6
	5年～9年		165	子育て支援 35.8	防犯 33.9	防災 29.7	学校教育 24.8	保健・医療 20.0
	10年～19年		323	防災 33.1	防犯 31.0	高齢者福祉 26.3	保健・医療 24.1	子育て支援 23.5
	20年以上		840	高齢者福祉 43.7	防犯 26.8	防災 25.6	子育て支援 19.4	保健・医療 17.5

4. 広報・インターネット

4-1 希望する情報の入手先

問9 あなたは、日ごろ必要としている区の情報やお知らせを、どのように入手していますか。

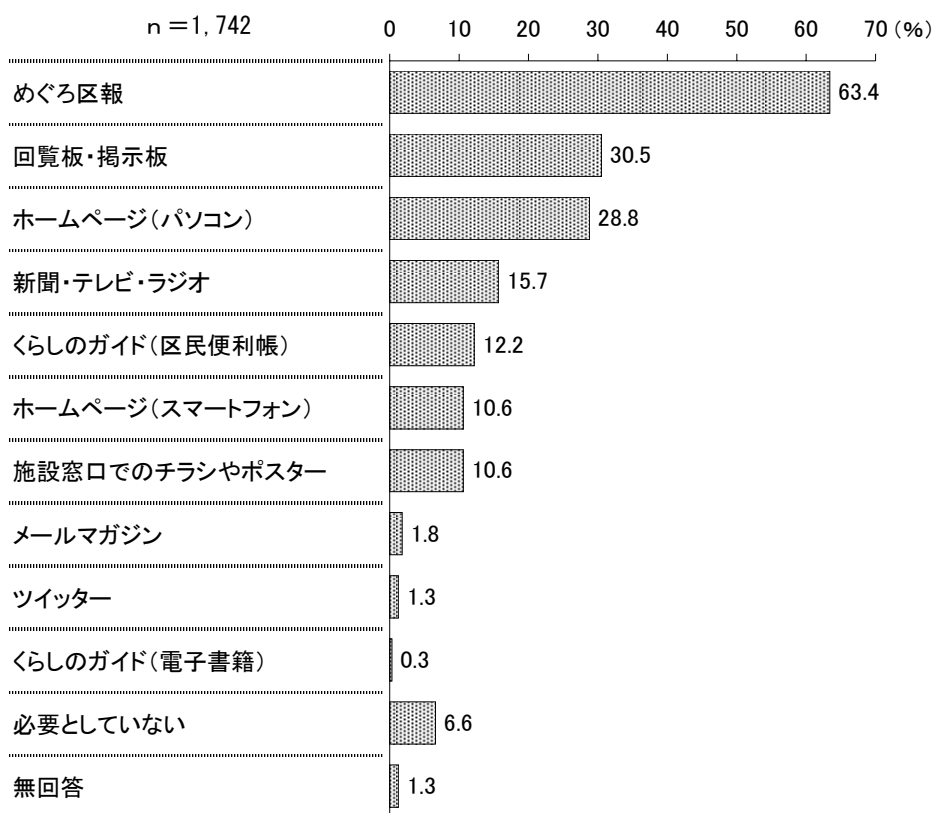
(〇はいくつでも)

- ・「めぐろ区報」が6割を超えて最も高く、次いで「回覧板・掲示板」がほぼ3割、「ホームページ(パソコン)」が3割近くとなっている。
- ・「めぐろ区報」は女性が男性より高く、男性、女性ともおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「回覧板・掲示板」は男性80代以上と女性70代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「めぐろ区報」が63.4%で最も高く、次いで「回覧板・掲示板」30.5%、「ホームページ(パソコン)」28.8%、「新聞・テレビ・ラジオ」15.7%の順となっている。

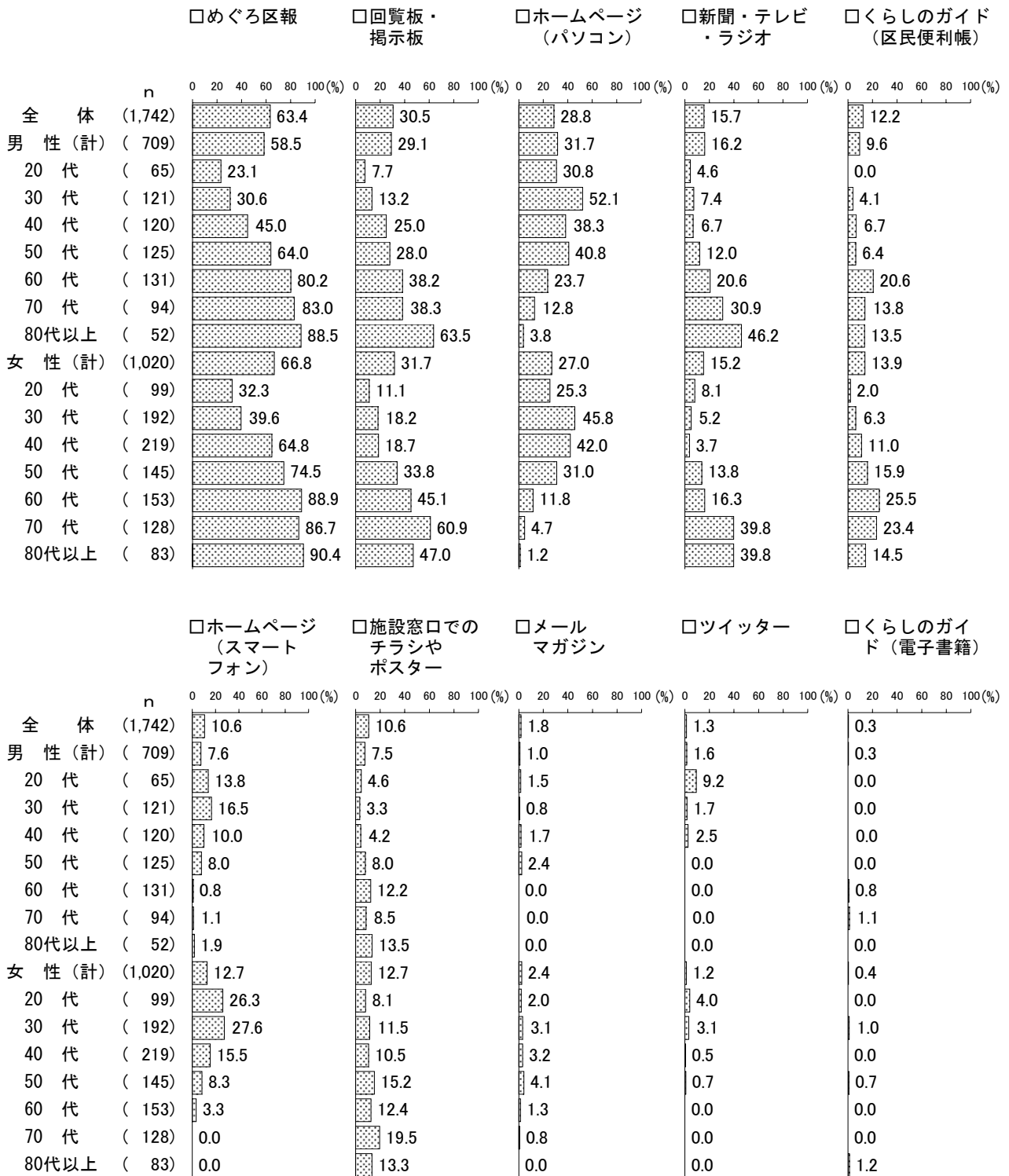
図4-1-1 希望する情報の入手先(全体)



(2) 性・年代別

- ・「めぐろ区報」は女性（66.8%）が男性（58.5%）より8.3ポイント高くなっている。
- ・「めぐろ区報」は男性、女性ともにおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に80代以上（男性88.5%、女性90.4%）で高くなっている。
- ・「回覧板・掲示板」は男性80代以上（63.5%）と女性70代（60.9%）で高くなっている。
- ・「ホームページ（パソコン）」は男性、女性ともに30代（男性52.1%、女性45.8%）で高くなっている。

図4-1-2 希望する情報の入手先（性・年代別）



4-2 めぐろ区報の入手先

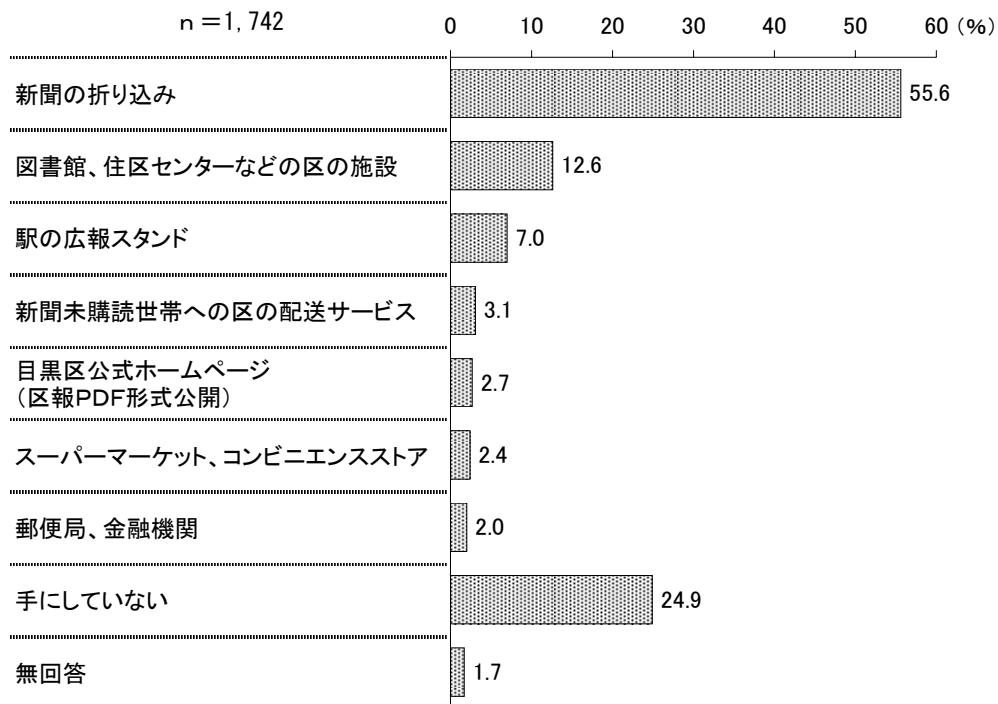
問10 区では、広報紙「めぐろ区報」を毎月3回（5日、15日、25日）発行し、日刊6紙に折り込んで配布しています。このほか、駅の広報スタンドや図書館、住区センターなどにも置いてあります。あなたは、主にどこで広報紙を手に入れていますか。（○は2つまで）

- ・「新聞の折り込み」が5割半ばで最も高くなっている。また、「手にしていない」は2割半ばとなっている。
- ・「新聞の折り込み」はおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、「手にしていない」は低い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・「新聞の折り込み」が55.6%で最も高くなっている。また、「手にしていない」は24.9%となっている。

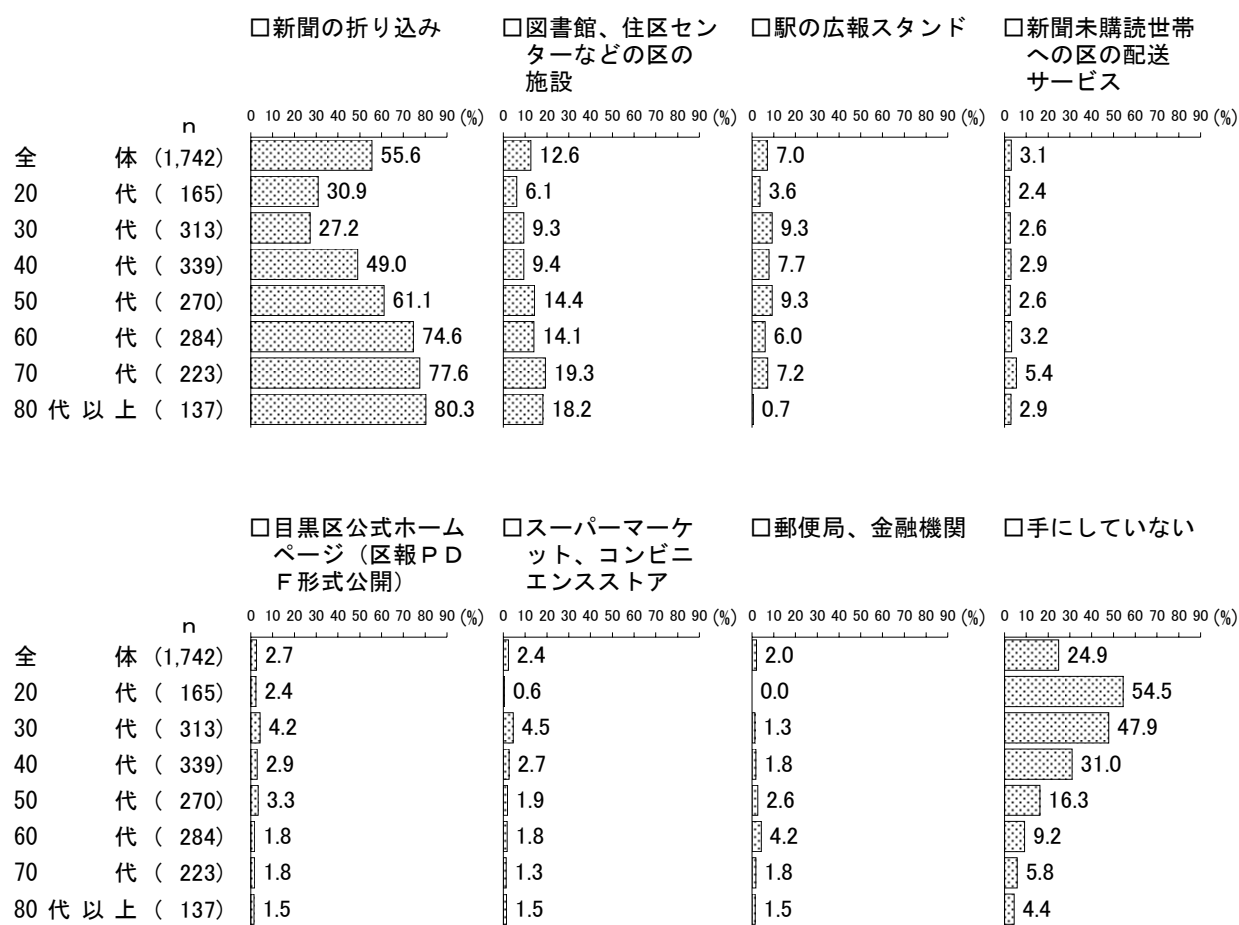
図4-2-1 めぐろ区報の入手先（全体）



(2) 年代別

- ・「新聞の折り込み」はおおむね高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に 80 代以上 (80.3%) で高くなっている。
- ・「手にしていない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に 20 代 (54.5%) で高くなっている。

図 4-2-2 めぐろ区報の入手先 (年代別)



4-3 めぐる区報の閲覧状況

(問10で、めぐる区報の入手先が「新聞の折り込み」～「目黒区公式ホームページ」と回答した方にお尋ねします)

問10-1 あなたは、「めぐる区報」をどの程度読んでいますか。(〇は1つ)

- ・「十分に目を通す」という『精読率』は2割を超え、これに「必要などころだけ読む」を合わせた『閲読率』は8割を超えている。
- ・『閲読率』は女性が男性より高く、男性80代以上と女性60代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「十分に目を通す」という『精読率』は21.3%で、これに「必要などころだけ読む」60.3%を合わせた『閲読率』は81.6%となっている。
- ・めぐる区報の閲覧状況の推移をみると、『閲読率』は毎年8割以上を占めている。

図4-3-1 めぐる区報の閲覧状況(全体)

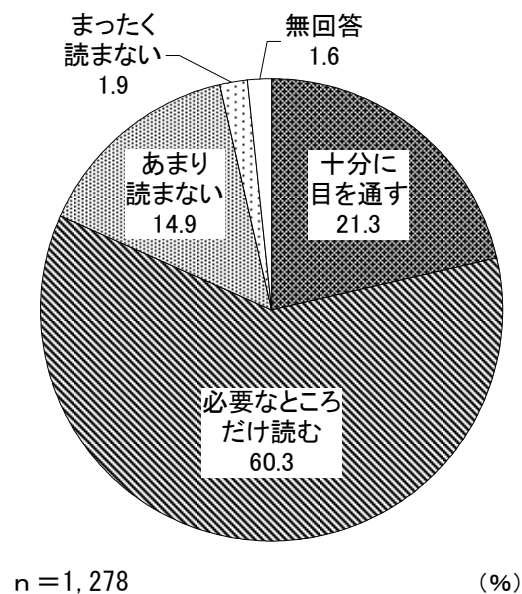
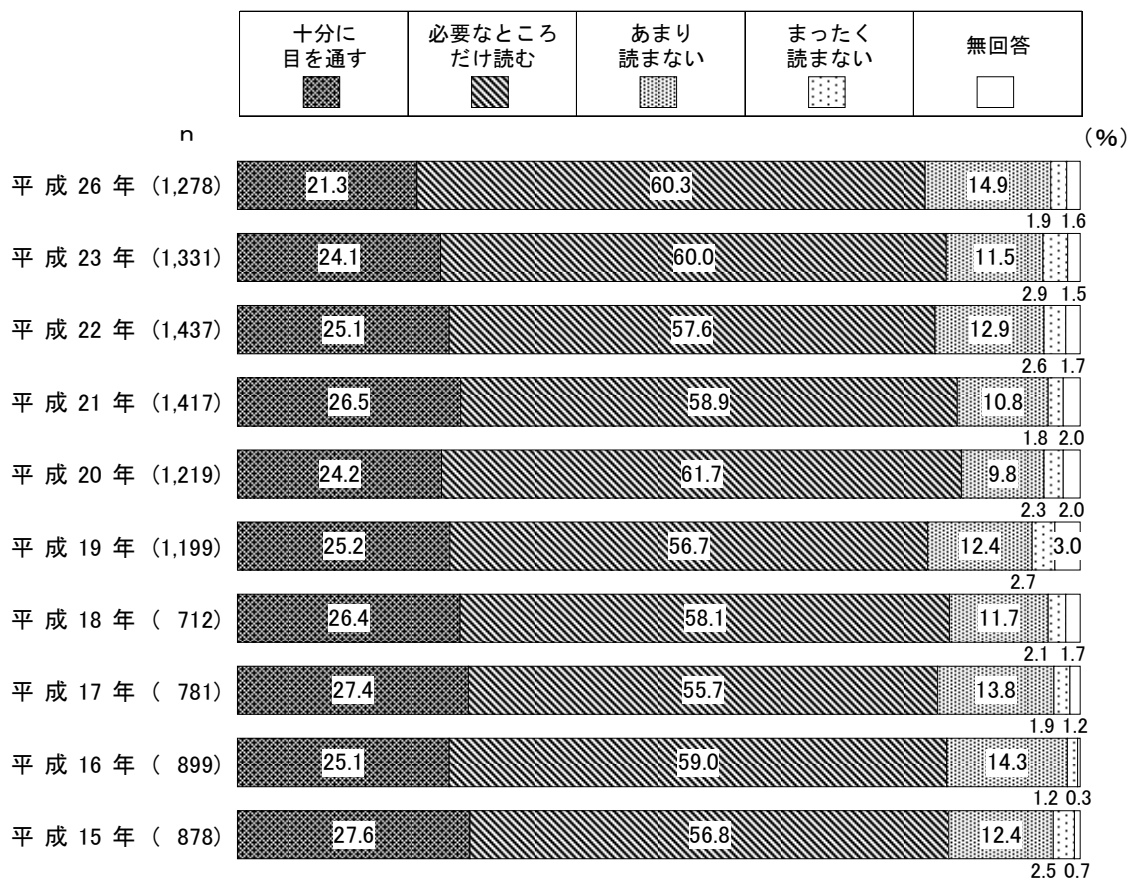


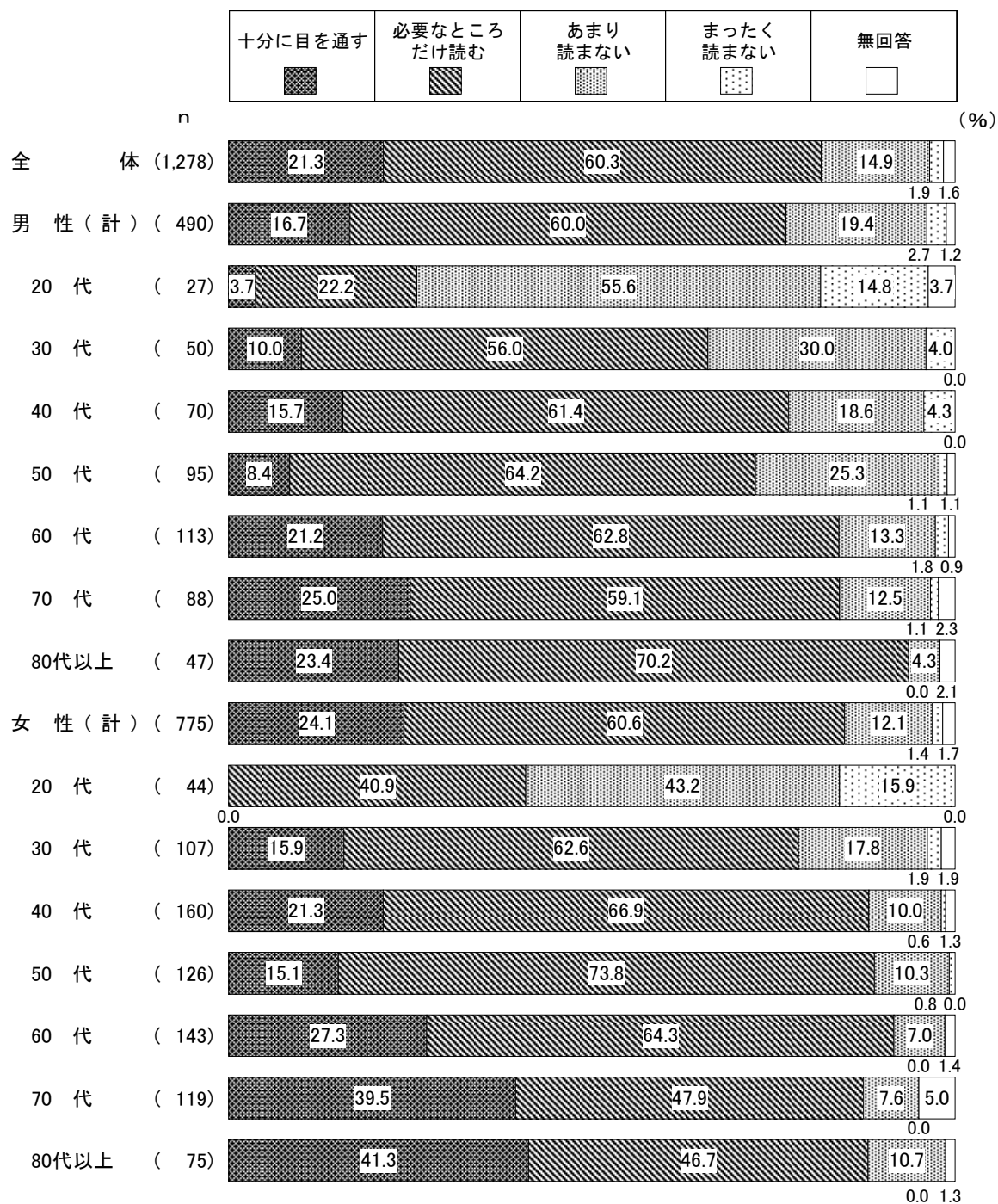
図 4-3-2 めぐろ区報の閲覧状況の推移（全体）



(2) 性・年代別

- ・『閲読率』は女性（84.7%）が男性（76.7%）より8.0ポイント高くなっている。
- ・『閲読率』は男性80代以上（93.6%）と女性60代（91.6%）で高くなっている。
- ・『精読率』は女性の70代（39.5%）と80代以上（41.3%）で高くなっている。

図4-3-3 めぐる区報の閲覧状況（性・年代別）



4-4 めぐる区報を手にしていない理由

(問10で、めぐる区報を「手にしていない」と回答した方にお尋ねします)

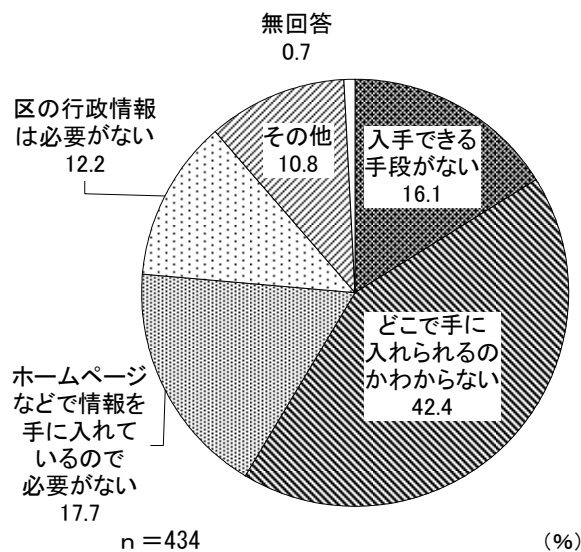
問10-2 あなたが、「めぐる区報」を手にしていない理由は何ですか。(〇は1つ)

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」が4割を超え、「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」が2割近くとなっている。
- ・「どこで手に入れられるのかわからない」は20代と30代で高く、「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」は50代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」が42.4%、「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」が17.7%、「入手できる手段がない」が16.1%、「区の行政情報は必要がない」が12.2%となっている。

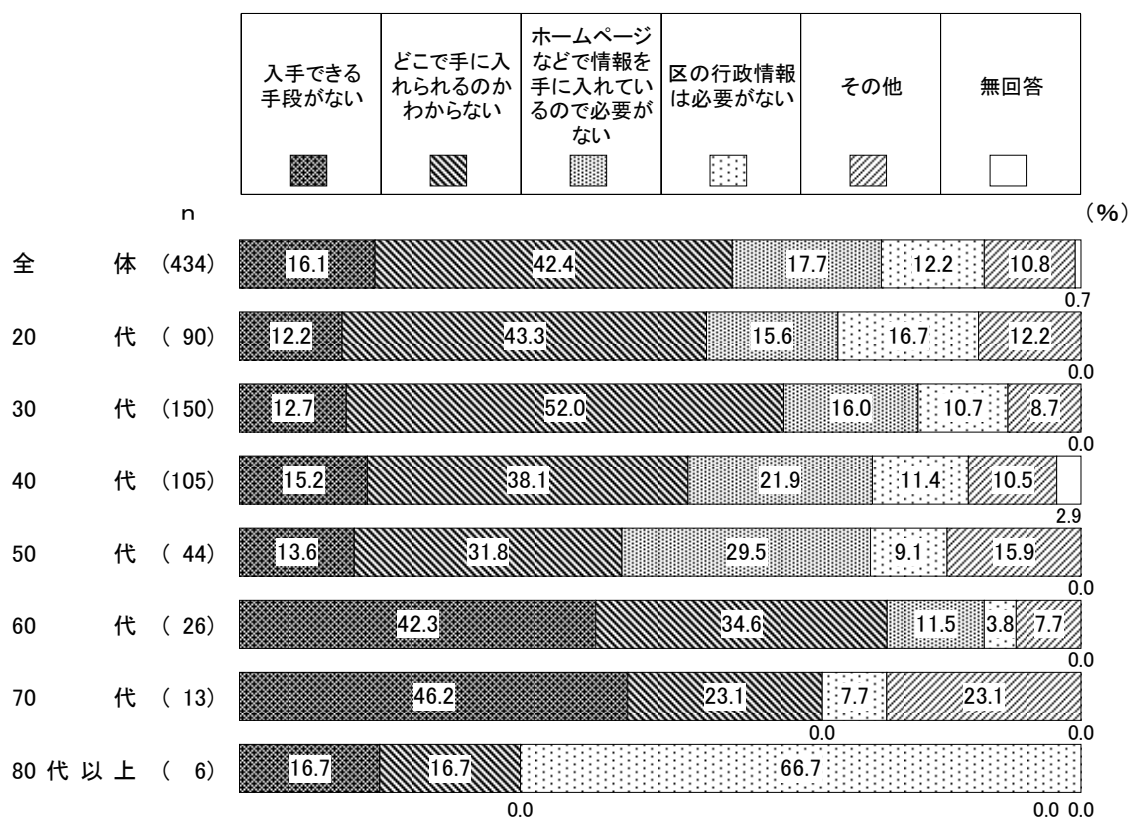
図4-4-1 めぐる区報を手にしていない理由(全体)



(2) 年代別

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」は20代(43.3%)と30代(52.0%)で高くなっている。
- ・「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」は50代(29.5%)で高くなっている。

図4-4-2 めぐろ区報を手にしていない理由(年代別)



4-5 インターネットの利用状況

問11 あなたは、インターネット（電子メールも含みます）を利用していますか。（○は1つ）

- ・「インターネットをすでに利用している」は7割を超え、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」を合わせると8割を超えている。
- ・「インターネットをすでに利用している」は男性が女性より高く、男性、女性ともにおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「利用していないが、機会があれば利用したい」は男性、女性ともに60代で高くなっている。
- ・「利用するつもりはない」は男性、女性ともに70代と80代以上で高くなっている。

(1) 全体

- ・「インターネットをすでに利用している」は71.2%で、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」10.0%を合わせると81.2%となっている。
- ・インターネットの利用状況の推移をみると、「インターネットをすでに利用している」は平成19年以降6割以上を占めており、今回調査では7割を超えている。

図4-5-1 インターネットの利用状況（全体）

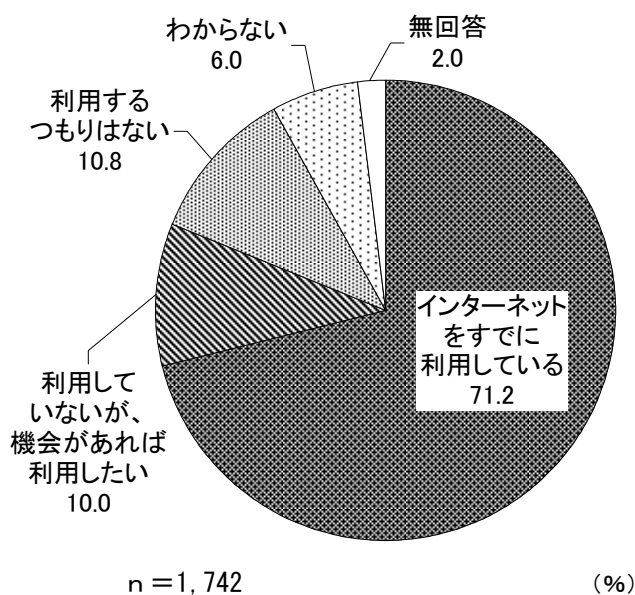
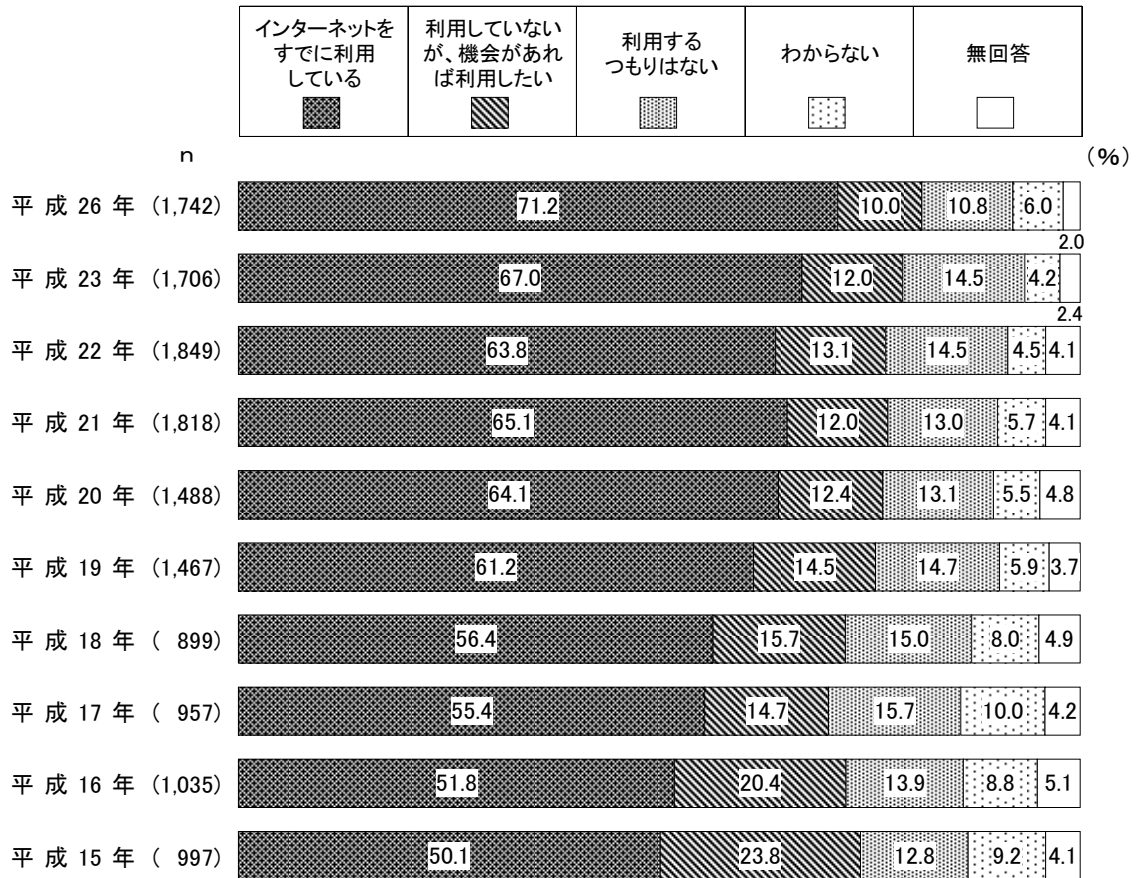


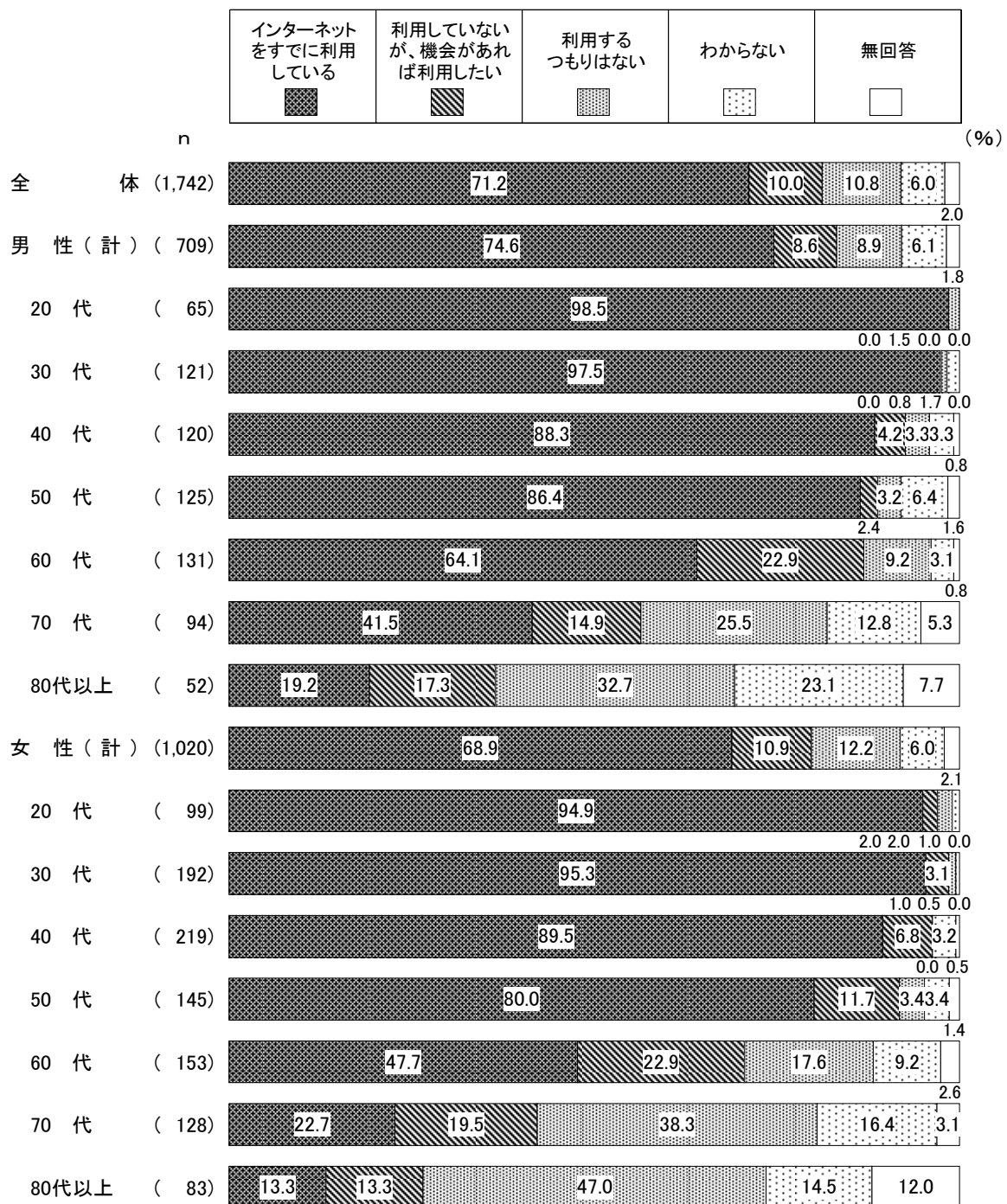
図4-5-2 インターネットの利用状況の推移（全体）



(2) 性・年代別

- ・「インターネットをすでに利用している」は男性（74.6%）が女性（68.9%）より 5.7ポイント高くなっている。
- ・「インターネットをすでに利用している」は男性、女性ともにおおむね低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20代（男性98.5%、女性94.9%）と30代（男性97.5%、女性95.3%）で高くなっている。
- ・「利用していないが、機会があれば利用したい」は男性、女性ともに60代（男性、女性ともに22.9%）で高くなっている。
- ・「利用するつもりはない」は男性、女性ともに70代（男性25.5%、女性38.3%）と80代以上（男性32.7%、女性47.0%）で高くなっている。

図4-5-3 インターネットの利用状況（性・年代別）



4-6 インターネットの利用場所

(問11で、「インターネットをすでに利用している」と回答した方にお尋ねします)

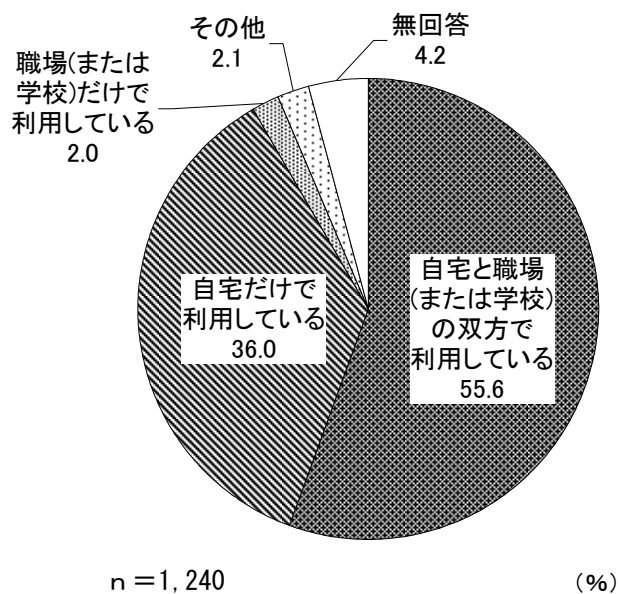
問11-1 主にどこでインターネットを利用していますか。(〇は1つ)

- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」が5割半ば、「自宅だけで利用している」が3割半ば、「職場(または学校)だけで利用している」が1割未満となっている。
- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」は男性が女性より高く、男性30代で高くなっている。また、学生と常勤の勤め人で高くなっている。
- ・「自宅だけで利用している」は女性70代、男性の70代と80代以上で高くなっている。また、無職と主に家事に従事で高くなっている。

(1) 全体

- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」が55.6%、「自宅だけで利用している」が36.0%、「職場(または学校)だけで利用している」が2.0%となっている。

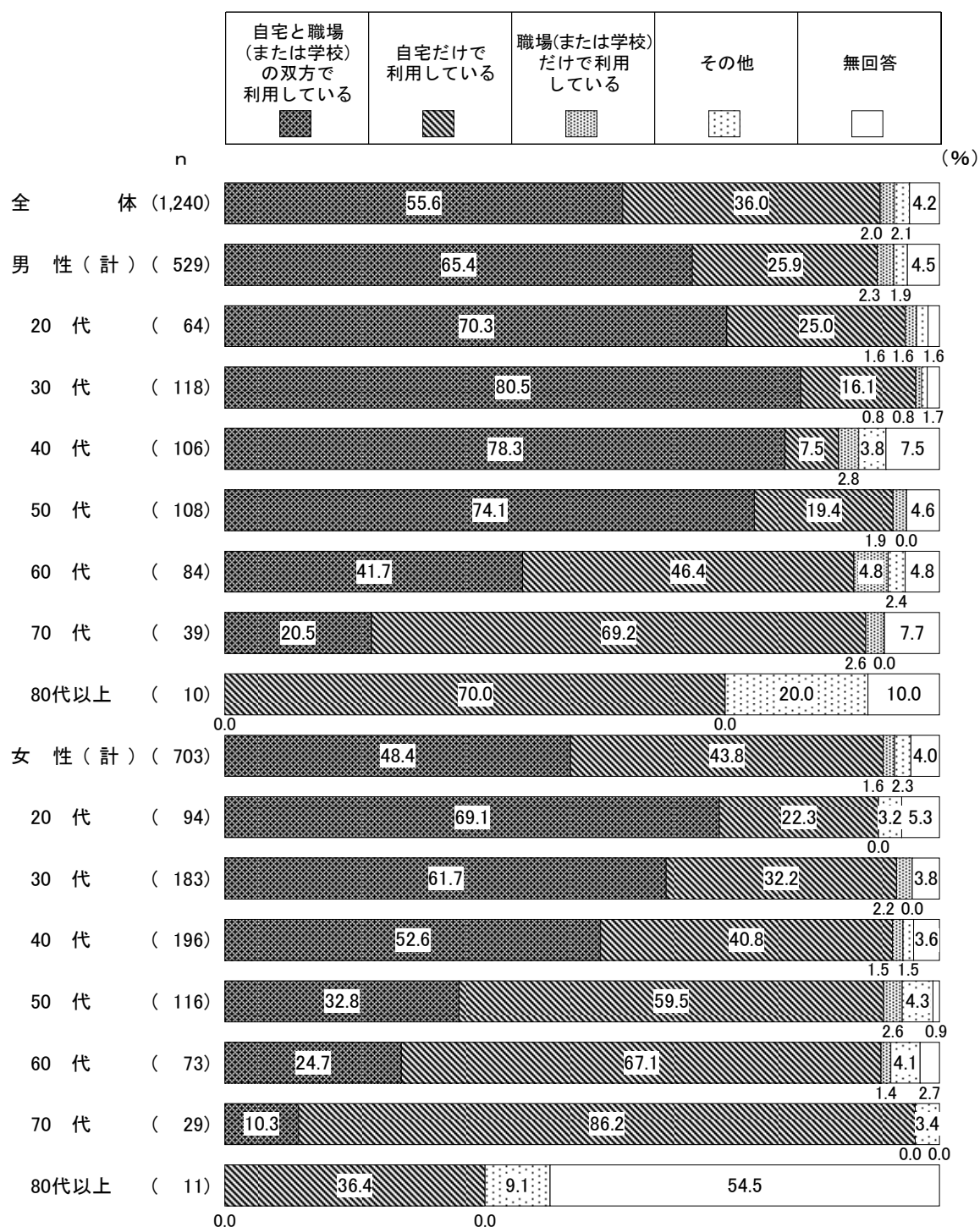
図4-6-1 インターネットの利用場所(全体)



(2) 性・年代別

- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は男性（65.4%）が女性（48.4%）より17.0ポイント高くなっている。
- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は男性30代（80.5%）で高く、女性では低い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「自宅だけで利用している」は女性70代（86.2%）、男性の70代（69.2%）と80代以上（70.0%）で高くなっている。

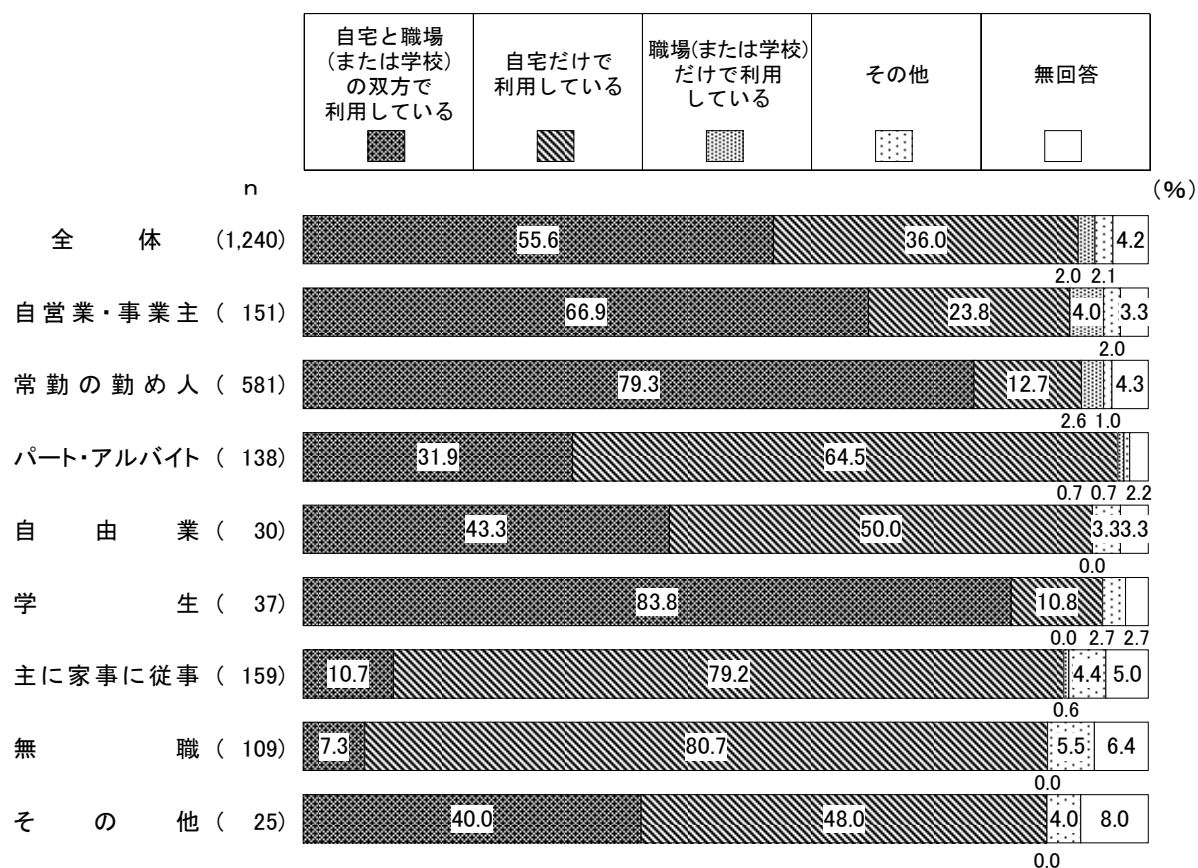
図4-6-2 インターネットの利用場所（性・年代別）



(3) 職業別

- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は学生（83.8%）と常勤の勤め人（79.3%）で高くなっている。
- ・「自宅だけで利用している」は無職（80.7%）と主に家事に従事（79.2%）で高くなっている。

図4-6-3 インターネットの利用場所（職業別）



4-7 目黒区公式ホームページの閲覧状況

(問11で、「インターネットをすでに利用している」と回答した方にお尋ねします)

問11-2 あなたは、目黒区公式ホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

- ・「見たことがある」が7割近くを占めている。
- ・「見たことがある」は男性の30代と50代、女性の30代と40代で高くなっている。また、常勤の勤め人で高くなっている。
- ・「見たことがない」は男性の20代と80代以上、女性の70代と80代以上で高くなっている。また、学生で高くなっている。

(1) 全体

- ・「見たことがある」が68.1%、「見たことがない」が25.9%となっている。
- ・目黒区公式ホームページの閲覧状況の推移をみると、「見たことがある」は平成15年以降増加傾向にあったが、今回調査では減少に転じている。

図4-7-1 目黒区公式ホームページの閲覧状況(全体)

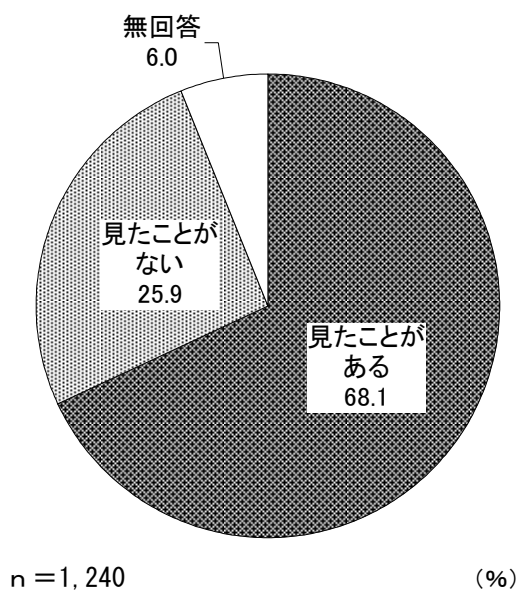
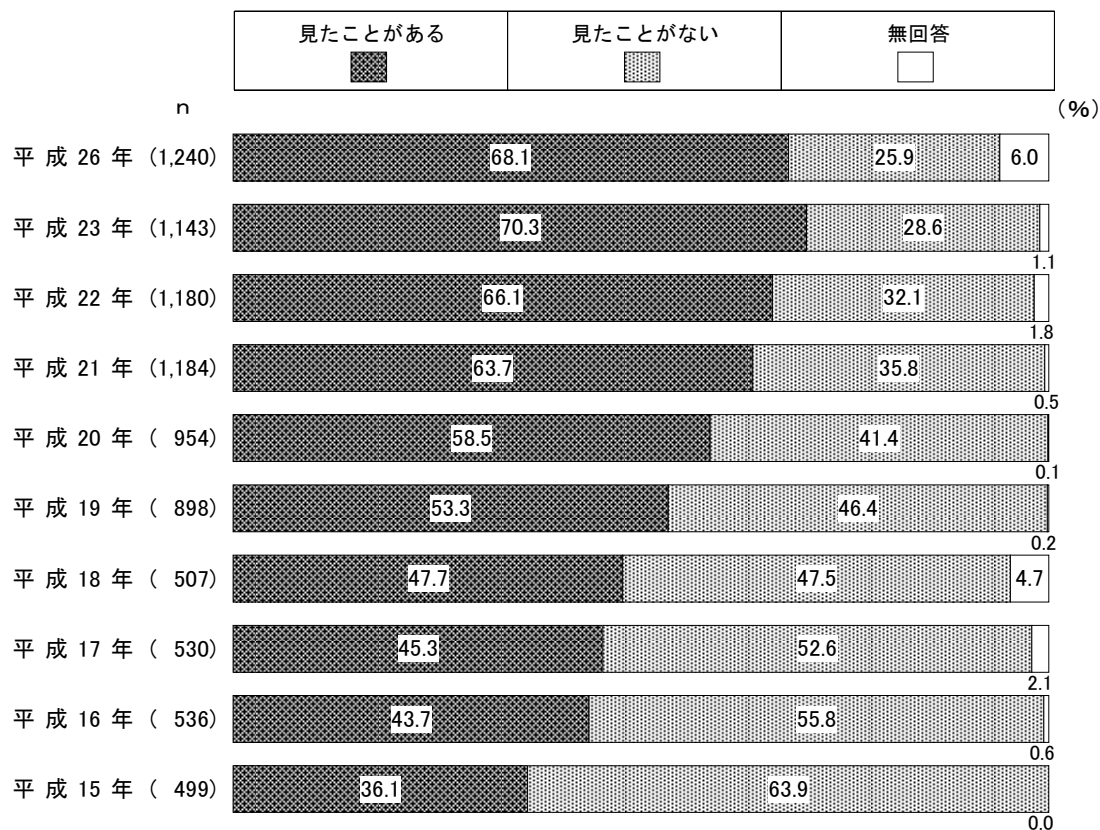


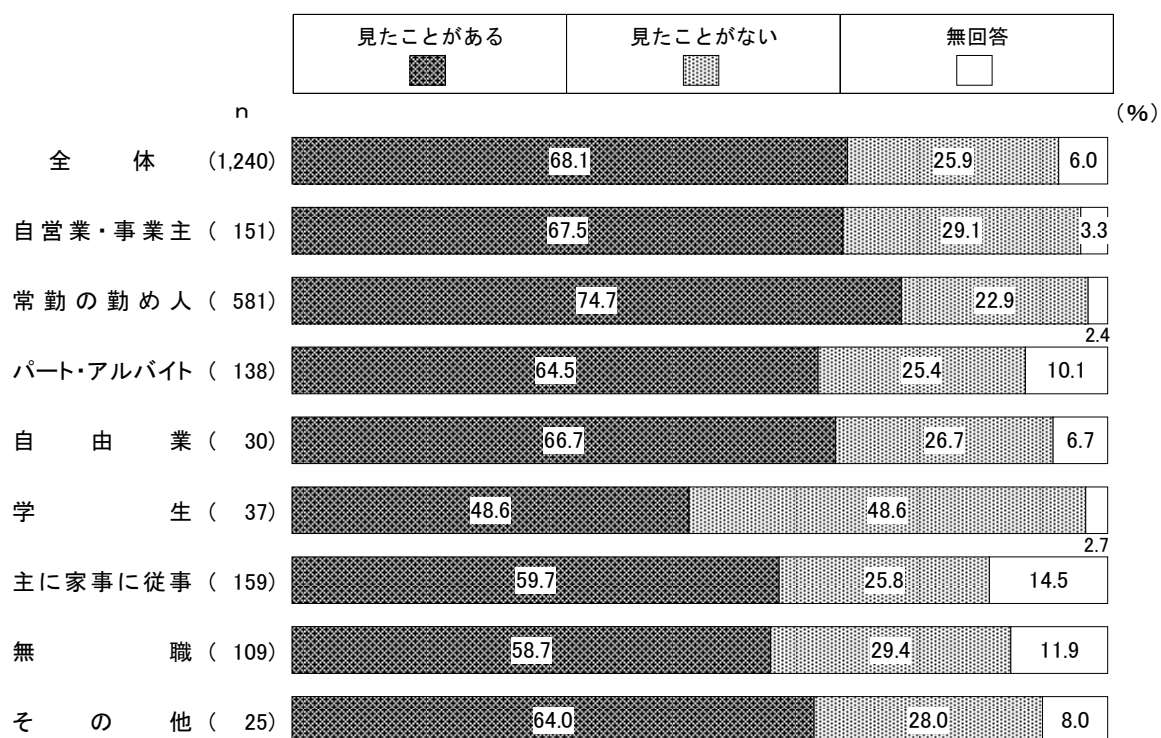
図 4-7-2 目黒区公式ホームページの閲覧状況の推移（全体）



(2) 職業別

- ・「見たことがある」は常勤の勤め人（74.7%）で高くなっている。
- ・「見たことがない」は学生（48.6%）で高くなっている。

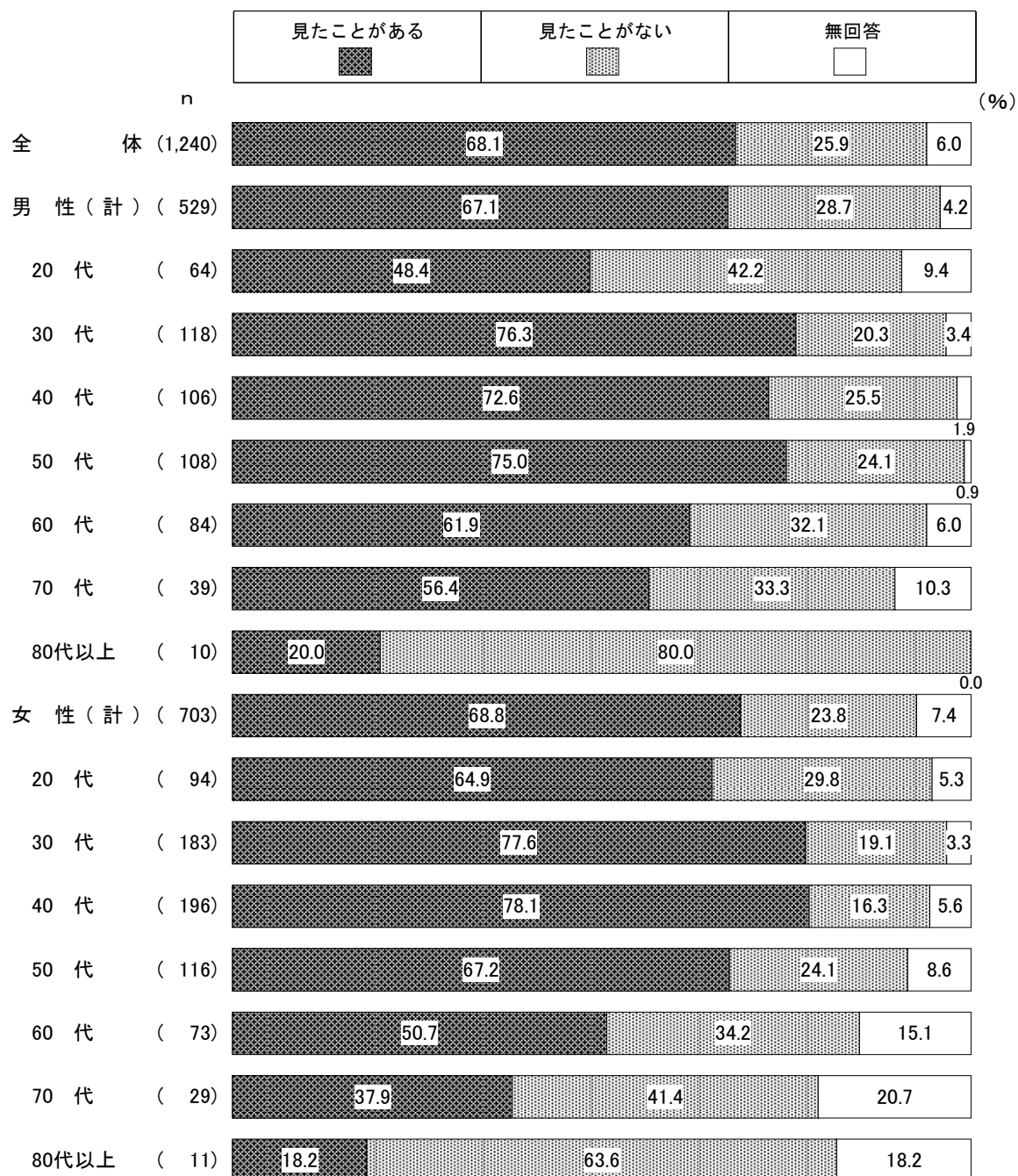
図 4-7-3 目黒区公式ホームページの閲覧状況（職業別）



(3) 性・年代別

- ・「見たことがある」は男性の30代(76.3%)と50代(75.0%)、女性の30代(77.6%)と40代(78.1%)で高くなっている。
- ・「見たことがない」は男性の20代(42.2%)と80代以上(80.0%)、女性の70代(41.4%)と80代以上(63.6%)で高くなっている。

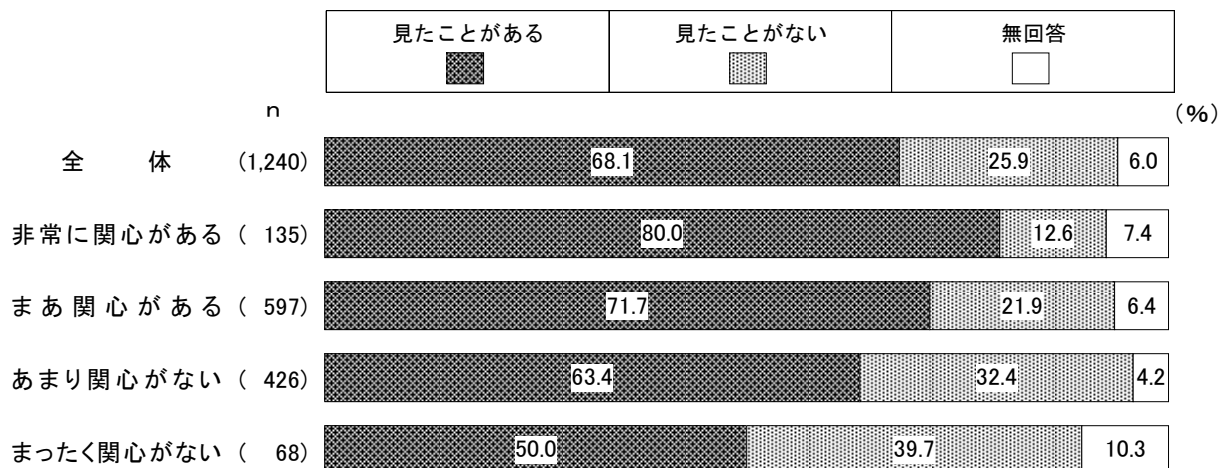
図4-7-4 目黒区公式ホームページの閲覧状況(性・年代別)



(4) 区政への関心度別

- ・「見たことがある」は区政への関心度が高いほど割合が高い傾向にあり、区政に非常に興味がある人（80.0%）、まあ関心がある人（71.7%）で高くなっている。

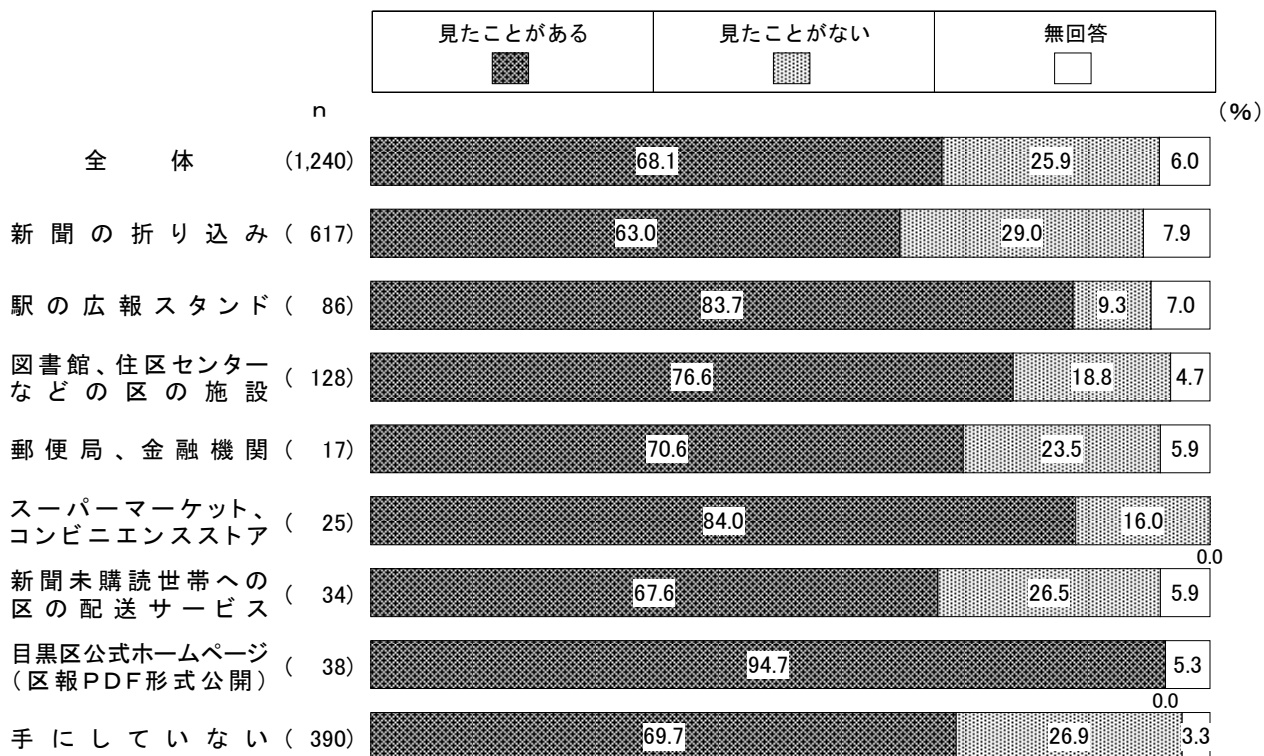
図 4-7-5 目黒区公式ホームページの閲覧状況（区政への関心度別）



(5) めぐろ区報の入手先別

- ・「見たことがある」は目黒区公式ホームページ（94.7%）、スーパーマーケット、コンビニエンスストア（84.0%）、駅の広報スタンド（83.7%）で高くなっている。

図 4-7-6 目黒区公式ホームページの閲覧状況（めぐろ区報の入手先別）



4-8 目黒区公式ホームページの満足度

(問11-2で、目黒区公式ホームページを「見たことがある」と回答した方にお尋ねします)

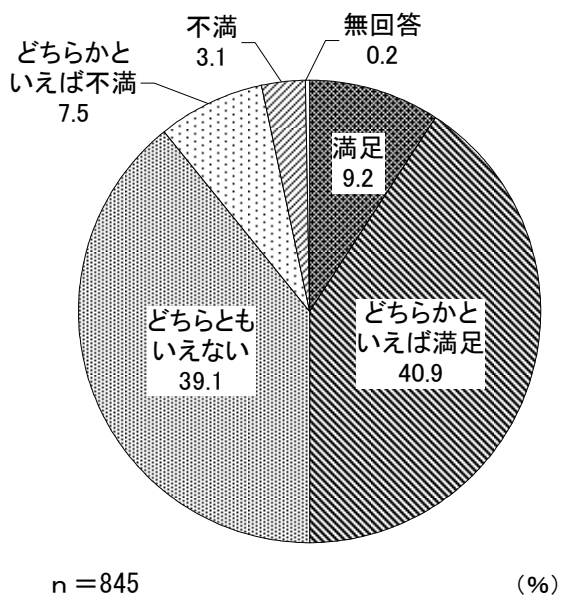
問11-3 目黒区公式ホームページに満足していますか。(○は1つ)

- ・「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は5割となっている。
- ・『満足』は女性が男性より高く、女性20代で高くなっている。
- ・「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』は男性では低い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、特に男性20代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「満足」9.2%と「どちらかといえば満足」40.9%を合わせた『満足』は50.1%となっている。一方、「どちらかといえば不満」7.5%と「不満」3.1%を合わせた『不満』は10.6%となっている。

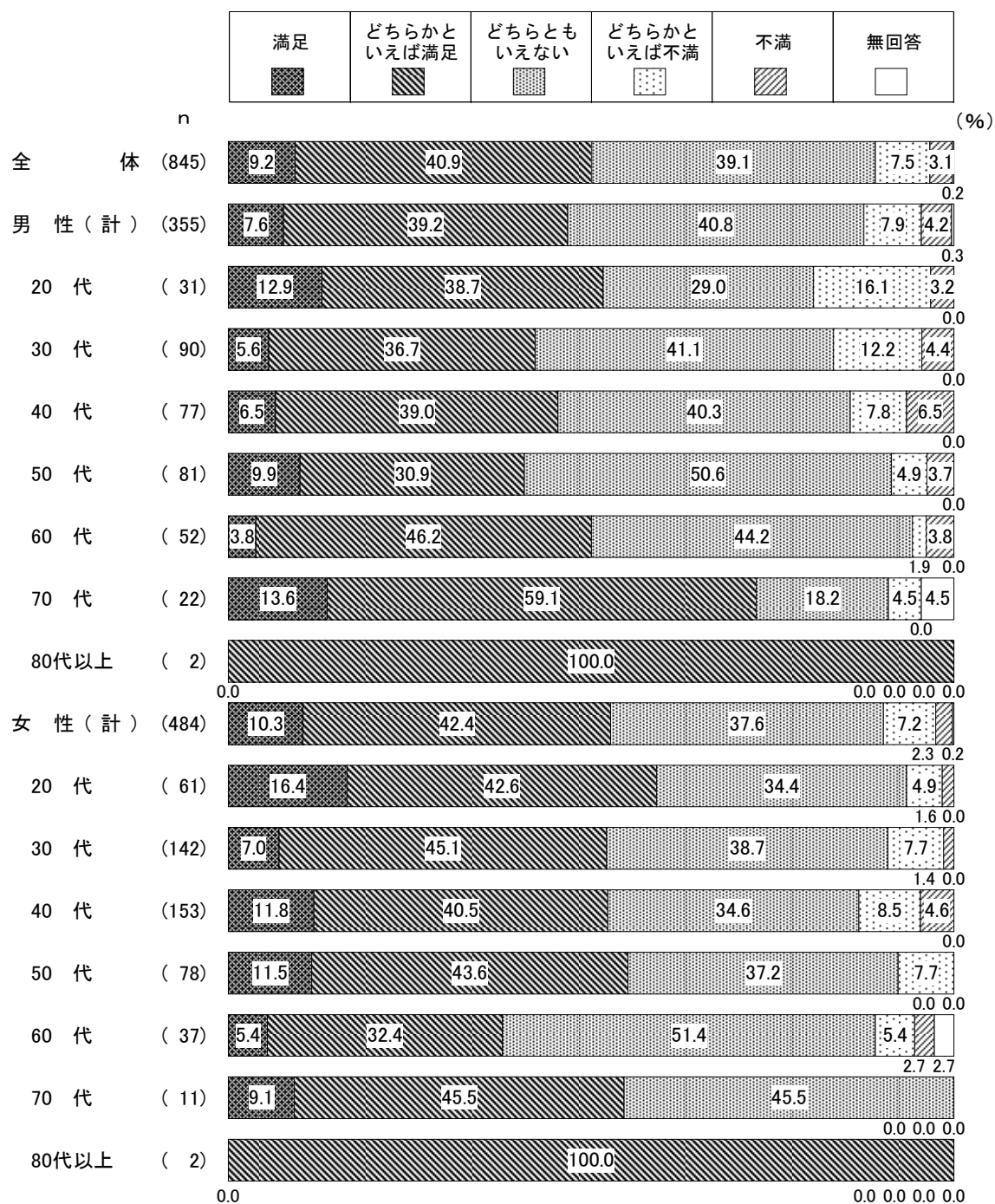
図4-8-1 目黒区公式ホームページの満足度(全体)



(2) 性・年代別

- ・『満足』は女性（52.7%）が男性（46.8%）より 5.9 ポイント高くなっている。
- ・『満足』は女性 20 代（59.0%）で高くなっている。
- ・『不満』は男性では低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。

図 4-8-2 目黒区公式ホームページの満足度（性・年代別）



4-9 目黒区公式ホームページで満足できない理由

(問11-3で、目黒区公式ホームページの満足度が「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

問11-4 目黒区公式ホームページに満足できないのはどのような理由からですか。

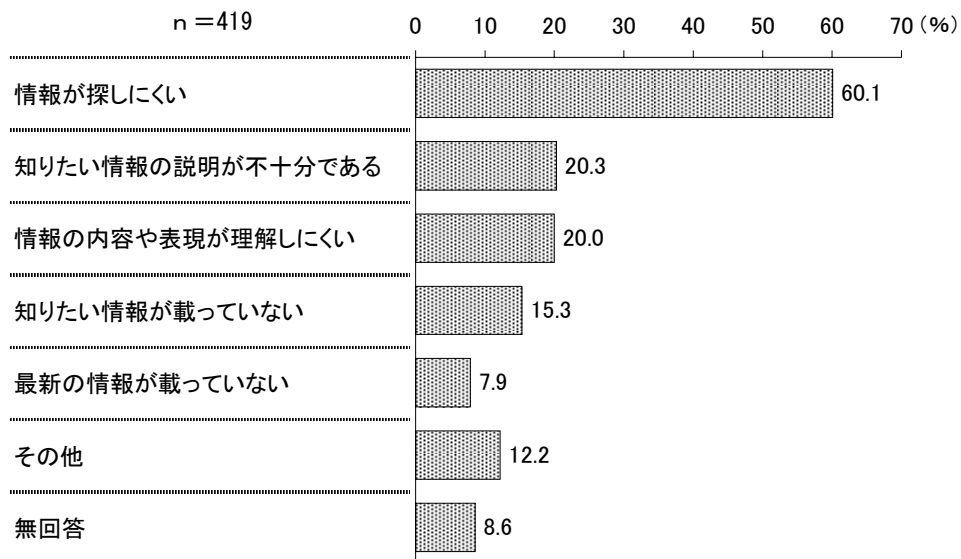
(○はいくつでも)

- ・「情報が探しにくい」が6割で最も高く、次いで「知りたい情報の説明が不十分である」と「情報の内容や表現が理解しにくい」が2割となっている。
- ・「情報が探しにくい」は女性が男性より高く、男性40代で高くなっている。
- ・「知りたい情報の説明が不十分である」は男性20代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「情報が探しにくい」が60.1%で最も高く、次いで「知りたい情報の説明が不十分である」20.3%、「情報の内容や表現が理解しにくい」20.0%、「知りたい情報が載っていない」15.3%の順となっている。

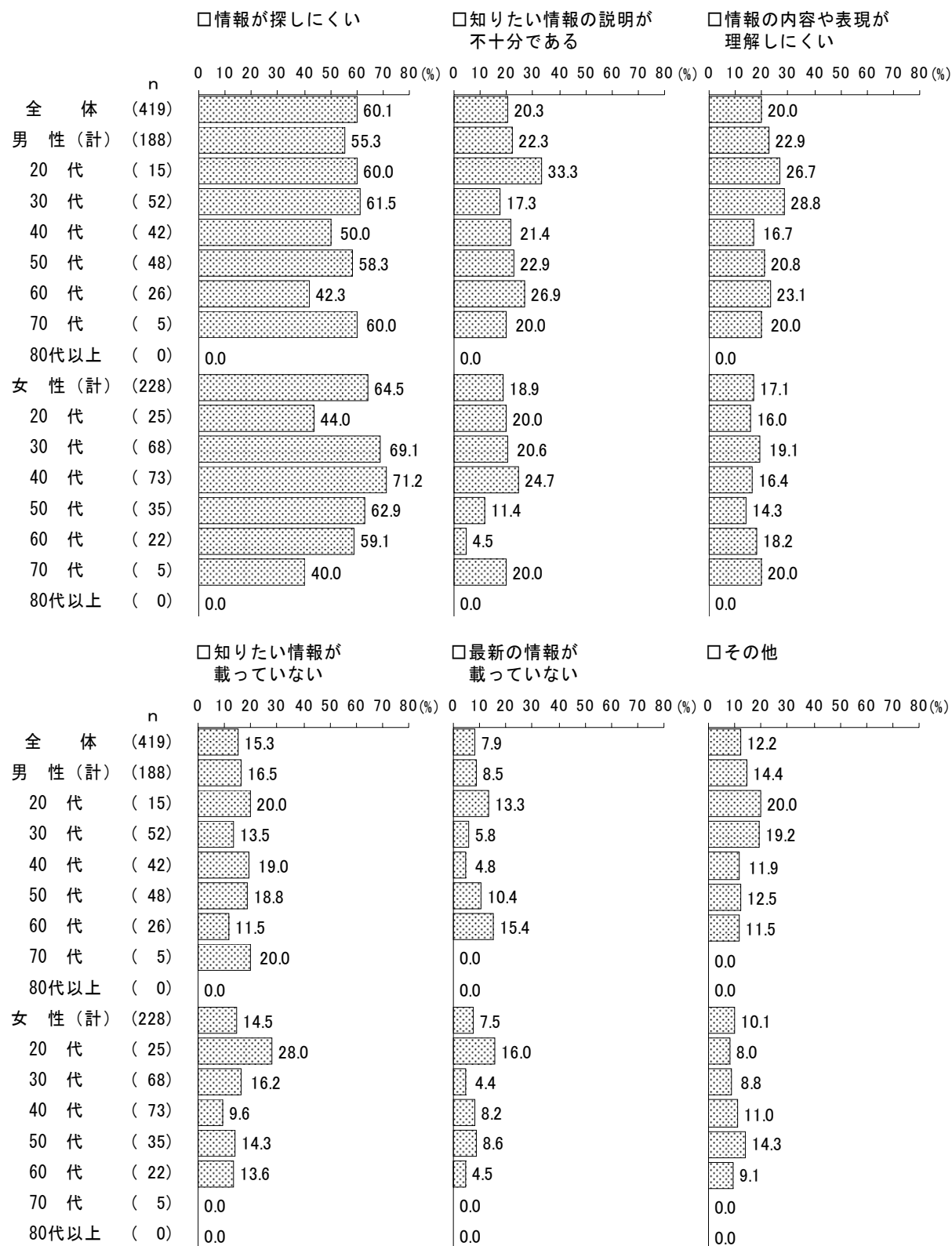
図4-9-1 目黒区公式ホームページで満足できない理由(全体)



(2) 性・年代別

- ・「情報が探しにくい」は女性 (64.5%) が男性 (55.3%) より 9.2 ポイント高くなっている。一方、「情報の内容や表現が理解しにくい」は男性 (22.9%) が女性 (17.1%) より 5.8 ポイント高くなっている。
- ・「情報が探しにくい」は男性 40 代 (71.2%) で高くなっている。

図 4-9-2 目黒区公式ホームページで満足できない理由 (性・年代別)



4-10 目黒区公式ホームページで改善した方がよいところ

(問11-2で、目黒区公式ホームページを「見たことがある」と回答した方にお尋ねします)

問11-5 目黒区公式ホームページの使い勝手をよくするために必要だと思うことがありましたらご記入ください。

・記述式の回答に188名から205件の意見が寄せられた。

●もっとわかりやすくしてほしい(デザイン・ことばづかいなど)【75件】

- ・色が少なく地味で見づらい印象があります。
- ・文字の羅列が多く見にくい。他区のホームページのように画像を増やして広告は下の方に掲載する方がよいと思う。
- ・文章の量が多いので読みづらいです。写真などが古い気がします。

●目的のものを検索しにくい【38件】

- ・ホームページ内の検索が目的の情報にヒットしないので、検索ワードの見直し。
- ・全文検索だけでなくカテゴリでも検索できると良い。ホームページのトップでしかカテゴリ検索できないので検索結果でもカテゴリ一覧が表示されていると良い。
- ・以前区民センターホールについて調べたが、どこが管理しているかがわかりづらく、時間がかかったので、「施設」検索をわかりやすくしてほしい。

●利用者の立場にたった改善をしてほしい【18件】

- ・インターネットに不慣れな人でも利用できるよう、情報の探しやすさを整理して載せることが大切。利用者サイドに立ったホームページづくりを。
- ・区が伝えたい事を発信するよりも、利用者が何でホームページを訪問するかということを考えて、優先して頂けたらありがたいと思いました。
- ・情報を探す人がどのようにして必要な情報を探そうとするかを意識されると、より探しやすくなるかと思えます。

●今のままでよい【14件】

- ・特に不便だと思ったことはありません。
- ・使い勝手が悪く困った事はないです。シンプルで必要な情報を探しやすいと思います。

●詳細な情報を掲載してほしい【10件】

- ・もう少し具体的に情報を載せて欲しい。
- ・保育園事情・子育て支援について、直接窓口に行かずともわかるようにしてほしい。
- ・すぐに外部のページに飛ぶのが嫌だ。すべてホームページで完結すると良いと思う。

●最新の情報を掲載してほしい【7件】

- ・更新の頻度を上げてほしい。(古い情報がそのままである)
- ・施設などの写真を、最新のものに変える。

●Q&Aを充実させてほしい【2件】

- ・Q&Aの充実。
- ・よくある質問などの欄を作ると気軽に見やすいかと思えます。

●その他【41件】

- ・他の自治団体のホームページを参考にするのではなく、民間の一般企業がどのようなホームページを作っているかもっと調べるべき。
- ・更新情報を定期的にメールで配信してほしい。
- ・目黒区公認のゆるキャラをつくって、ホームページやあちこちの広報活動をしたら良いと思います。

5. 暮らし向き

5-1 暮らし向きの変化

問12 あなたの暮らし向きは、昨年の今ごろと比べてどうですか。（○は1つ）

- ・「変わらない」が6割を超え、「非常に苦しくなった」と「苦しくなった」を合わせた『苦しくなった』は3割を超えている。
- ・『苦しくなった』は男性の60代と70代、女性70代で高くなっている。また、無職、パート・アルバイト、自営業・事業主、就学前の乳幼児がいる人、同居・間借り・住み込みなど、都営・区営住宅などの公営住宅で高くなっている。

(1) 全体

- ・「変わらない」が61.5%となっている。
- ・「非常に苦しくなった」4.7%と「苦しくなった」27.6%を合わせた『苦しくなった』は32.3%となっている。
- ・暮らし向きの変化の推移をみると、「変わらない」は平成21年以降増加傾向、『苦しくなった』は平成21年以降減少傾向がみられる。

図5-1-1 暮らし向きの変化（全体）

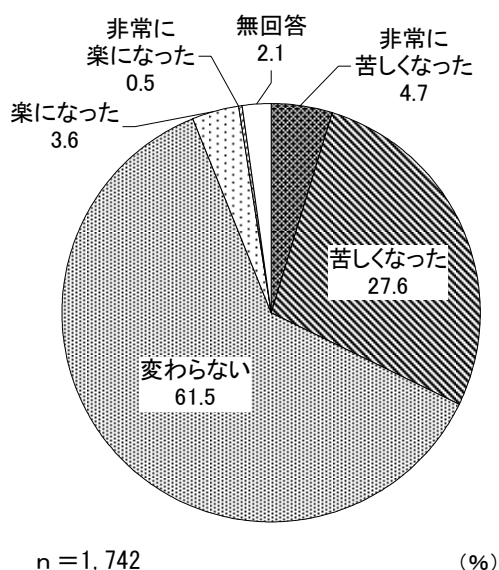
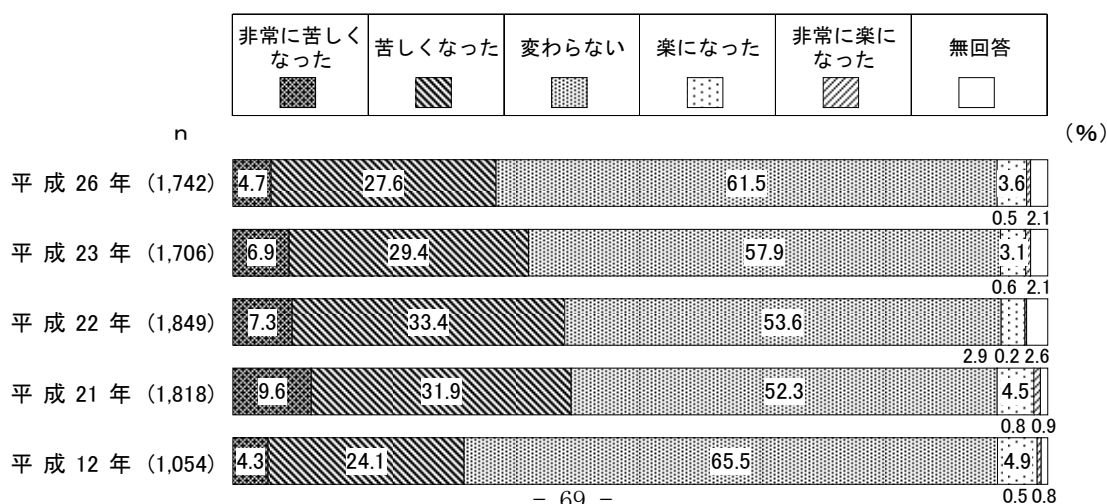


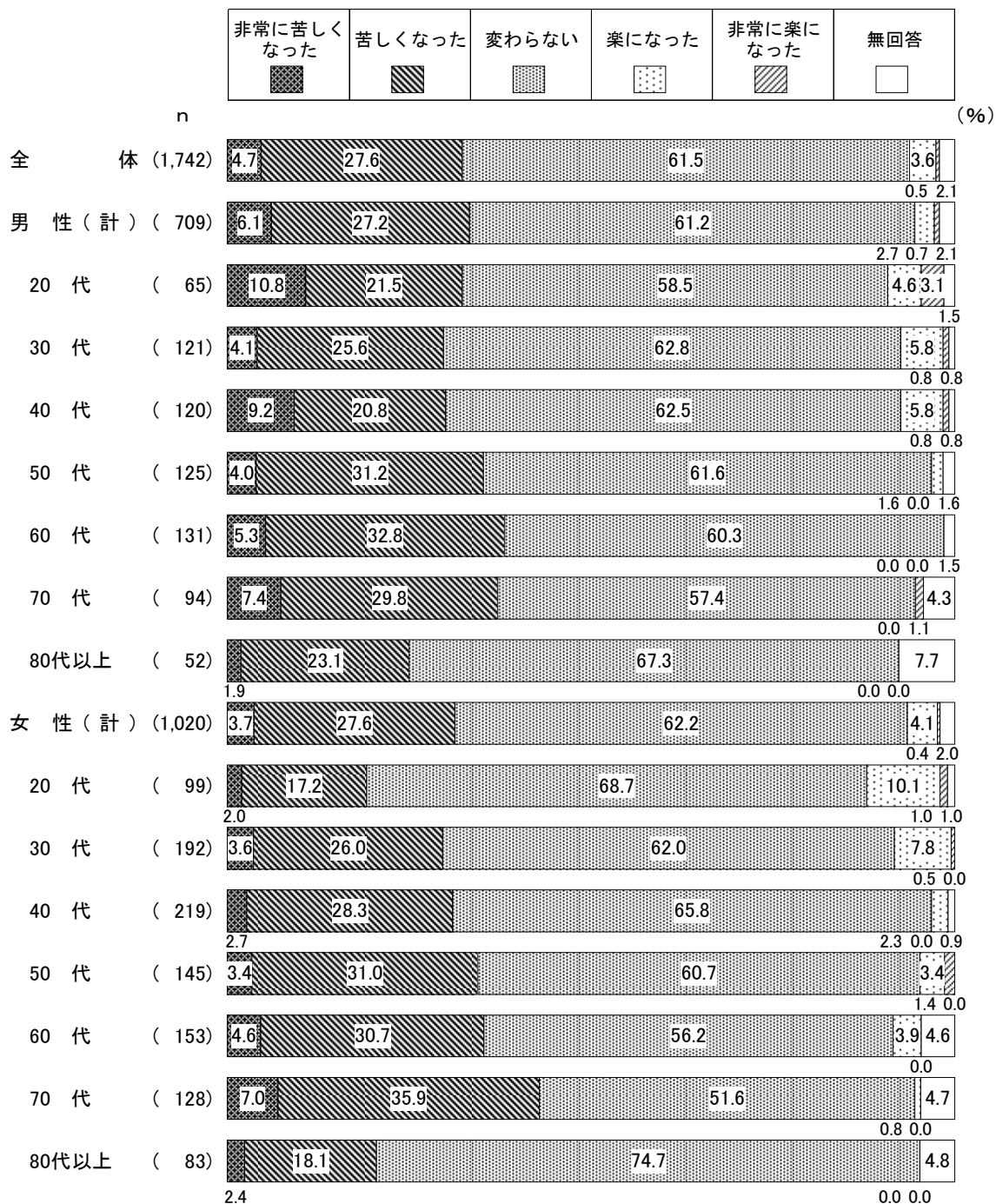
図5-1-2 暮らし向きの変化の推移（全体）



(2) 性・年代別

- ・『苦しくなった』は男性の60代(38.1%)と70代(37.2%)、女性70代(42.9%)で高くなっている。
- ・『変わらない』は男性80代以上(67.3%)、女性の20代(68.7%)と80代以上(74.7%)で高くなっている。

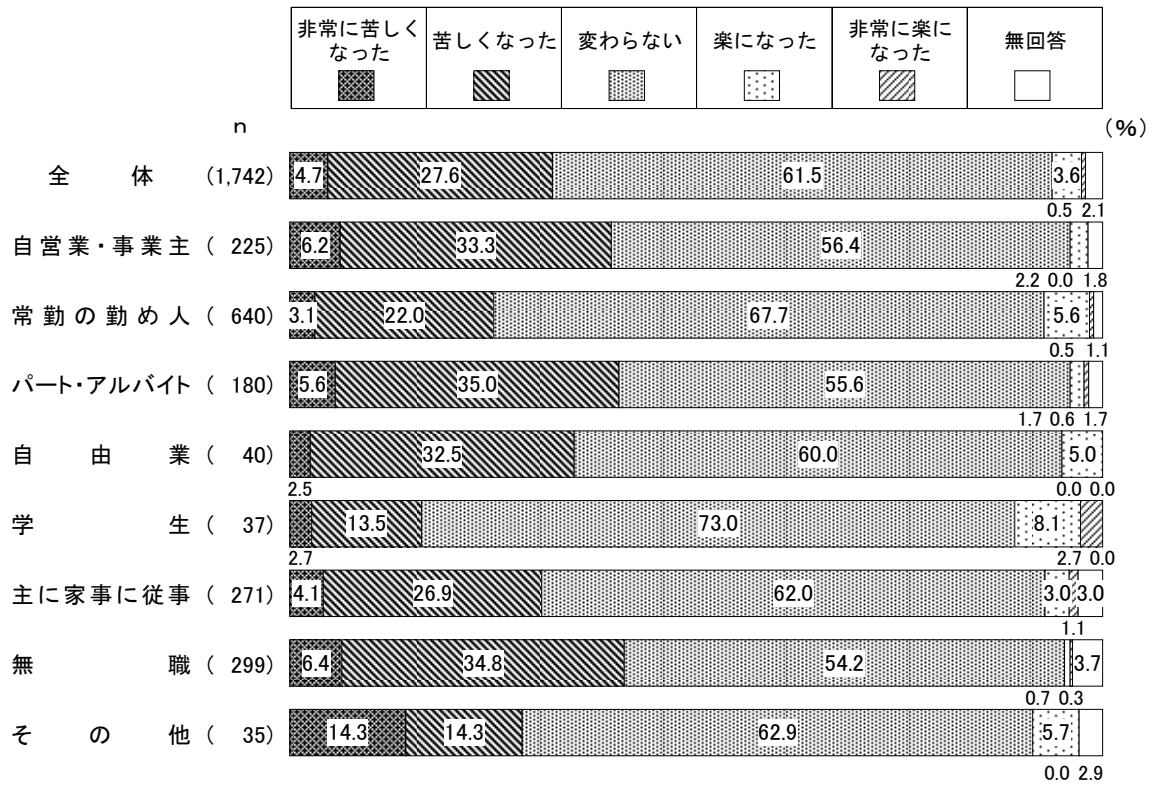
図5-1-3 暮らし向きの変化(性・年代別)



(3) 職業別

- ・『苦しくなった』は無職（41.2%）、パート・アルバイト（40.6%）、自営業・事業主（39.5%）で高くなっている。
- ・「変わらない」は学生（73.0%）と常勤の勤め人（67.7%）で高くなっている。

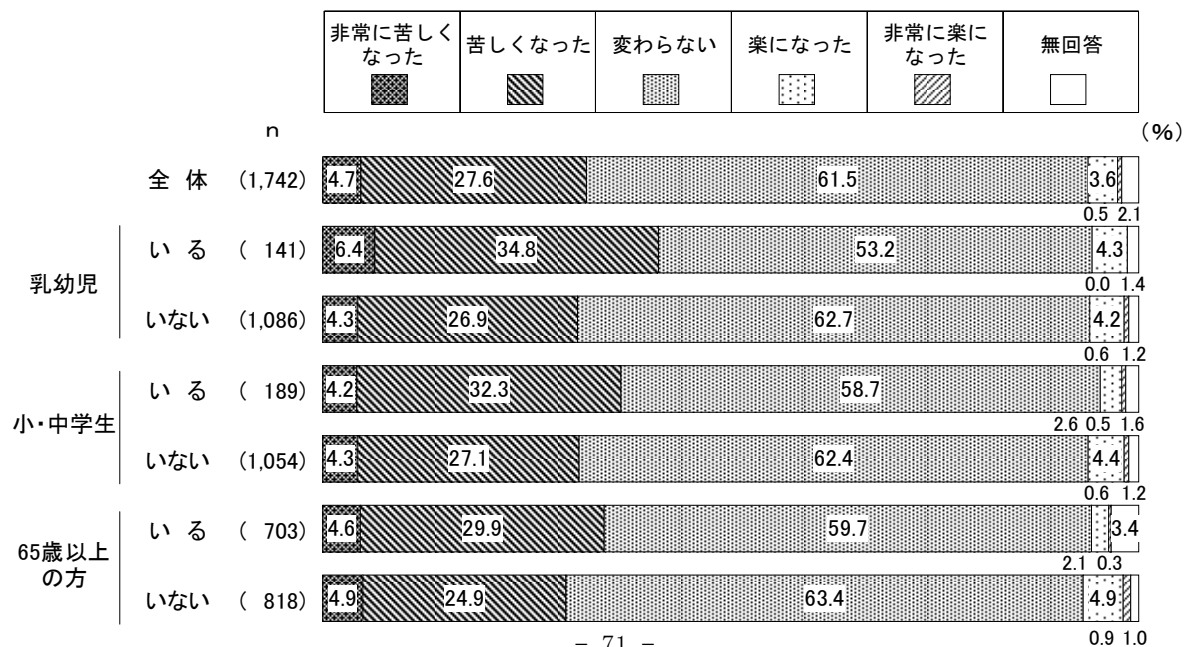
図5-1-4 暮らし向きの変化（職業別）



(4) 家族構成別

- ・『苦しくなった』は就学前の乳幼児がいる人（41.2%）で高く、就学前の乳幼児がいない人（31.2%）より 10.0 ポイント高くなっている。

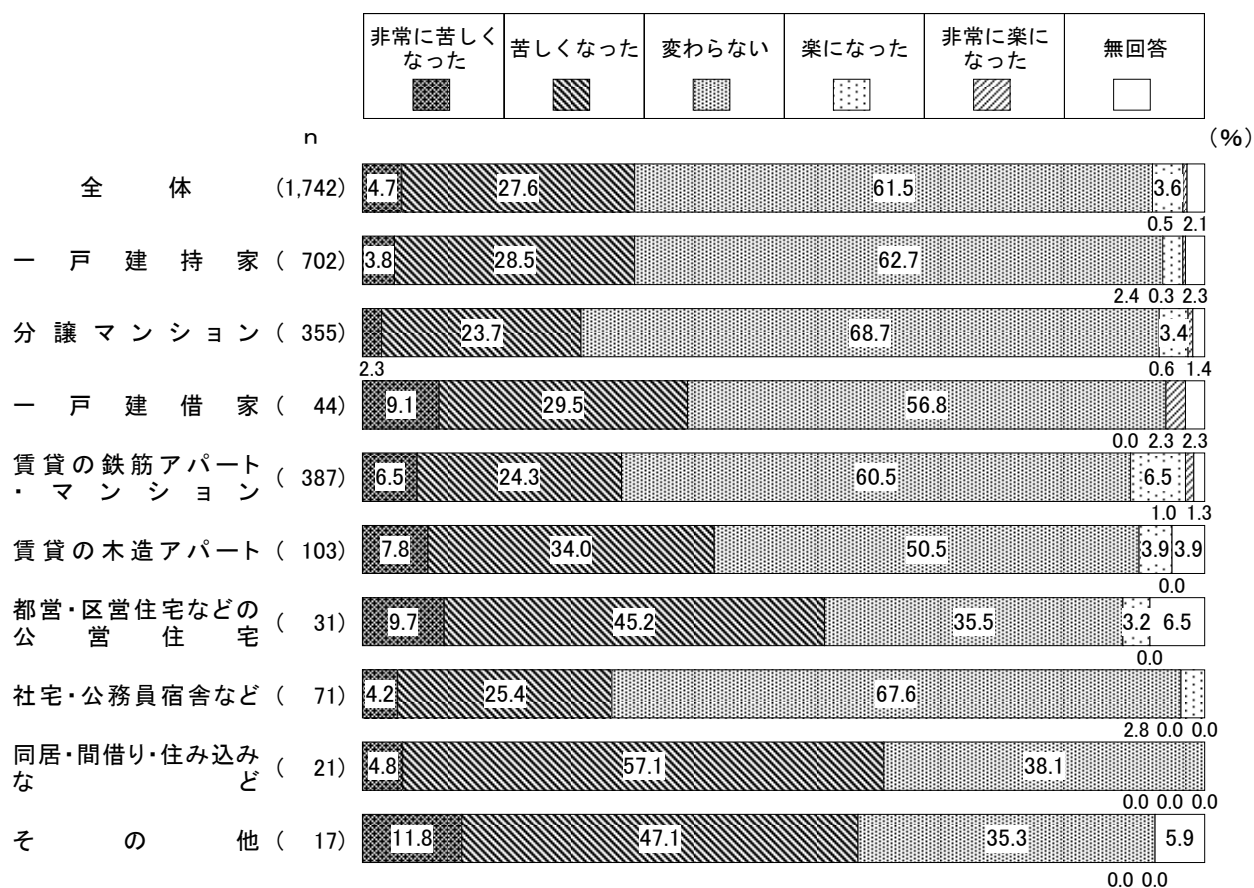
図5-1-5 暮らし向きの変化（家族構成別）



(5) 居住形態別

- ・『苦しくなった』は同居・間借り・住み込みなど (61.9%) と都営・区営住宅などの公営住宅 (54.9%) で高くなっている。
- ・「変わらない」は分譲マンション (68.7%) と社宅・公務員宿舎など (67.6%) で高くなっている。

図5-1-6 暮らし向きの変化 (居住形態別)



5-2 暮らし向きが苦しくなった理由

(問12で、暮らし向きが「非常に苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

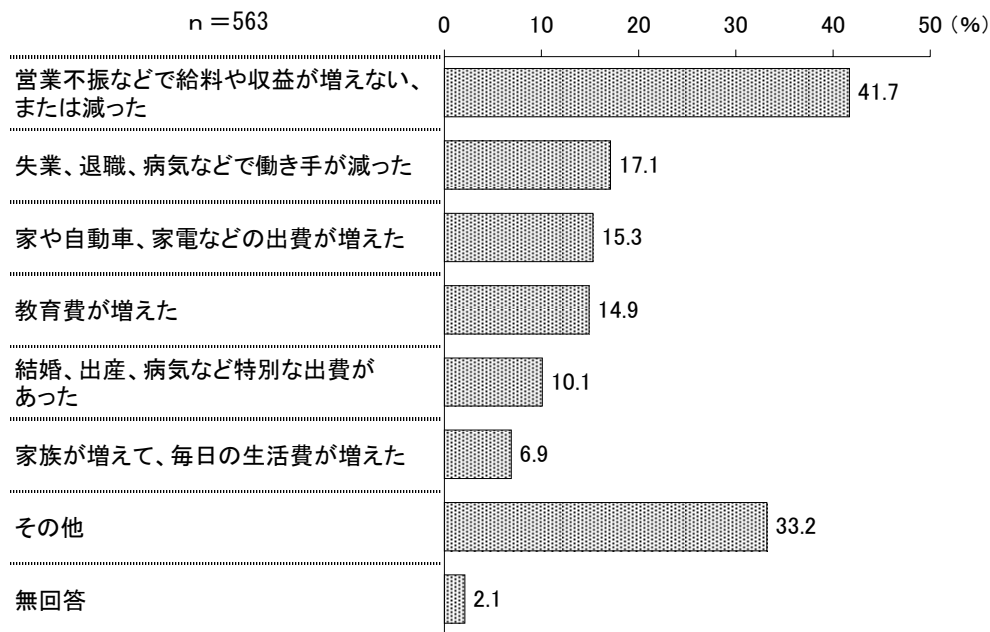
問12-1 暮らし向きが苦しくなったのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」が4割を超えて最も高く、次いで「失業、退職、病気などで働き手が減った」が2割近くとなっている。
- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性が女性より高く、男性の40代と50代、女性50代で高くなっている。また、自営業・事業主と常勤の勤め人で高くなっている。
- ・「教育費が増えた」は男性50代と女性40代で高くなっている。また、小・中学生がいる人と就学前の乳幼児がいる人で高くなっている。

(1) 全体

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」が41.7%で最も高く、次いで「失業、退職、病気などで働き手が減った」17.1%、「家や自動車、家電などの出費が増えた」15.3%、「教育費が増えた」14.9%の順となっている。

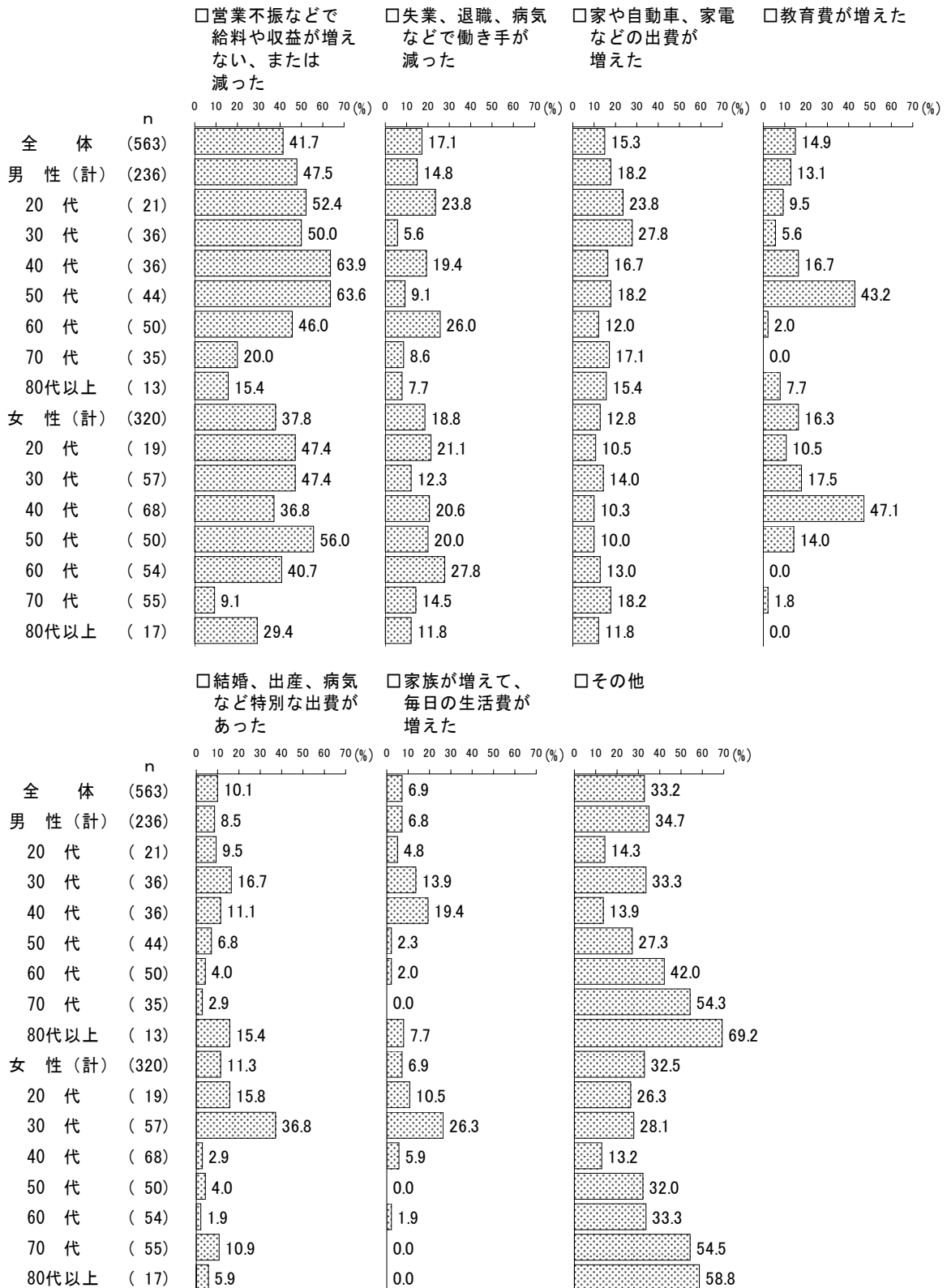
図5-2-1 暮らし向きが苦しくなった理由(全体)



(2) 性・年代別

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性（47.5%）が女性（37.8%）より9.7ポイント高くなっている。
- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性の40代（63.9%）と50代（63.6%）、女性50代（56.0%）で高くなっている。
- ・「教育費が増えた」は男性50代（43.2%）と女性40代（47.1%）で高くなっている。

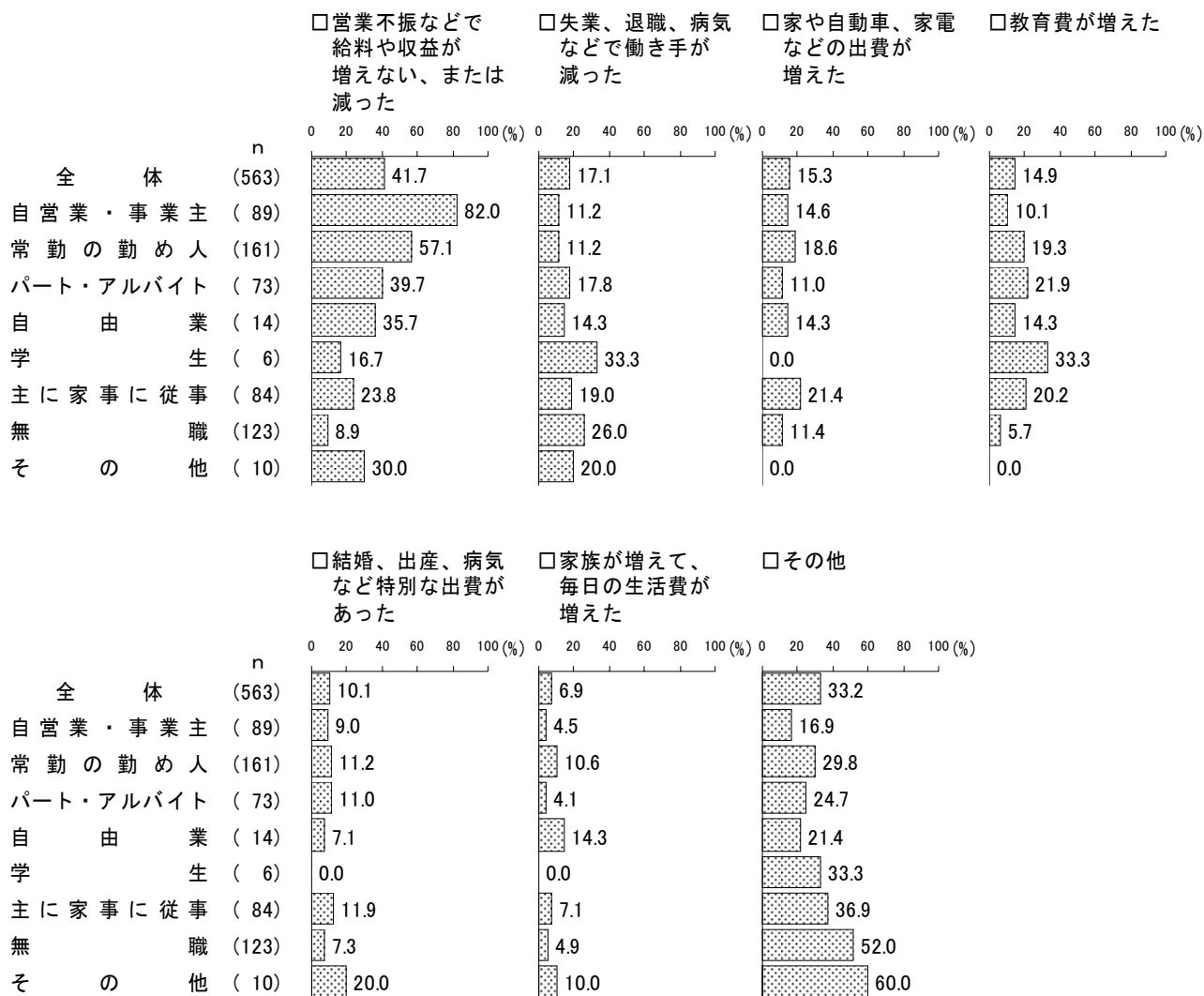
図5-2-2 暮らし向きが苦しくなった理由（性・年代別）



(3) 職業別

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は自営業・事業主（82.0%）と常勤の勤め人（57.1%）で高くなっている。

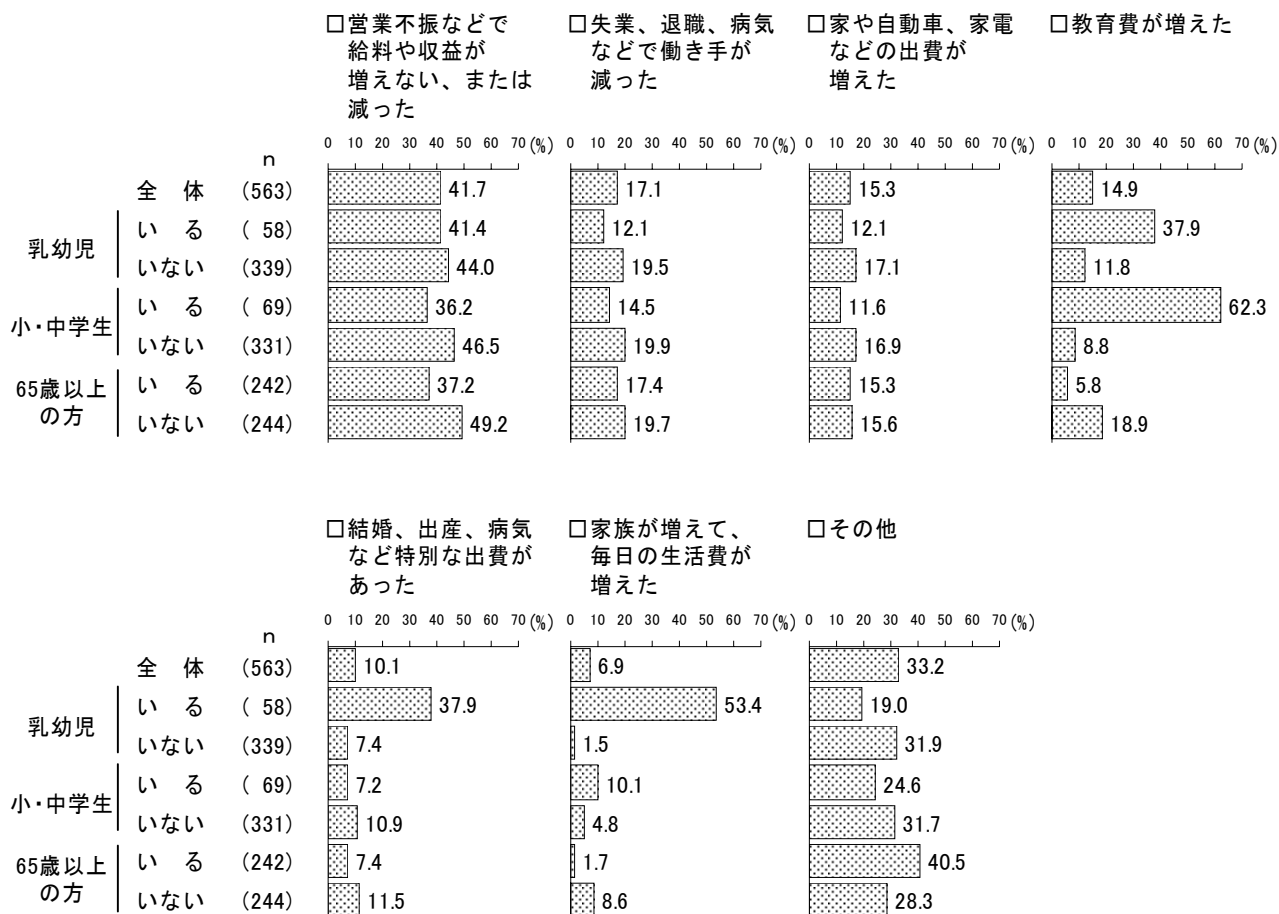
図5-2-3 暮らし向きが苦しくなった理由（職業別）



(4) 家族構成別

- ・「教育費が増えた」は小・中学生がいる人（62.3%）と就学前の乳幼児がいる人（37.9%）で高くなっている。
- ・「結婚、出産、病気など特別な出費があった」は就学前の乳幼児がいる人（37.9%）で高く、「家族が増えて、毎日の生活費が増えた」は就学前の乳幼児がいる人（53.4%）で高くなっている。

図5-2-4 暮らし向きが苦しくなった理由（家族構成別）



6. 地域・日常生活

6-1 住んでいる地域・日常生活について

問13 あなたの住んでいる地域、日常生活について、お尋ねします。（〇はそれぞれ1つ）

—住んでいる地域について—

- ・“安全で安心して暮らせる街であると思いますか”は「はい」が7割半ばで、男性30代、女性の20代と30代で高くなっている。
- ・“安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか”は「はい」が3割半ばで、男性の20代、50代、70代と女性の20代、40代、50代で高くなっている。

—日常生活について—

- ・“自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか”は「はい」が5割を超え、男性が女性より高く、男性80代以上と女性70代で高くなっている。
- ・“美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか”は「はい」がほぼ3割で、女性が男性より高く、男性80代以上と女性60代で高くなっている。

(1) 全体

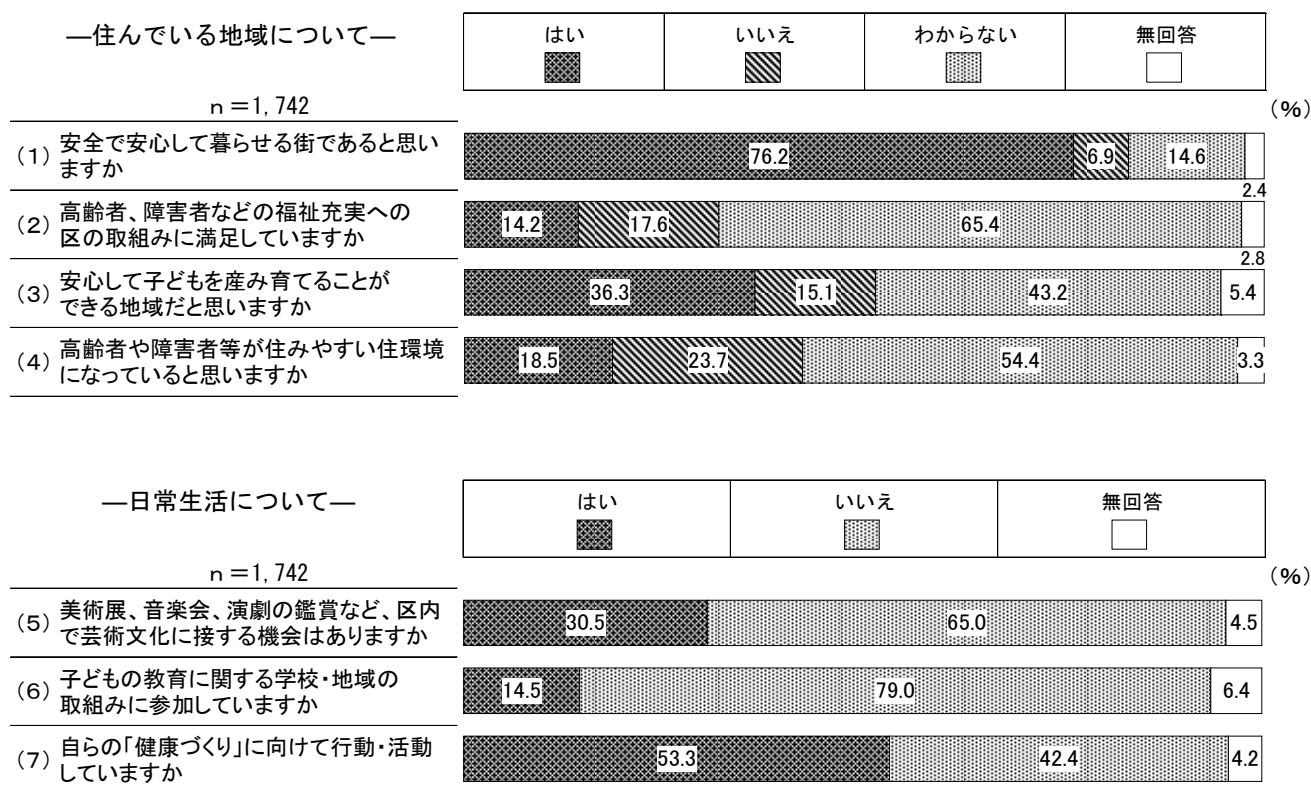
—住んでいる地域について—

- ・“安全で安心して暮らせる街であると思いますか”で「はい」が76.2%となっている。
- ・“安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか”で「はい」が36.3%となっている。

—日常生活について—

- ・“自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか”で「はい」が53.3%となっている。
- ・“美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか”で「はい」が30.5%となっている。

図6-1-1 住んでいる地域・日常生活について（全体）



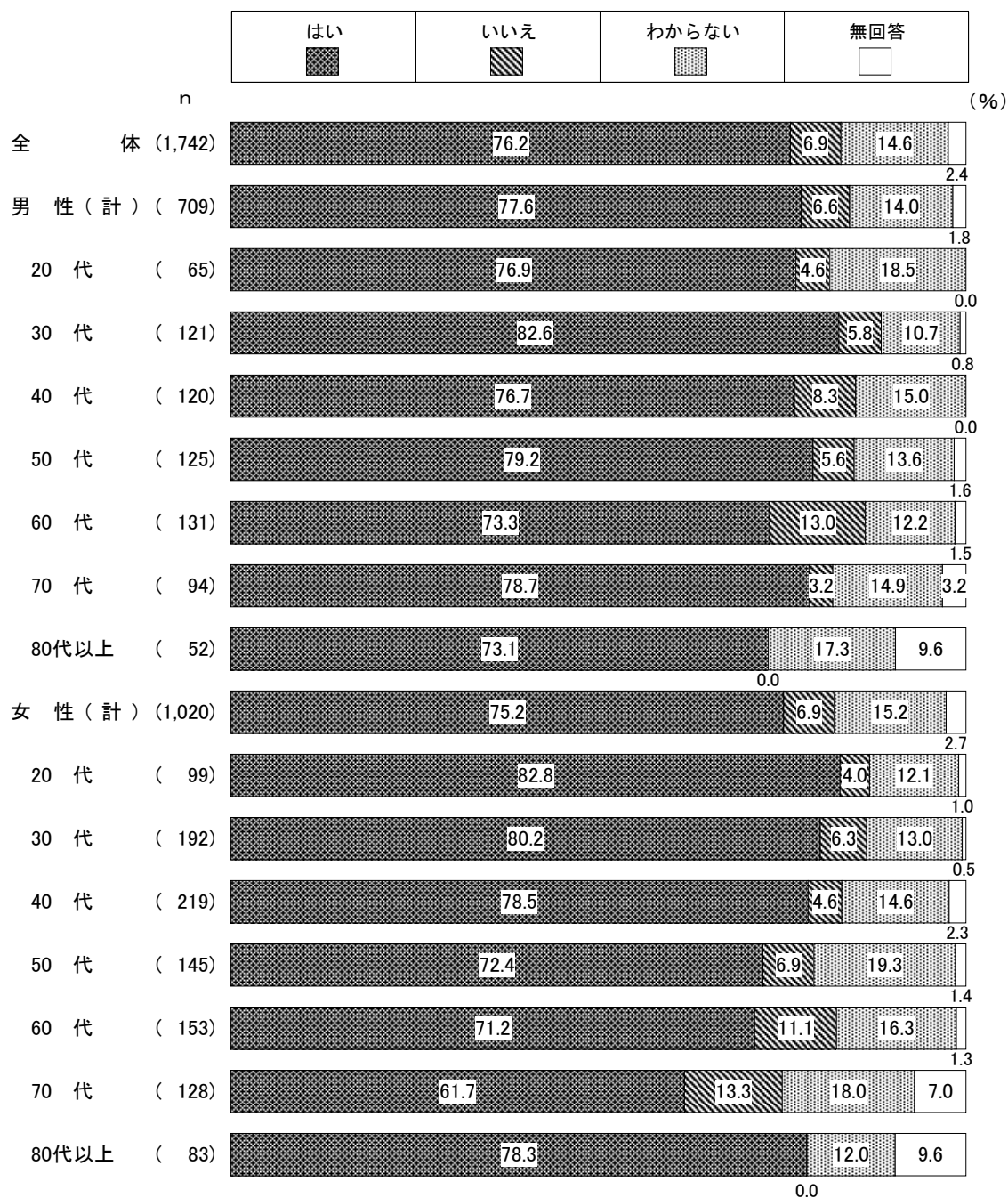
(2) 性・年代別

1. 安全で安心して暮らせる街であると思いますか

・「はい」は男性30代(82.6%)、女性の20代(82.8%)と30代(80.2%)で高くなっている。

図6-1-2 住んでいる地域・日常生活について

1. 安全で安心して暮らせる街であると思いますか(性・年代別)

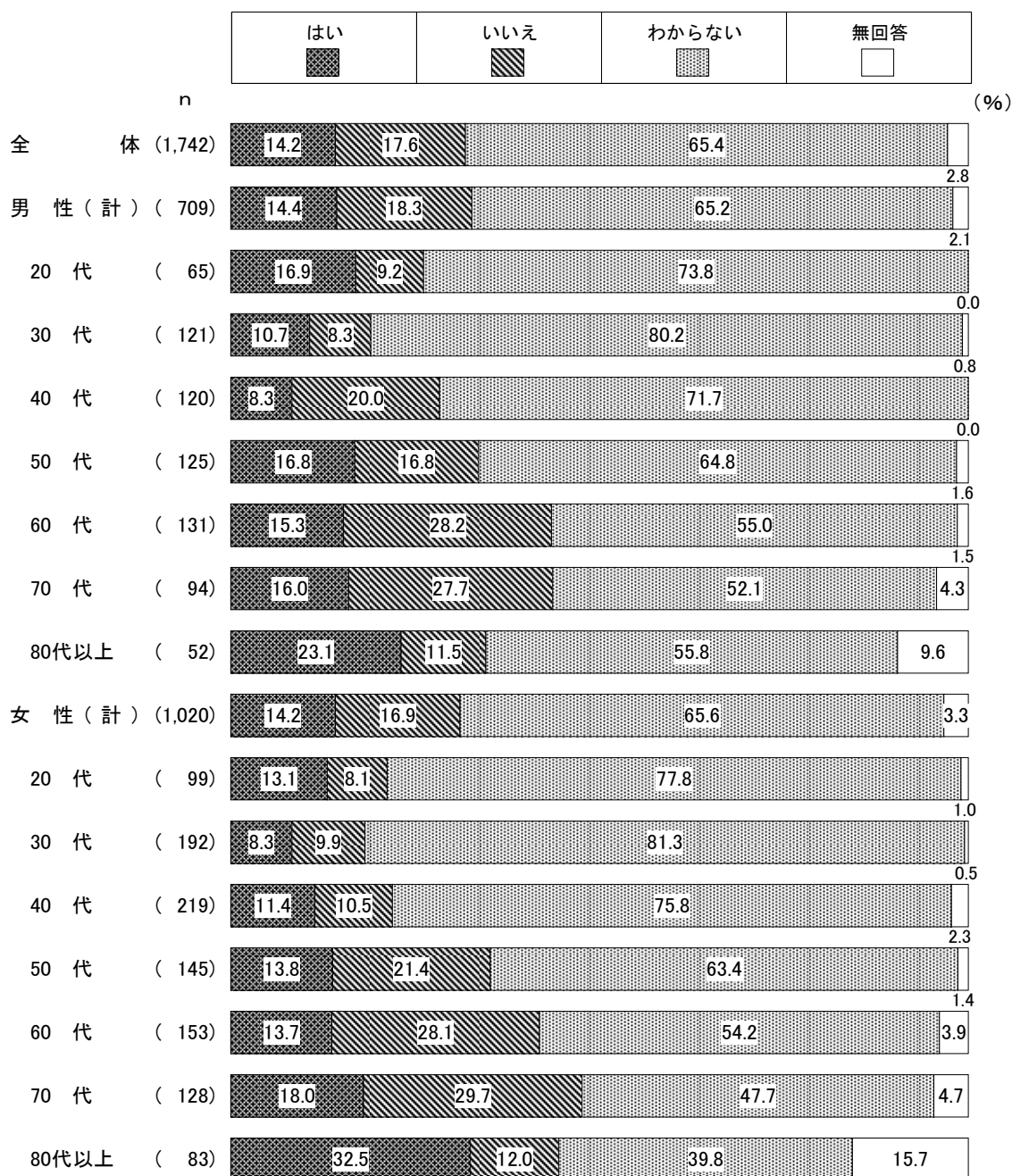


2. 高齢者、障害者などの福祉充実への区の取組みに満足していますか

- ・「はい」は男性、女性ともに80代以上（男性23.1%、女性32.5%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性、女性ともに60代（男性28.2%、女性28.1%）と70代（男性27.7%、女性29.7%）で高くなっている。

図6-1-3 住んでいる地域・日常生活について

2. 高齢者、障害者などの福祉充実への区の取組みに満足していますか（性・年代別）

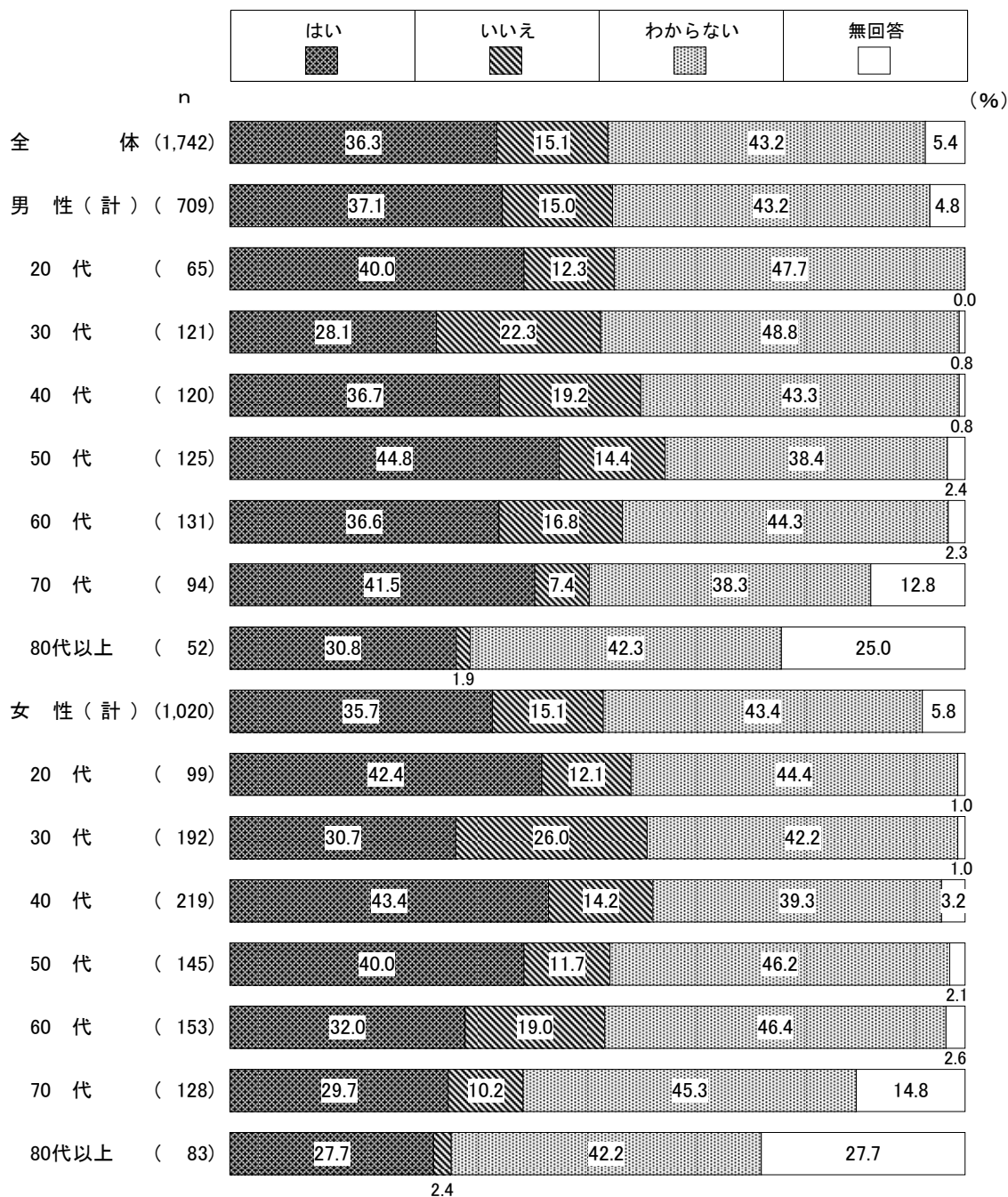


3. 安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか

- ・「はい」は男性の20代(40.0%)、50代(44.8%)、70代(41.5%)と女性の20代(42.4%)、40代(43.4%)、50代(40.0%)で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性、女性ともに30代(男性22.3%、女性26.0%)で高くなっている。

図6-1-4 住んでいる地域・日常生活について

3. 安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか(性・年代別)

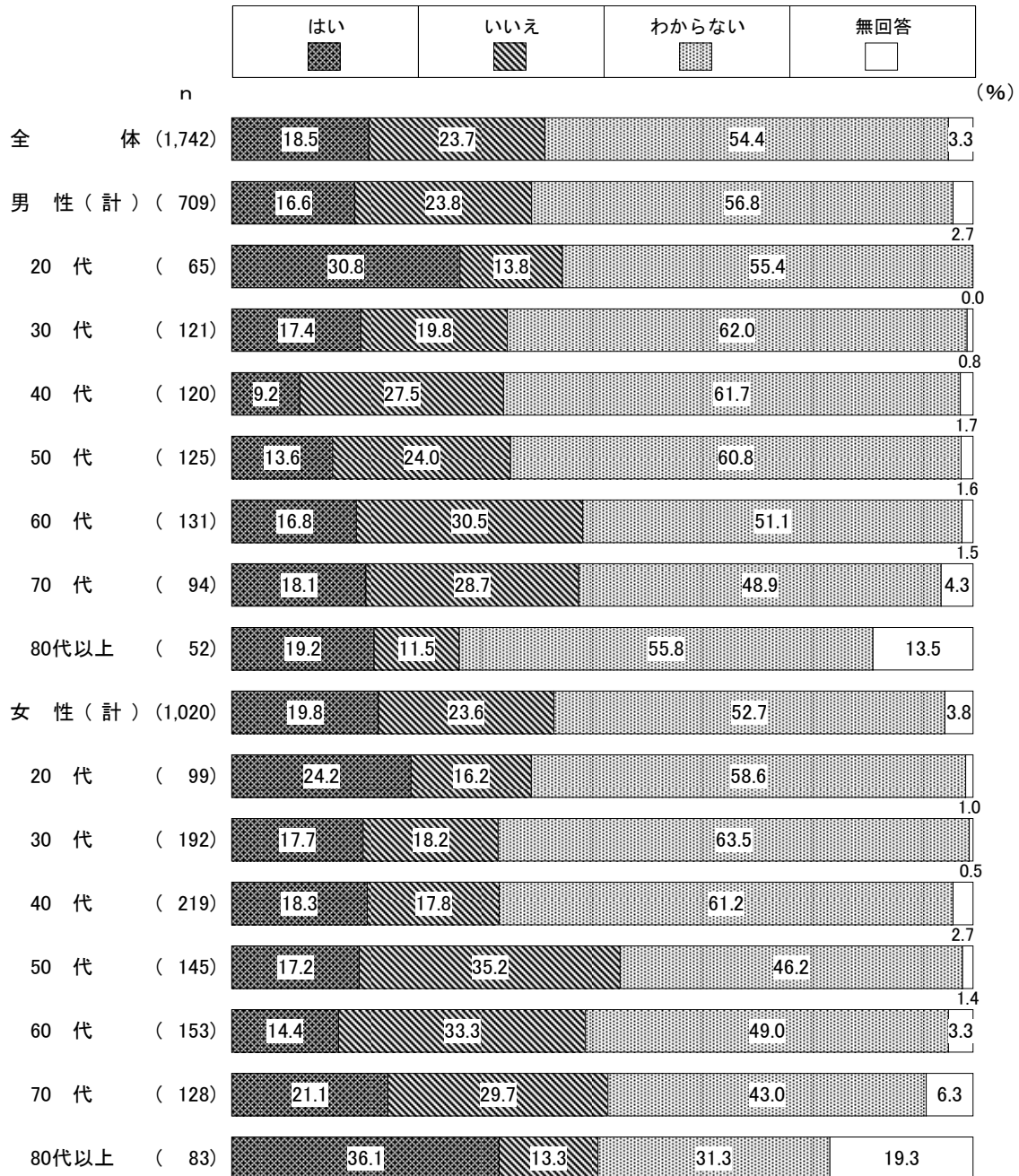


4. 高齢者や障害者等が住みやすい住環境になっていると思いますか

- ・「はい」は女性（19.8%）が男性（16.6%）より 3.2 ポイント高くなっている。
- ・「はい」は男性 20 代（30.8%）と女性 80 代以上（36.1%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性 60 代（30.5%）と女性の 50 代（35.2%）、60 代（33.3%）、70 代（29.7%）で高くなっている。

図 6-1-5 住んでいる地域・日常生活について

4. 高齢者や障害者等が住みやすい住環境になっていると思いますか（性・年代別）

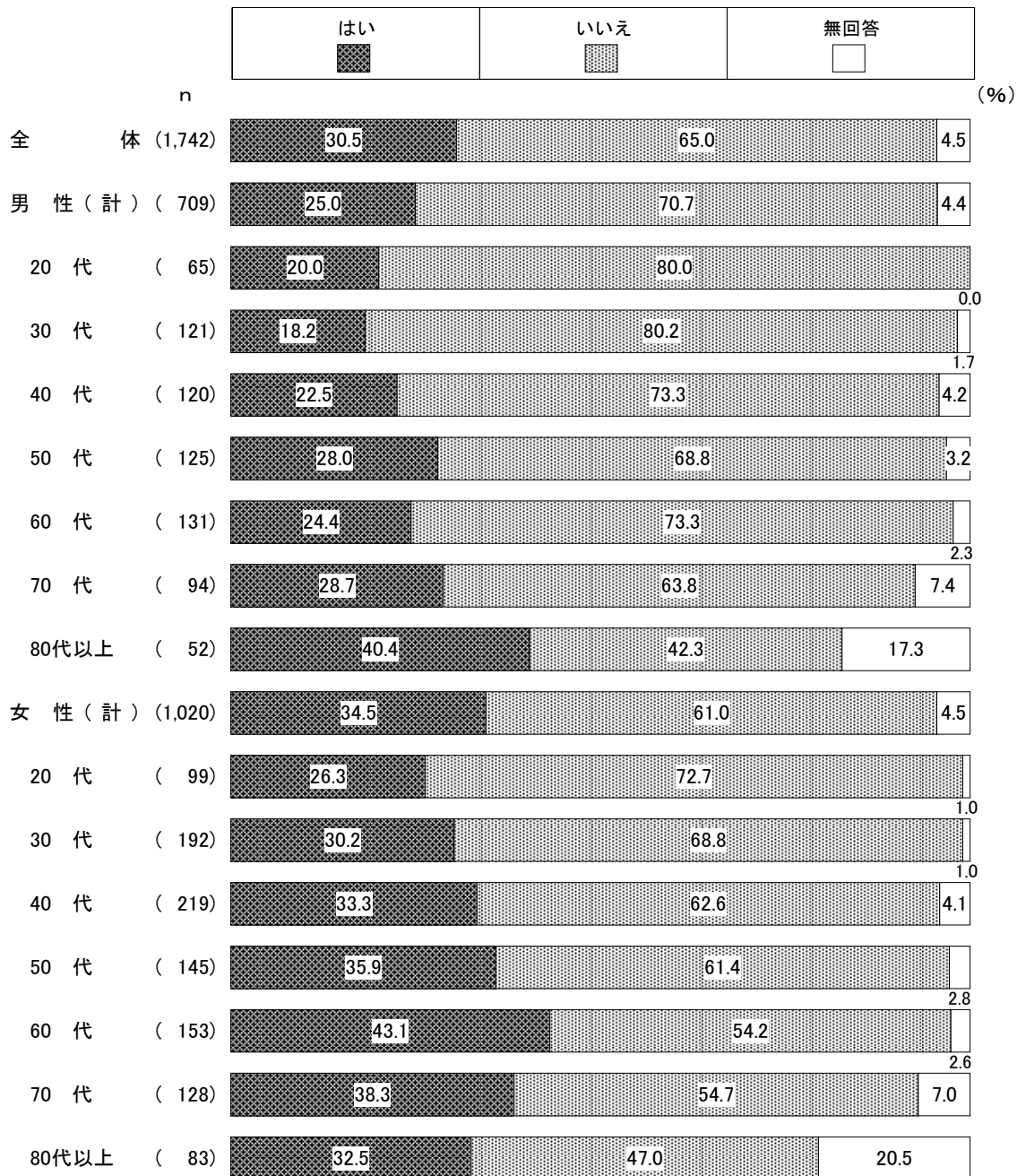


5. 美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか

- ・「はい」は女性（34.5%）が男性（25.0%）より9.5ポイント高くなっている。
- ・「はい」は男性80代以上（40.4%）と女性60代（43.1%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性の20代（80.0%）と30代（80.2%）で高くなっている。

図6-1-6 住んでいる地域・日常生活について

5. 美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか（性・年代別）

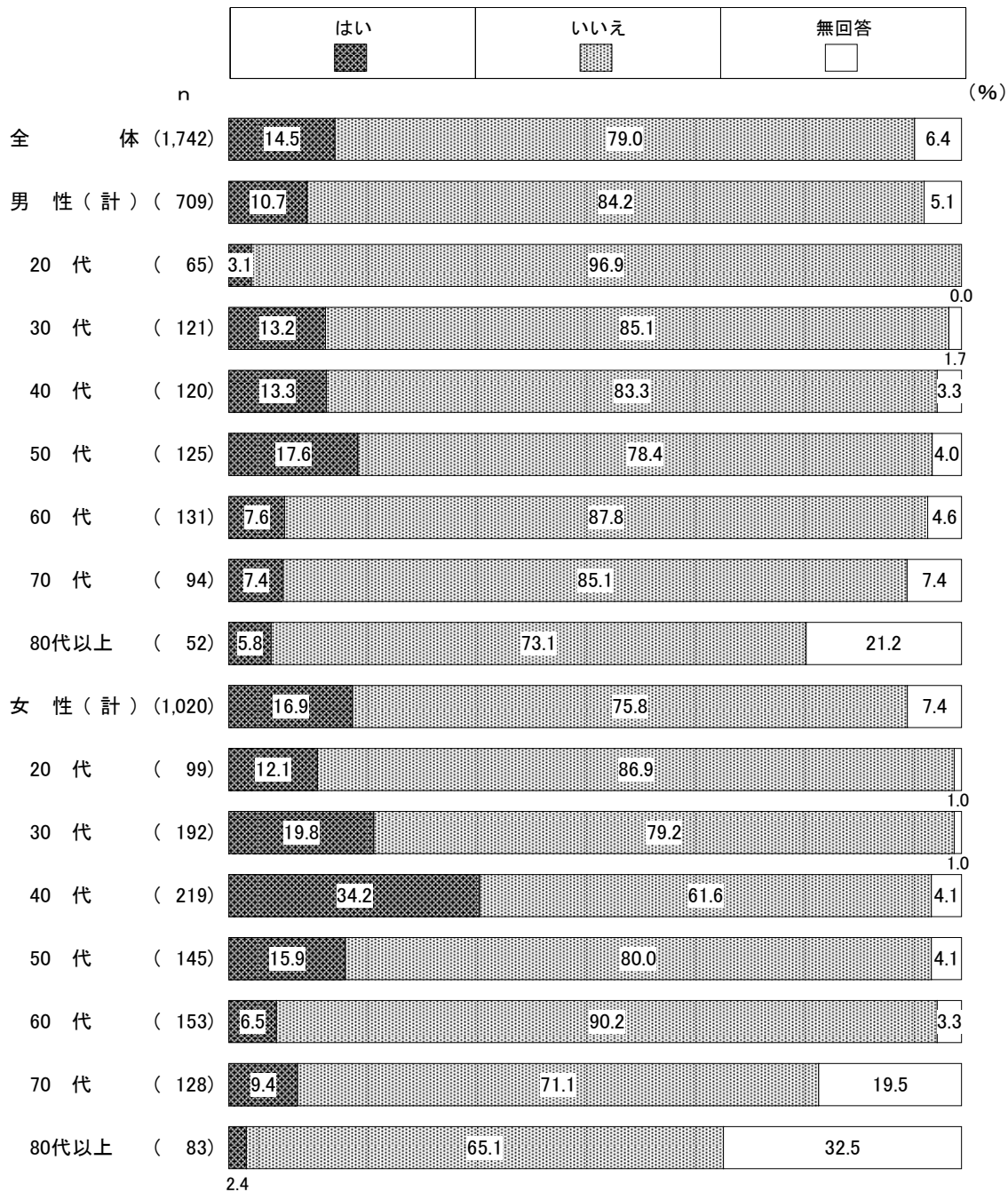


6. 子どもの教育に関する学校・地域の取組みに参加していますか

- ・「はい」は女性（16.9%）が男性（10.7%）より6.2ポイント高くなっている。
- ・「はい」は女性40代（34.2%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性20代（96.9%）と女性60代（90.2%）で高くなっている。

図6-1-7 住んでいる地域・日常生活について

6. 子どもの教育に関する学校・地域の取組みに参加していますか（性・年代別）



7. 自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか

- ・「はい」は男性（55.1%）が女性（52.0%）より3.1ポイント高くなっている。
- ・「はい」は男性80代以上（61.5%）と女性70代（66.4%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は女性20代（59.6%）で高くなっている。

図6-1-8 住んでいる地域・日常生活について

7. 自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか（性・年代別）

